

令和6年度

伊豆の国市 子ども・子育てに関するアンケート

調査結果

伊豆の国市

アンケートの概要

○ 目的

伊豆の国市では、教育・保育・子育てに関する市民の皆様の現状や希望等を把握し、今後進めていくこどもに関する取組の参考や、令和6年度策定予定の「第3期子ども・子育て支援事業計画」「第4期次世代育成支援行動計画」、令和7年度策定予定の「伊豆の国市こども計画」で確保を図るべき量の見込みを算出するため、市民の皆様から無作為に対象者を抽出し、アンケート調査を実施しました。

○ 対象

住民基本台帳に登録のある 未就学児の保護者 及び 小学生児童の保護者 各 1,200 人

【内訳】

- 未就学児の保護者 無作為に抽出した1,000人 及び 市関係施設への配架 200 部
- 小学生児童の保護者 無作為に抽出した1,200人

○ 調査方法

- ① 対象者へのチラシ(回答ページに遷移できる二次元バーコードを記載したもの)の郵送
- ② 市関係施設への配架(未就学児の保護者用 200 部のみ)

○ 回答方法

オンラインでの回答(希望者のみ郵送でも対応)

○ 調査期間

令和6年8月9日(金)～令和6年9月23日(月・振休)

○ 回答者数

- 未就学児の保護者 363 名 (回答率 30.25%)
- 小学生児童の保護者 461 名 (回答率 38.41%) ※うち1名、郵送による回答。

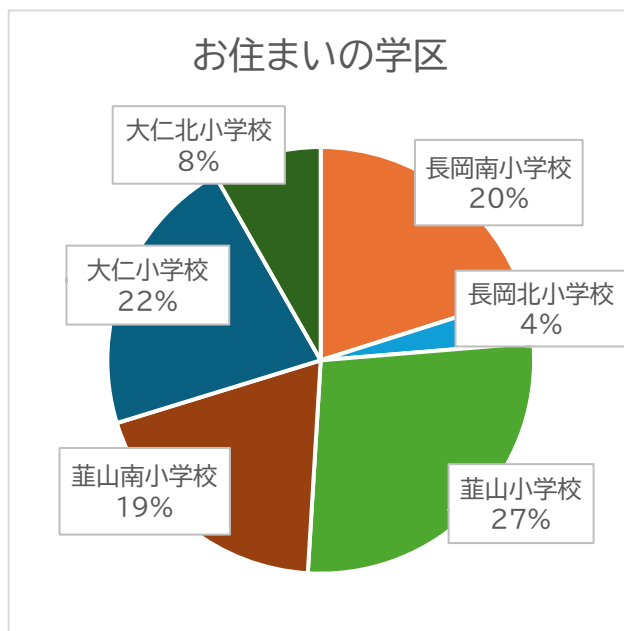
未就学児の保護者用アンケート 集計結果

○ 回答者数

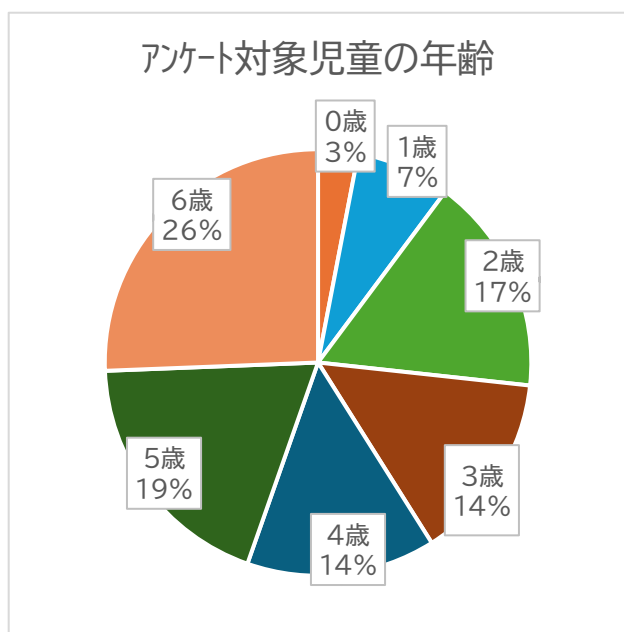
363名（回答率 30.25%）

○ 回答内容

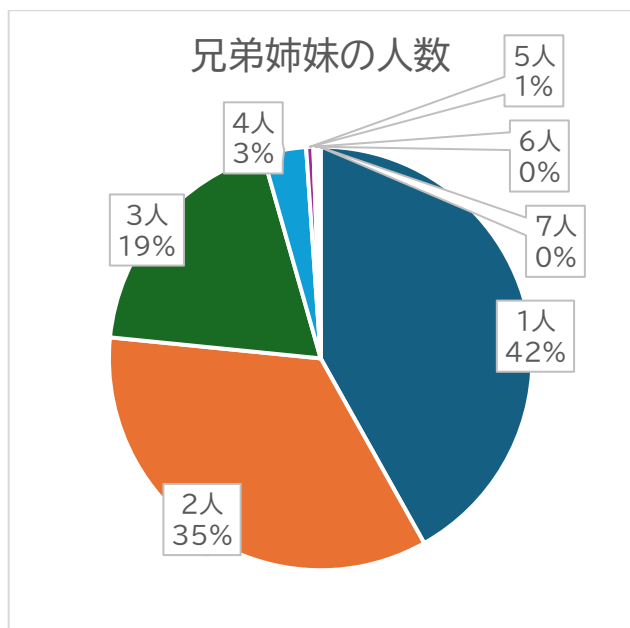
● 回答者の状況



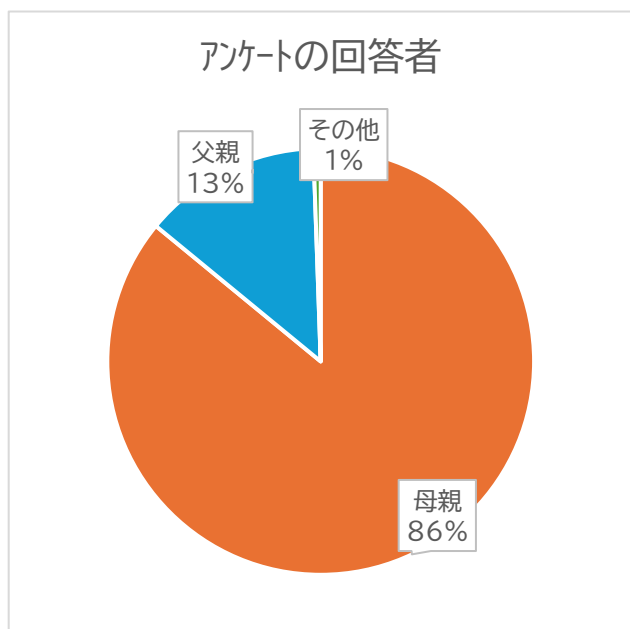
学校名	人数
長岡南小学校	73
長岡北小学校	13
葦山小学校	99
葦山南小学校	70
大仁小学校	78
大仁北小学校	30



年齢	人数
0 歳	11
1 歳	26
2 歳	60
3 歳	52
4 歳	52
5 歳	69
6 歳	93

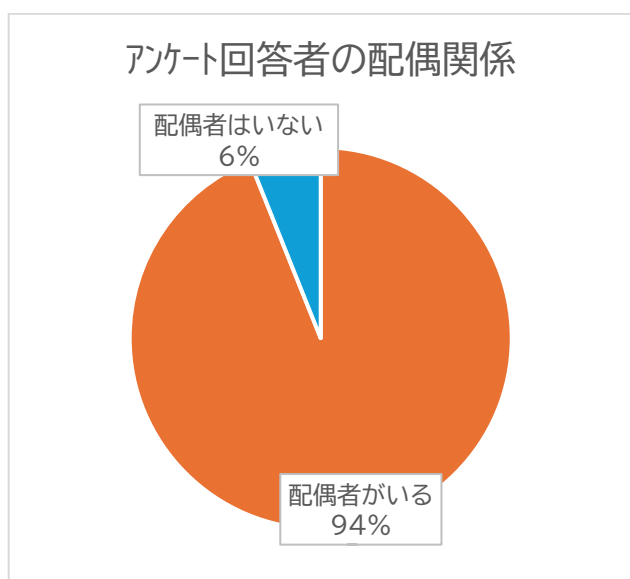


年齢	人数
1人	152
2人	126
3人	69
4人	12
5人	2
6人	1
7人	1

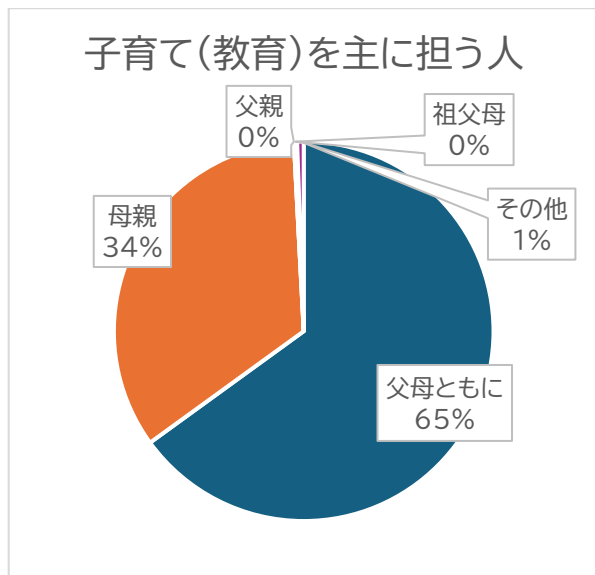


「その他」の内訳は、「祖父」と「両親」でした。

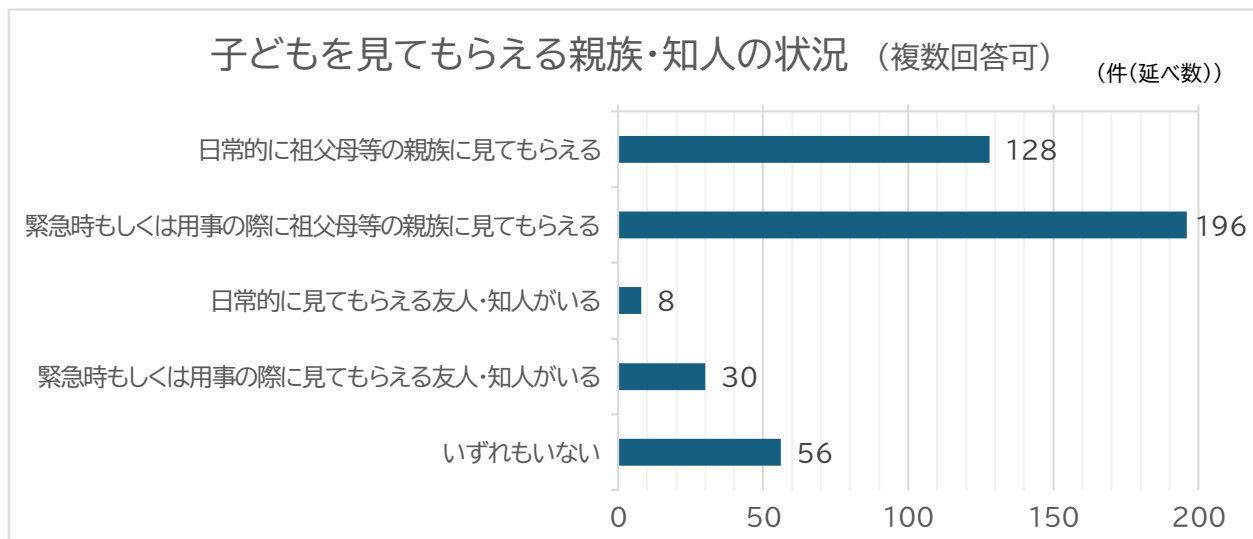
回答者	人数
母親	312
父親	49
その他	2



配偶者の有無	人数
配偶者がいる	341
配偶者はいない	22



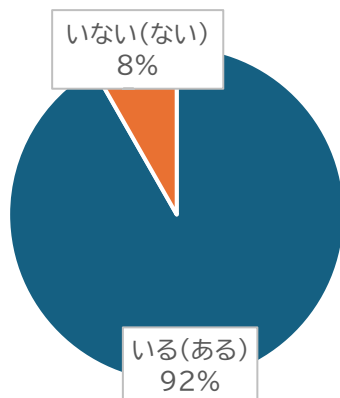
子育ての担い手	人数
父母ともに	236
母親	124
父親	0
祖父母	1
その他	2



最も多かったのは、「緊急時もしくは用事の際に祖父母等の親族に見てもらう」人で、全体の約47%を占めています。次いで多かったのは、「日常的に祖父母等の親族に見てもらう」人で、全体の約30%を占めています。合計すると、全体の約78%の人が何かしらの形で「親族に子どもを見てもらえる」状況にあることがわかります。

一方、「いずれもない」家庭も全体の約13%を占める結果となっており、両親以外の人に子どもを見てもらえない状況にある人も一定数存在していることがわかります。

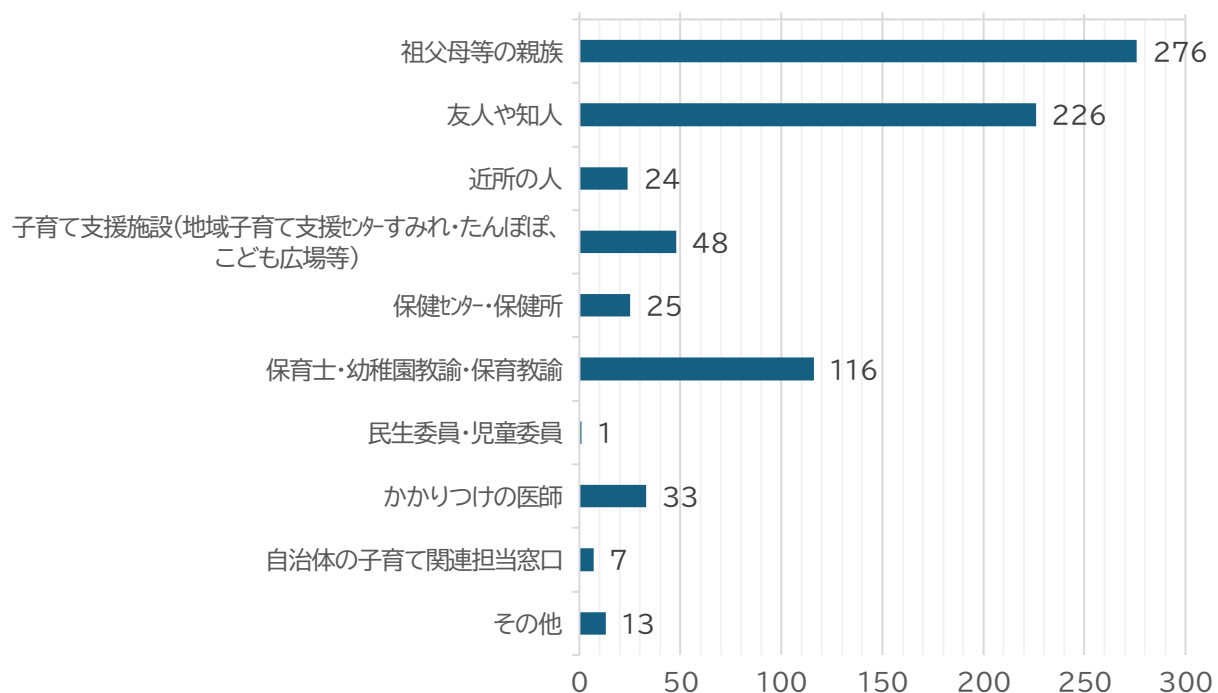
子育て(教育)について 相談できる人(場所)の有無



相談相手の有無	人数
いる(ある)	333
いない(ない)	30

子育て(教育)の相談先 (複数回答可)

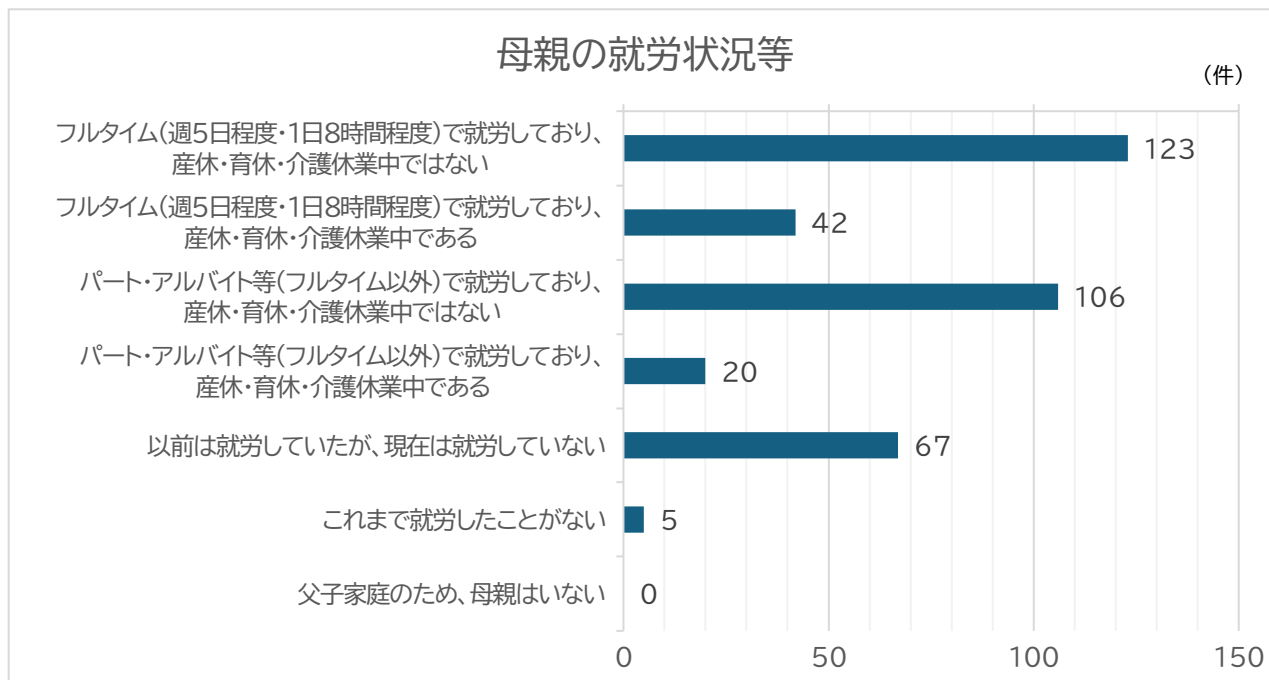
(件(延べ数))



相談先としては、「祖父母等の親族」が最も多く、約 36%、次いで、「友人や知人」が約 29%との結果となりました。「保育士・幼稚園教諭・保育教諭」に相談する人も全体の約 15%いるようです。

また、「その他」としては、「インターネット」、「職場の同僚等」、「ファミリーサポートセンター『おねがい会員』」といった回答が見られました。

● 就労状況等



フルタイム就労をしている人が全体の約 45%、パート・アルバイト等就労をしている人が全体の約 35%をそれぞれ占めており、就労している人は全体の約 80%に及ぶ結果となっています。

就労している人の週当たりの就労日数・就労時間数は以下のとおりです。

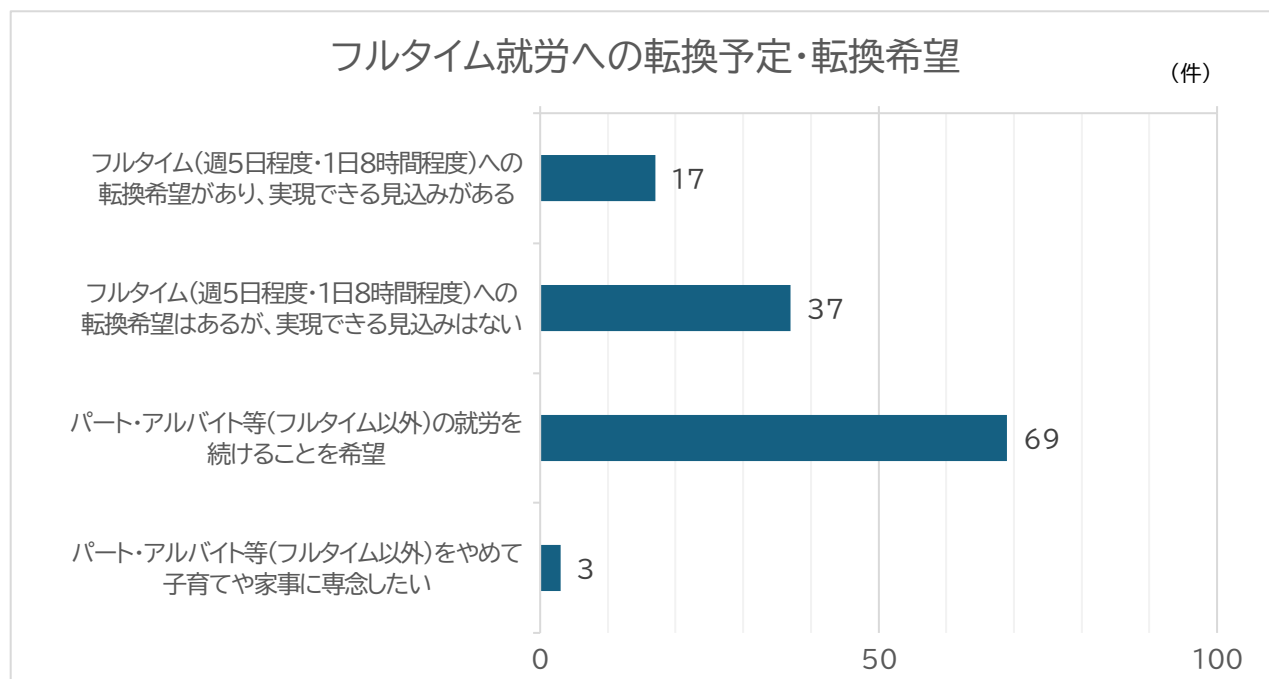
◆ 週当たりの就労日数

日数	人数
1	7
2	4
3	17
4	31
5	188
6	38
7	6

◆ 1日当たりの就労時間数

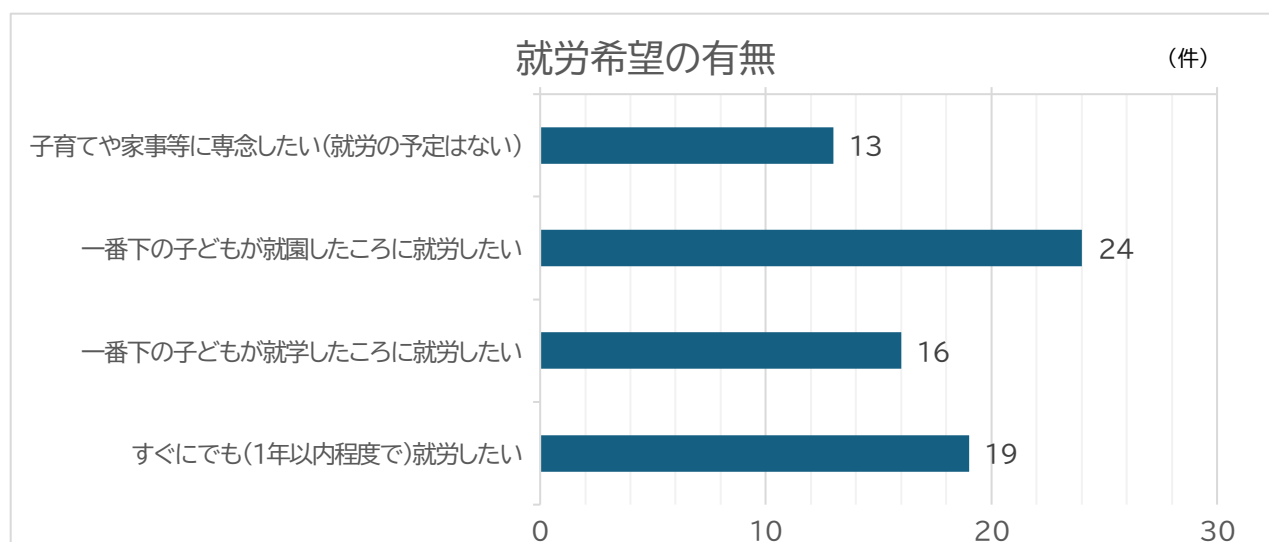
時間数	人数
1	1
2	2
3	8
4	24
5	34
6	46
7	42
8	100
9 以上	34

◇ パートタイム・アルバイト等の就労をしている人



パート・アルバイト等に就労している人のうち、最も多かったのは「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」している人で、全体の約 55%を占めています。また、「フルタイムへの転換希望がある」人は全体の約 43%となっていますが、このうち約 69%が「フルタイムへの転換を実現できる見込みはない」としており、転換に際して、何かしらの障害を抱えていることがうかがえます。

◇ 現在就労していない人

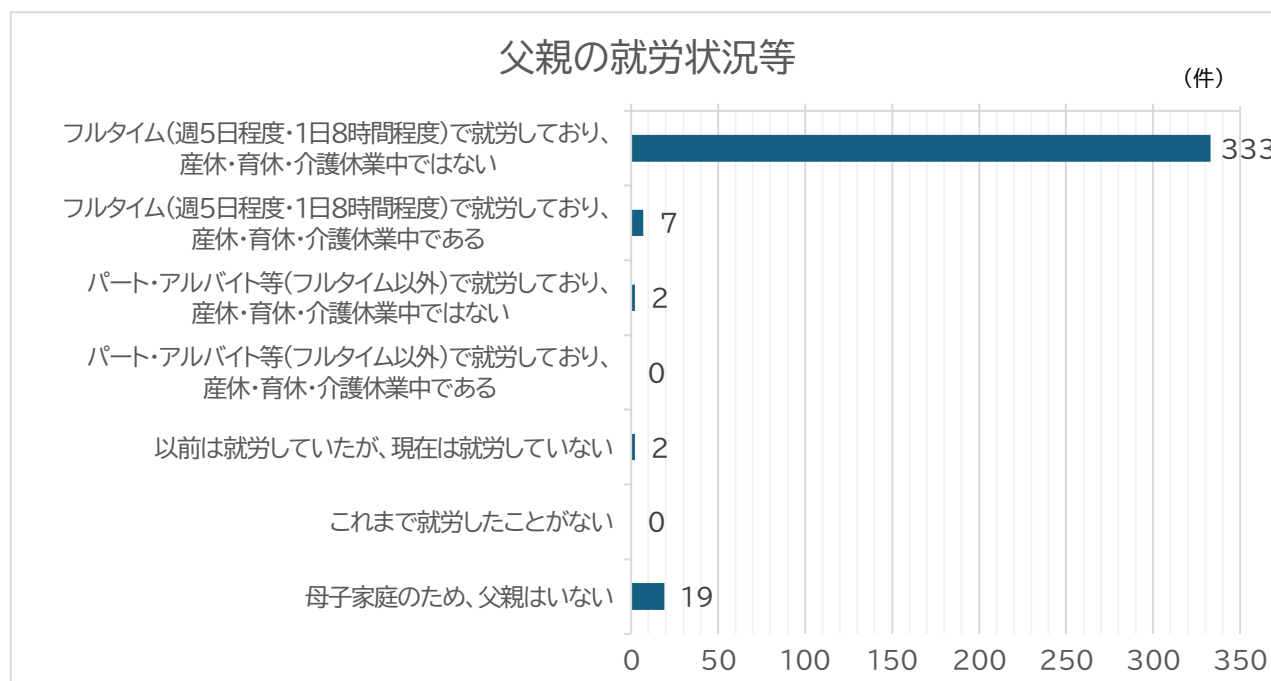


現在就労していない人のうち、全体の約 82%が「就労したい」と希望しています。就労したい時期としては「子どもが就園したところ」が最も多く、「就労したい」人のうち、約 41%を占める結果となっています。

また、「就労したい」人が希望する就労形態は、右記のとおりです。

◆ 希望する就労形態

就労形態	人数
フルタイム	7
パート・アルバイト等	52



フルタイム就労をしている人が全体の約94%を占めており、ほとんどの家庭で父親がフルタイム就労をしていることがわかります。母親と比べて、パート・アルバイト等就労をしている人はほとんどいないという結果となっています。

就労している人の週当たりの就労日数・就労時間数は以下のとおりです。

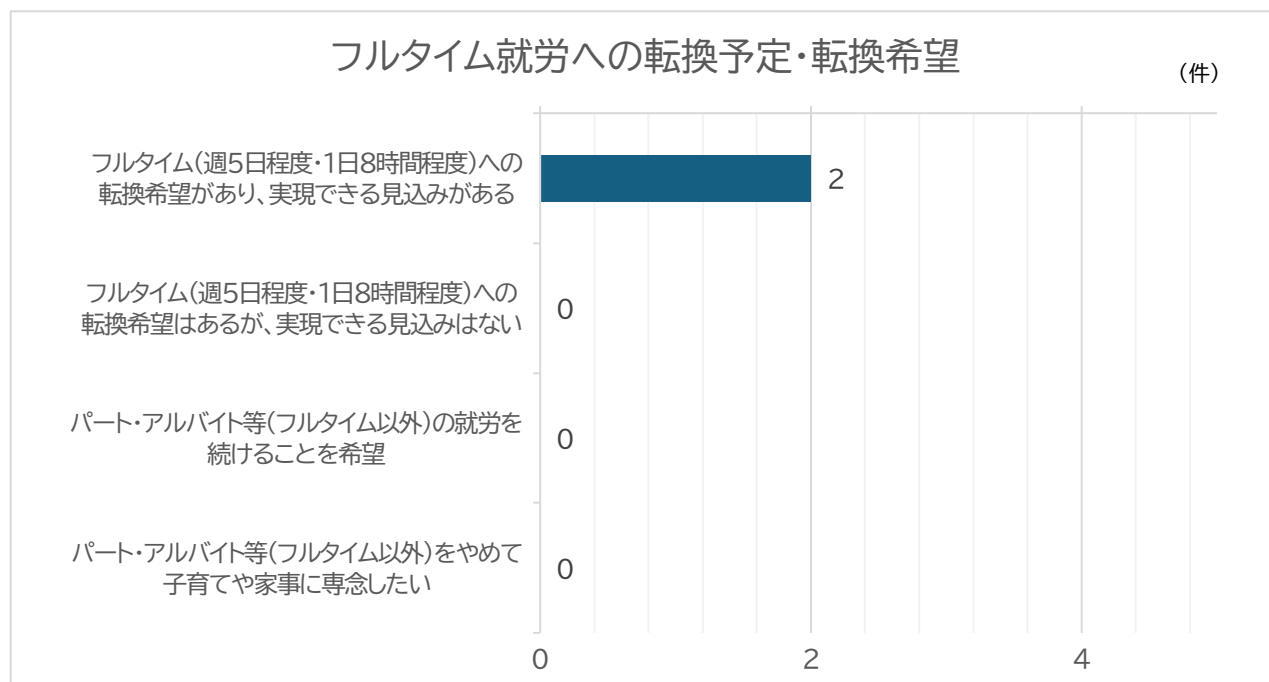
◆ 週当たりの就労日数

日数	人数
1	0
2	0
3	6
4	7
5	205
6	104
7	20

◆ 1日当たりの就労時間数

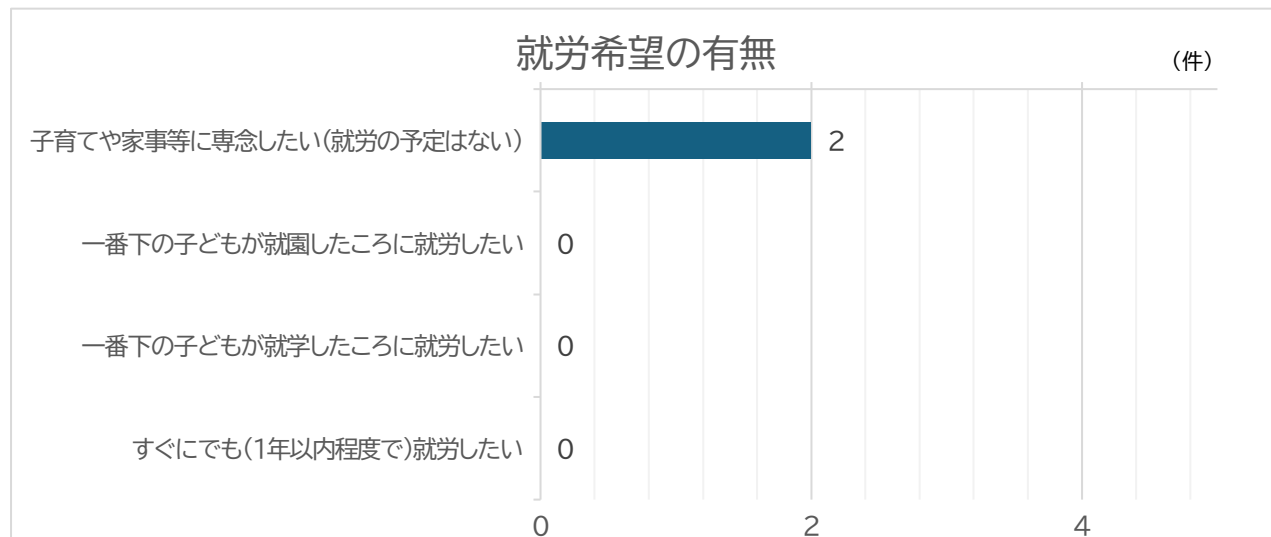
時間数	人数
1	0
2	0
3	0
4	1
5	7
6	1
7	6
8	130
9以上	197

◇ パートタイム・アルバイト等の就労をしている人



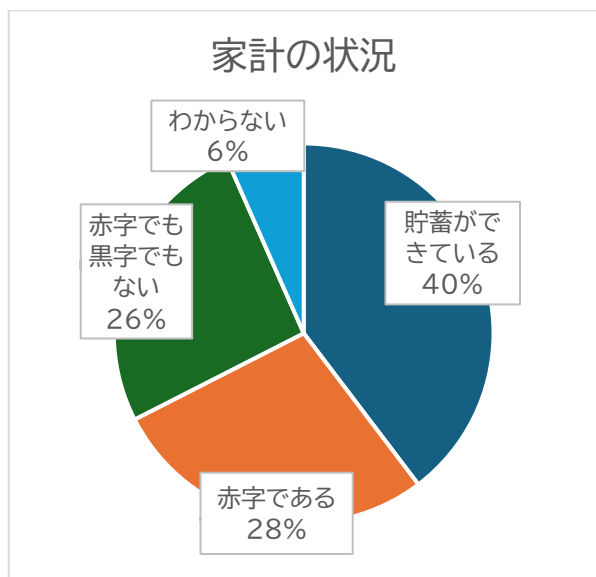
パート・アルバイト等に就労している人のうち、全員が「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と回答しています。

◇ 現在就労していない人

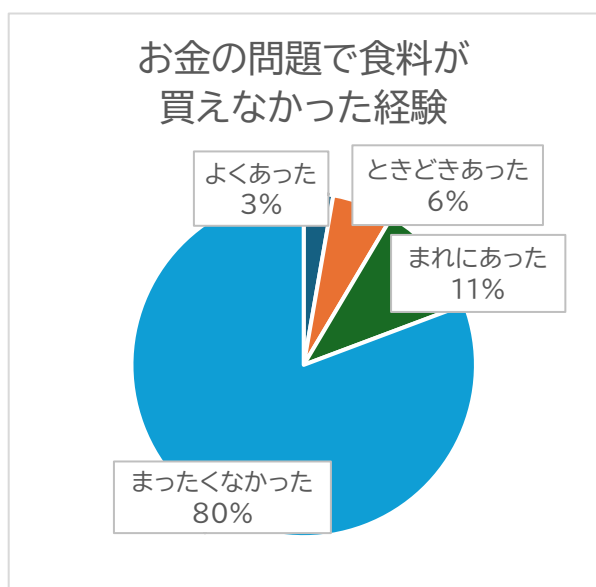


現在就労していない人のうち、全員が「子育てや家事等に専念したい(就労の予定はない)」と回答しています。

● 過去 1 年間における家計の状況

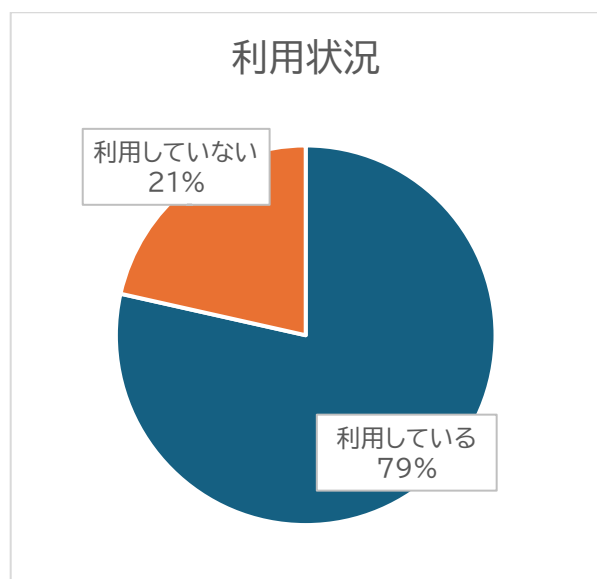


家計の状況	人数
貯蓄ができている	144
赤字である	101
赤字でも黒字でもない	94
わからない	24



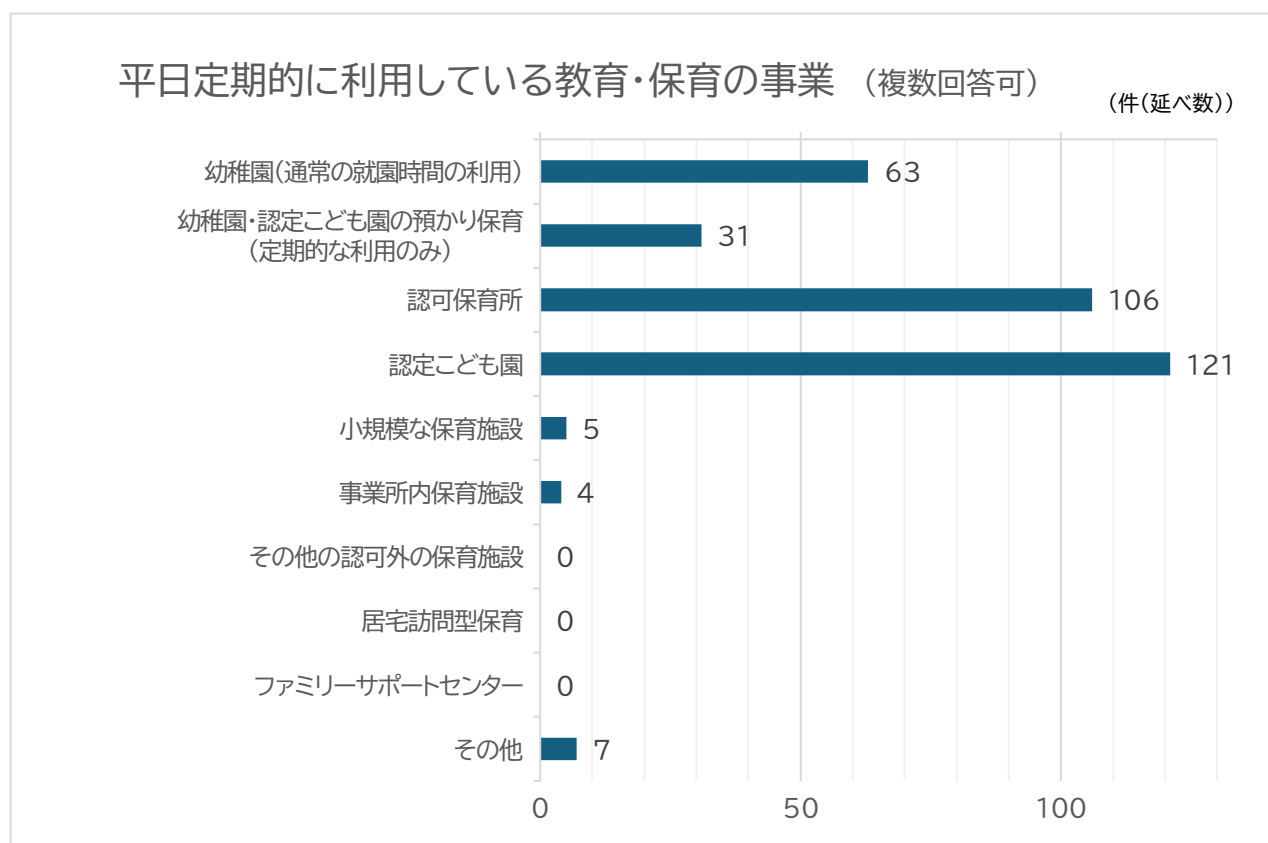
食料が買えなかった経験	人数
よくあった	10
ときどきあった	21
まれにあった	39
まったくなかった	293

● 平日における「定期的な教育・保育の事業」(幼稚園・保育所等)



利用状況	人数
利用している	285
利用していない	78

◇ 年間を通じて平日定期的に教育・保育の事業を利用している人



最も利用者の多い「定期的な教育・保育の事業」は、「認定こども園」で、全体の約 36%という結果となりました。「その他」では、「児童発達支援センターきららか」などの回答が見られました。

なお、利用している事業が実施されている地域は、右記のとおりです。

◆ 事業実施地域

地域	件数
伊豆の国市内	277
伊豆の国市外	8

また、週当たりの利用日数、1日当たりの利用時間、週当たりの希望利用日数、1日当たりの希望利用時間は以下のとおりです。

1日当たりの希望利用時間について、現状、9時間以上なのは96人ですが、9時間以上を希望する人は112人と、長時間の利用を希望する人が多いことがわかります。

◆ 週当たりの
利用日数

日数	人数
1	4
2	0
3	1
4	5
5	260
6	15
7	0

◆ 1日当たりの
利用時間

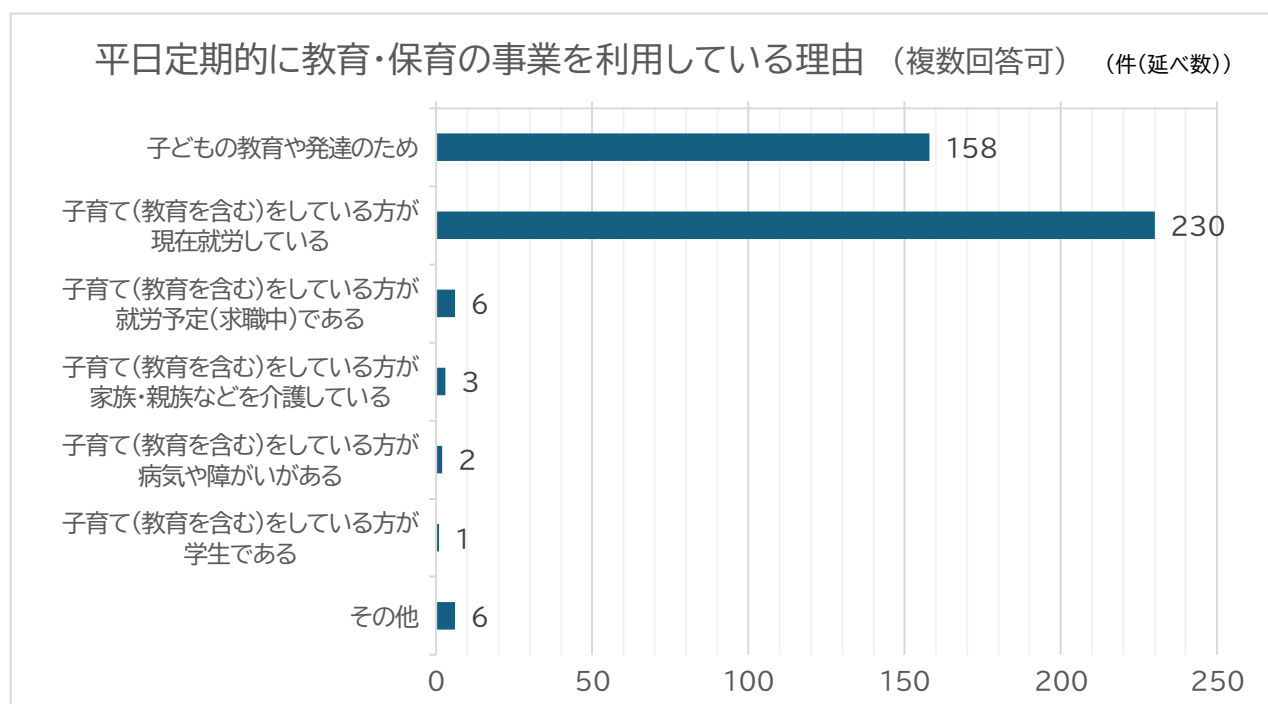
時間数	人数
1	2
2	1
3	1
4	4
5	41
6	27
7	47
8	66
9以上	96

◆ 週当たりの
希望利用日数

日数	人数
1	1
2	1
3	2
4	6
5	245
6	30
7	0

◆ 1日当たりの
希望利用時間

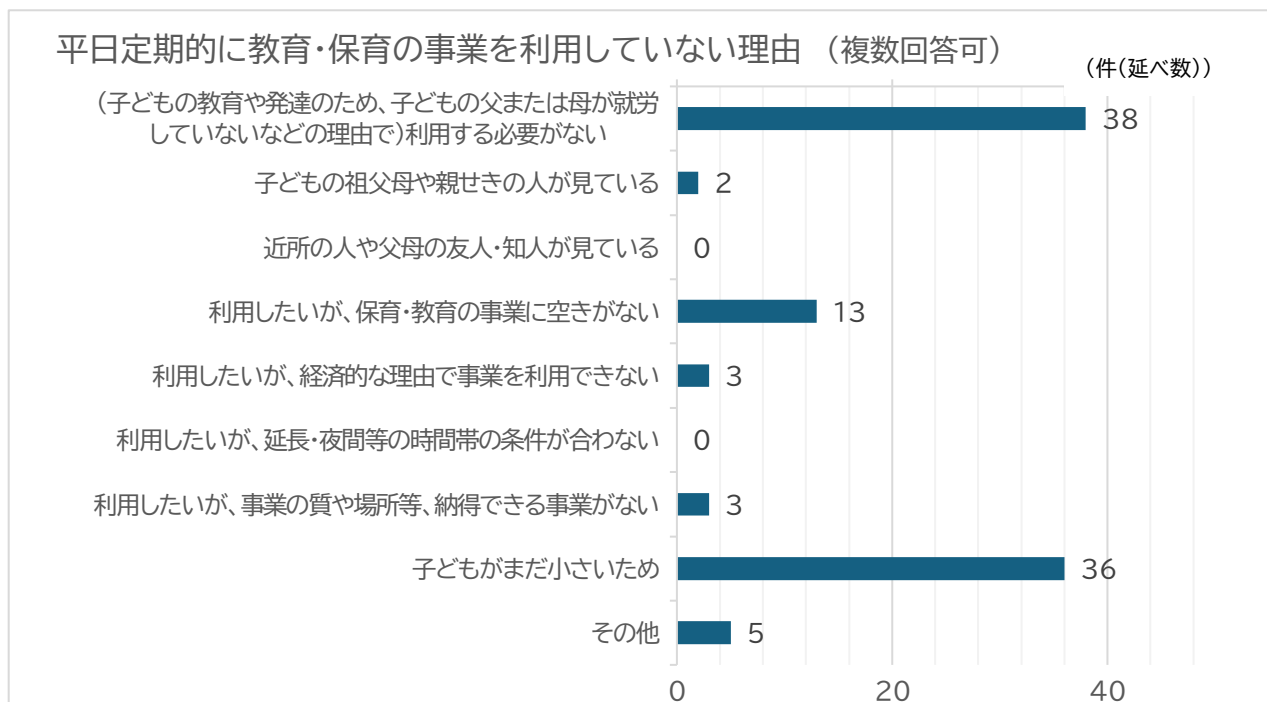
時間数	人数
1	2
2	1
3	0
4	1
5	16
6	39
7	44
8	70
9以上	112



定期的に事業を利用している理由として最も多かったのは、「子育てをしている人が現在就労しているため」で、全体の約57%を占めています。次いで、「子どもの教育や発達のため」で、約39%を占めています。

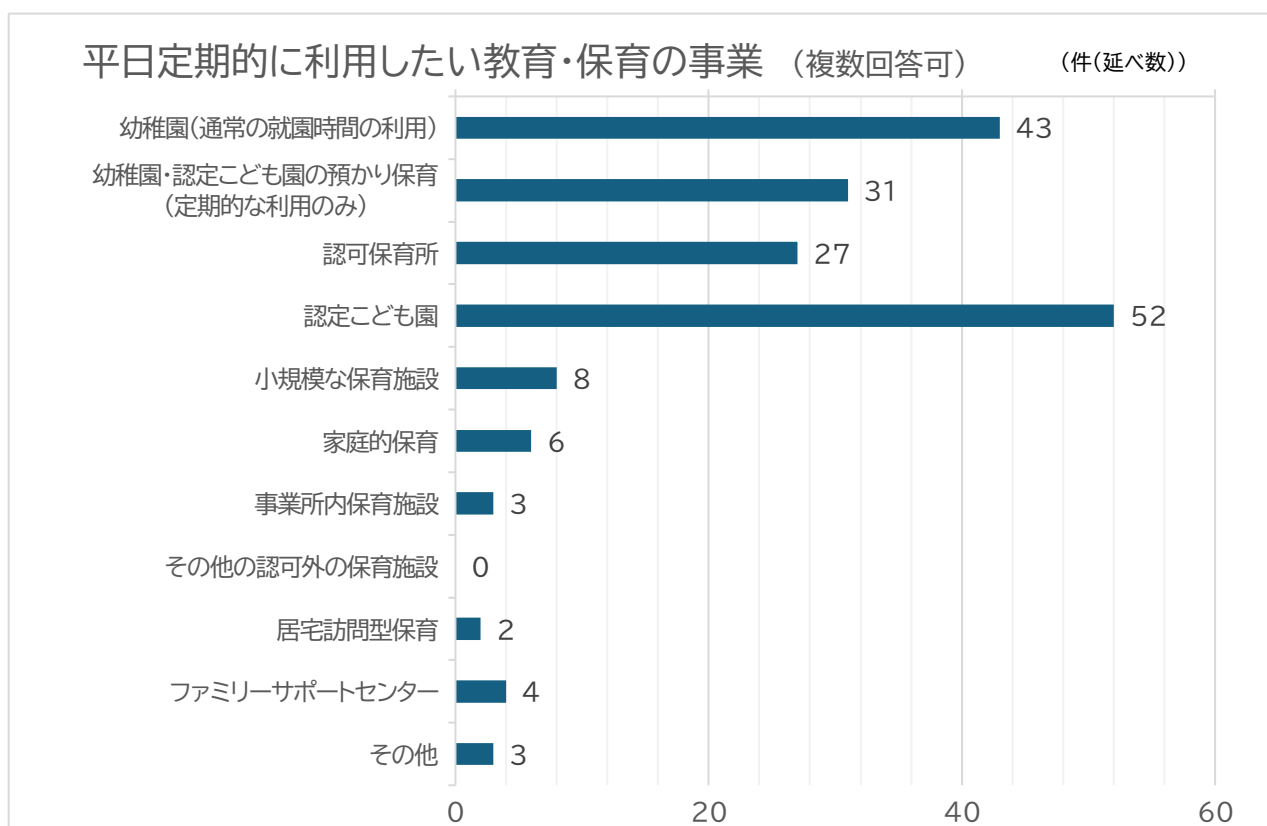
「その他」の理由としては、「下の子の育児のため」などがありました。

◇ 年間を通じて平日定期的に教育・保育の事業を利用していない人



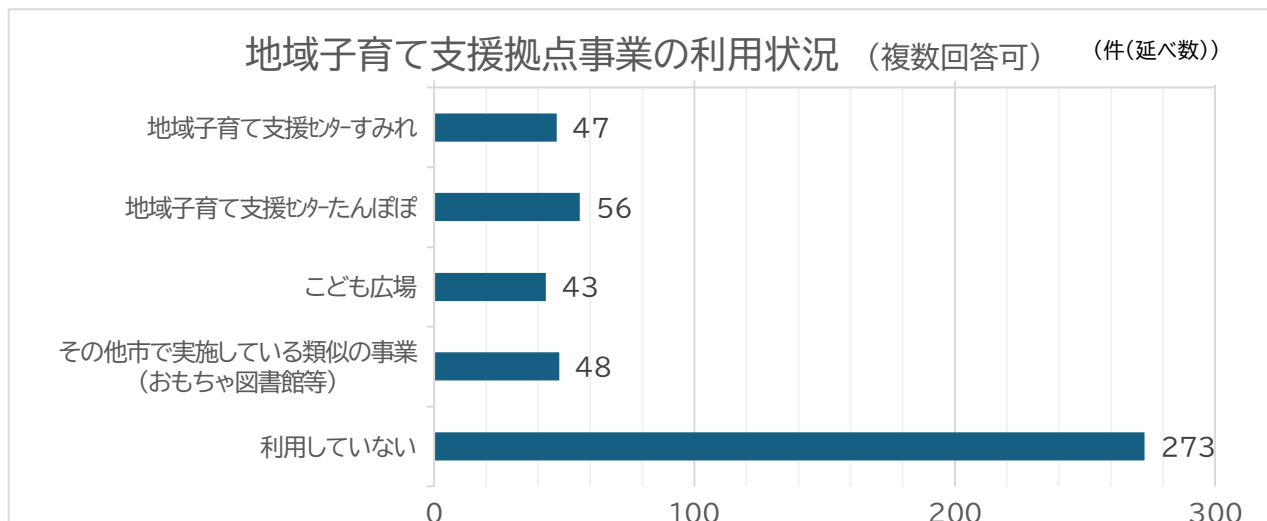
「利用する必要がないため」という人が最も多く、全体の 38%という結果となりました。また、「利用したいが利用できない」人が、全体の 19%もいるということがわかりました。

「その他」の理由としては、「持病があるため」などの回答が見られました。



最も多かったのは「認定こども園」で、全体の約 29%、次いで多かったのは「幼稚園」で、全体の約 24%を占めています。実際と異なり、利用希望としては「認可保育所」よりも「幼稚園」の方が多くなっています。「その他」としては、「英会話を行う保育施設」、「これから考える」などがありました。

● 地域子育て支援拠点事業の利用状況



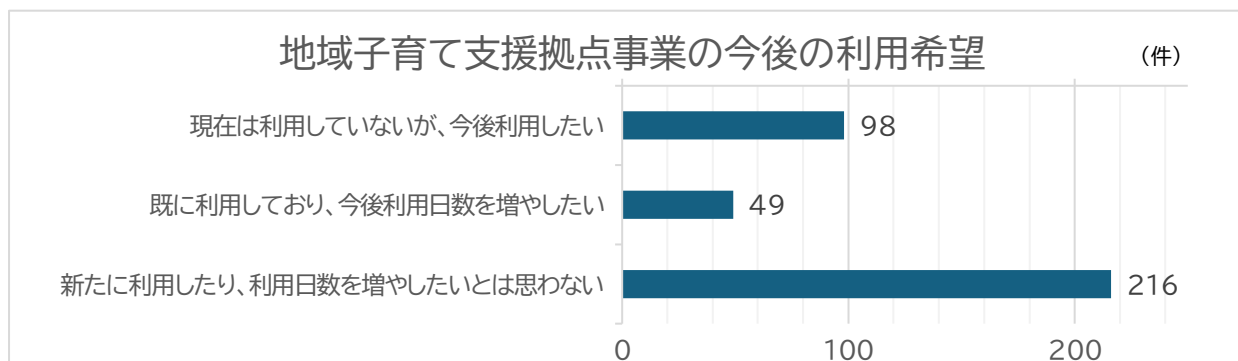
「利用していない」人が全体の約 58%と回答しており、過半数が利用していない結果となりました。

「利用している」人のうち、地域子育て支援センターすみれ・たんぽぽ、こども広場を利用している人は約 75%と、3 施設は利用されやすい傾向となっているようでした。

過当たりの利用日数の内訳は右記のとおりです。

◆ 過当たりの利用日数

日数	人数
1	66
2	3
3	11
4	6
5	3
6	0
7	1



「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」という人が全体の約 60%を占めており、過半数の人が現状で充足していると思っていることがわかります。

一方、全体の約 40%に相当する人が「新たに利用開始したい」、「利用日数を増やしたい」としており、本事業に関心があることが見て取れました。

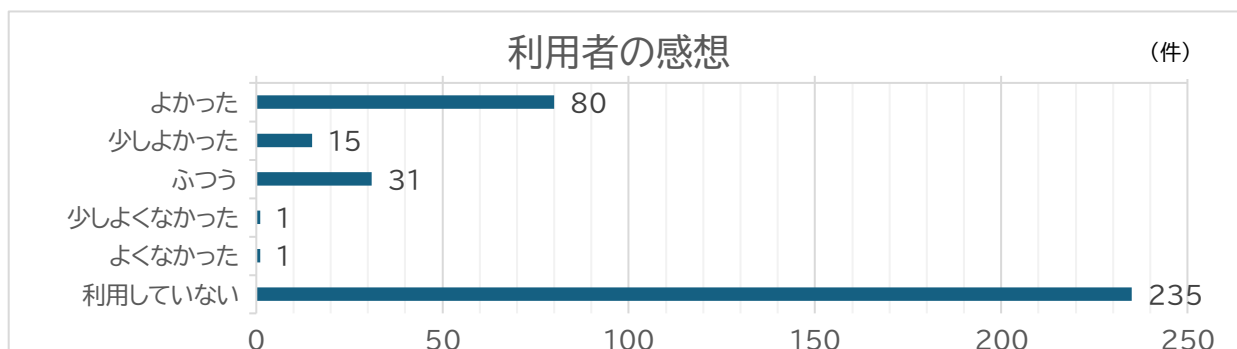
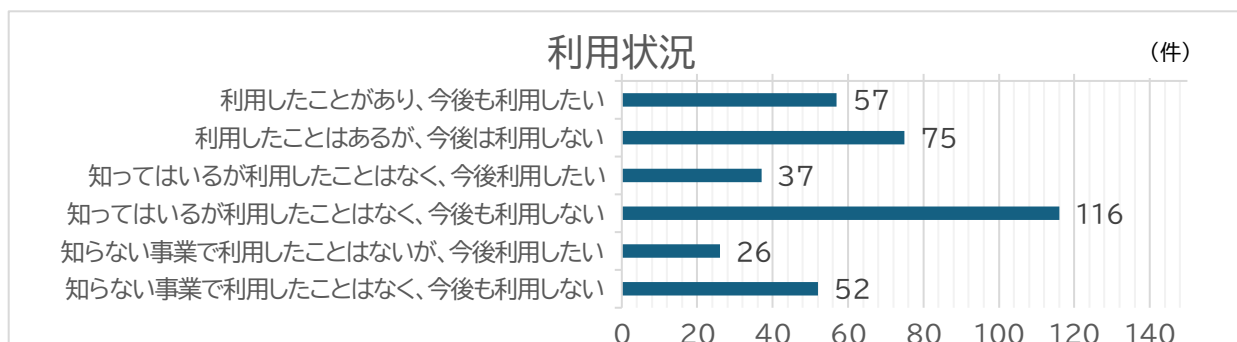
「新たに利用開始したい」、「利用日数を増やしたい」人の過当たりの利用希望日数は右記のとおりです。

◆ 過当たりの利用希望日数

日数	人数
1	68
2	43
3	25
4	2
5	7
6	1
7	1

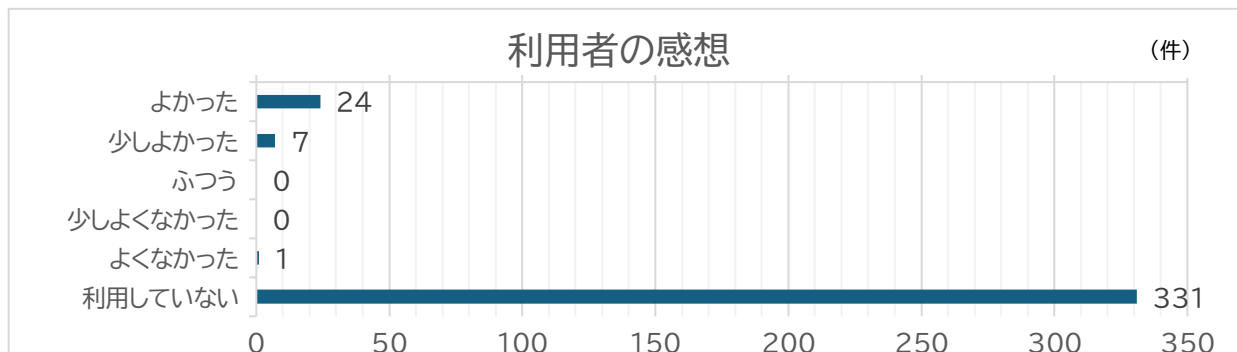
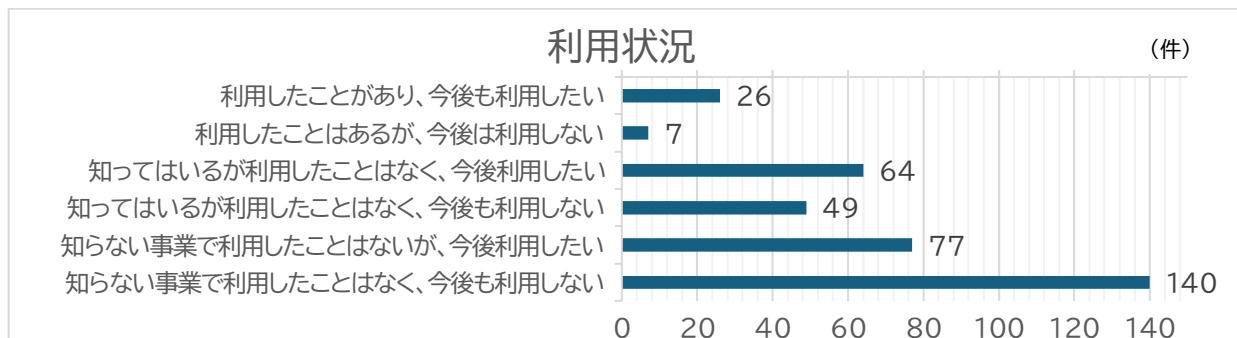
● 事業ごとの利用状況

◇ パパママ学級



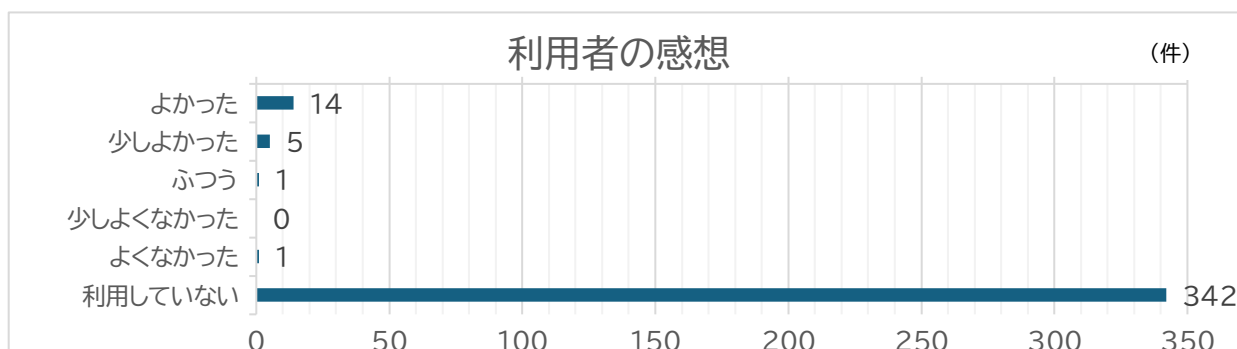
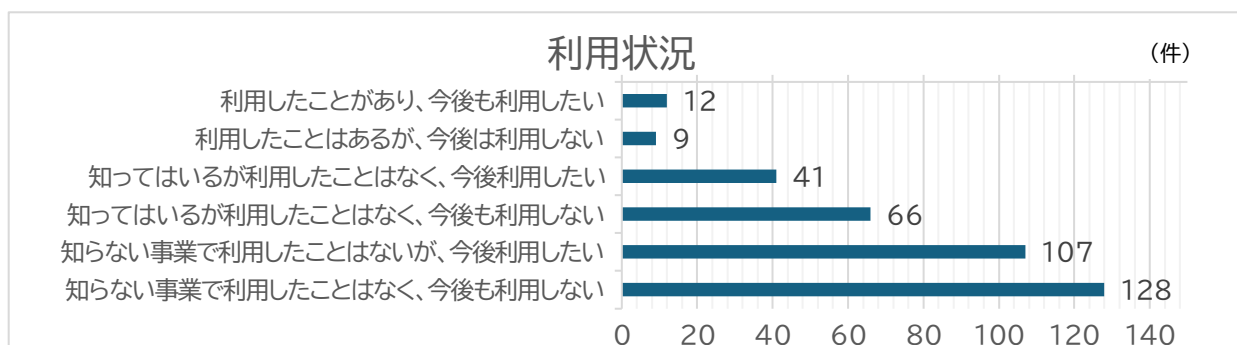
「利用していない人」が全体の約 65%を占めていますが、「利用している」人約 35%のうち、約 74%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ こころ湯る〜り講座



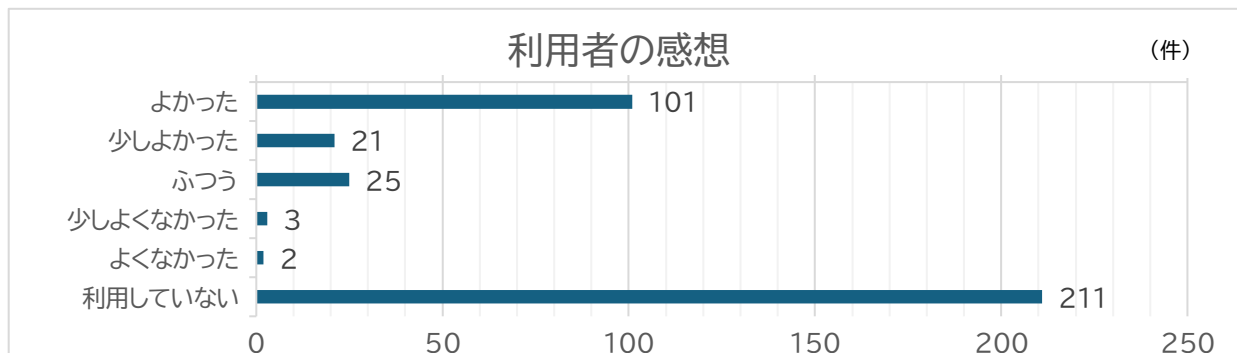
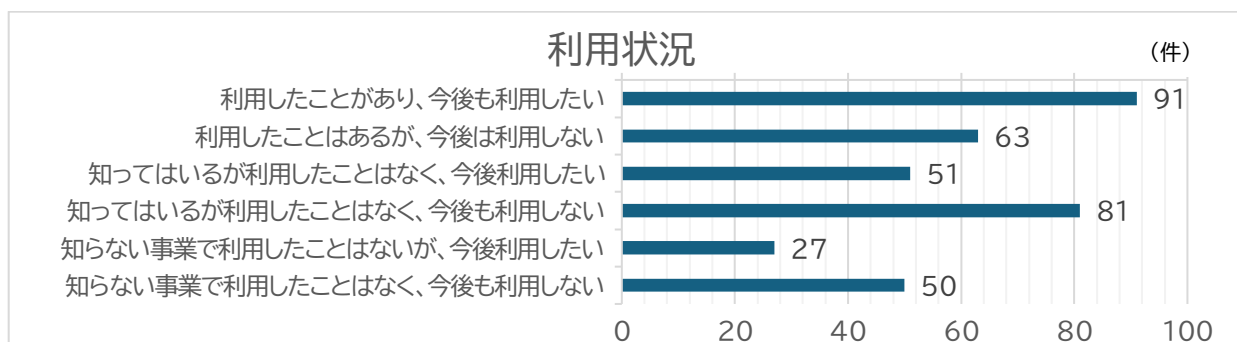
「利用していない人」が全体の約 91%を占めていますが、「利用している」人約 9%のうち、約 97%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ やんちゃっ子クラブ



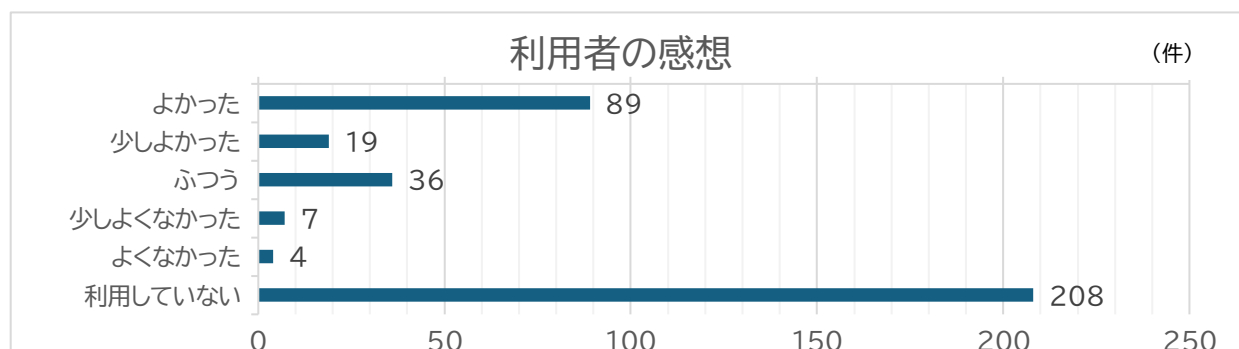
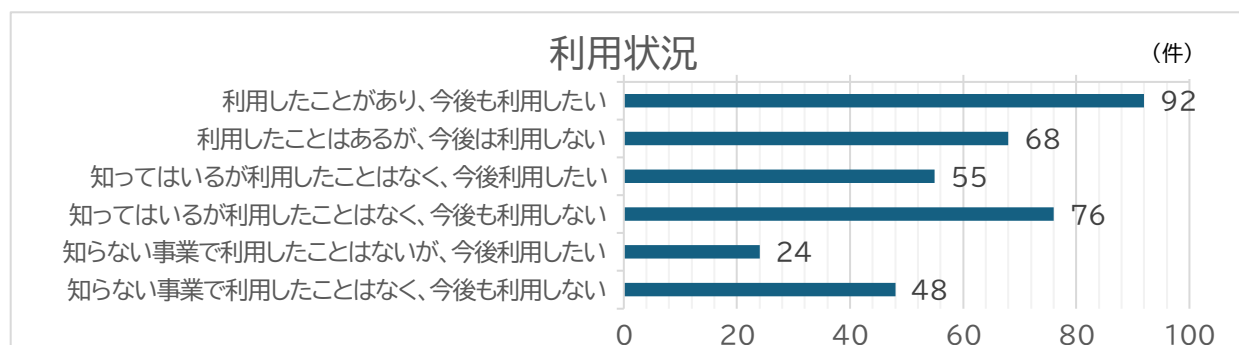
「利用していない人」が全体の約 94%を占めていますが、「利用している」人約 6%のうち、約 90%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ 地域子育て支援センターたんぽぽ



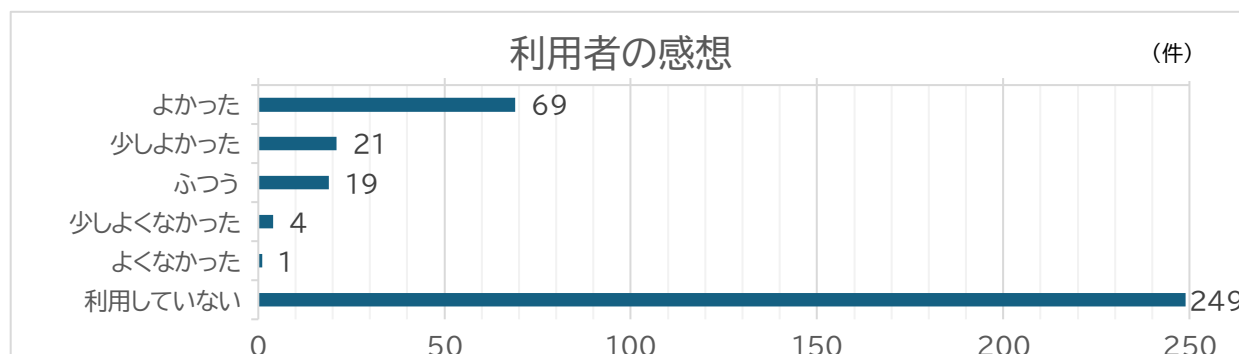
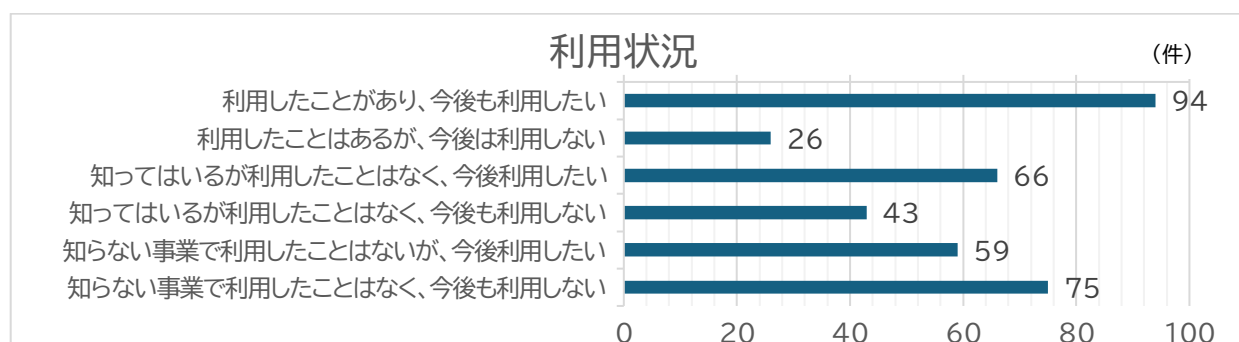
「利用していない人」が全体の約 58%を占めていますが、「利用している」人約 42%のうち、約 80%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ 地域子育て支援センターすみれ



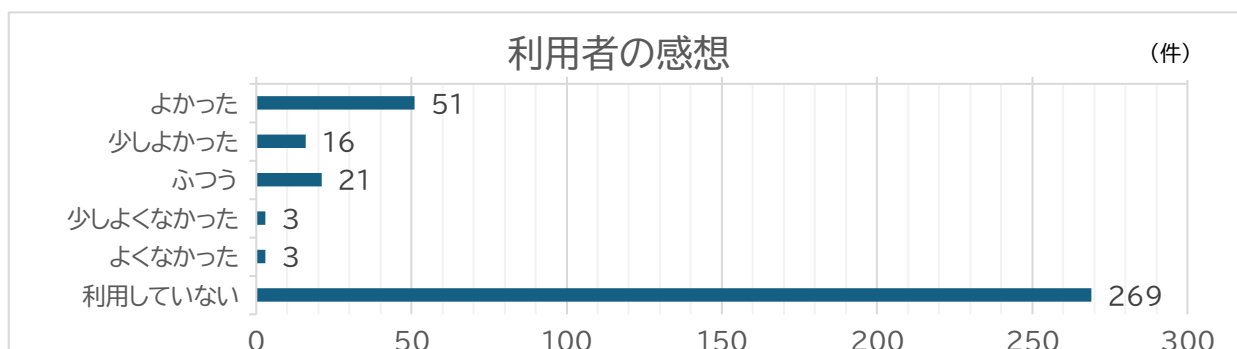
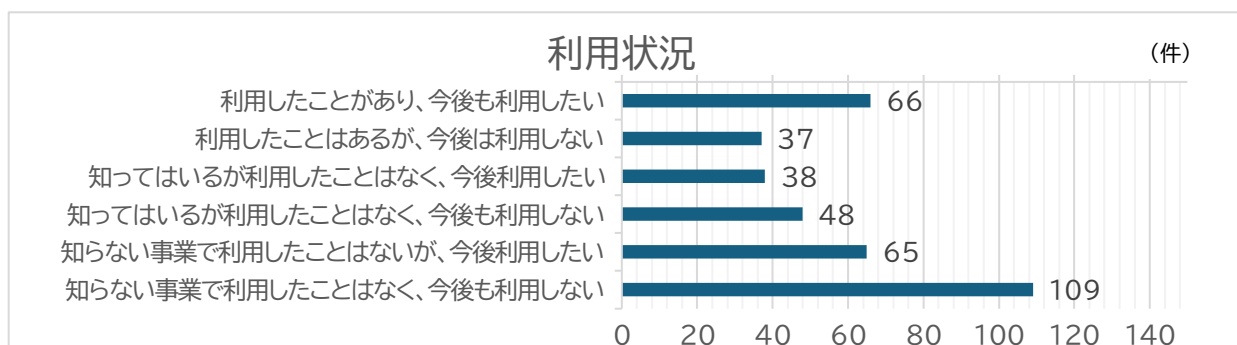
「利用していない人」が全体の約 57%を占めていますが、「利用している」人約 43%のうち、約 70%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ こども広場



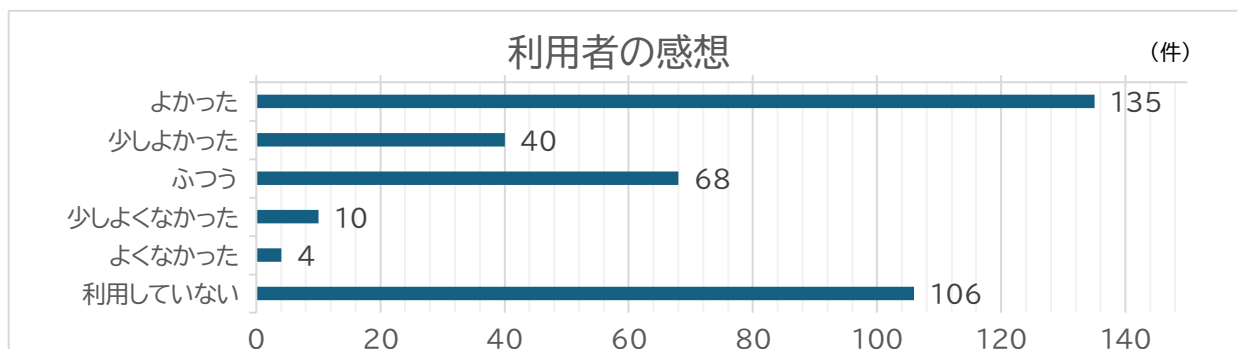
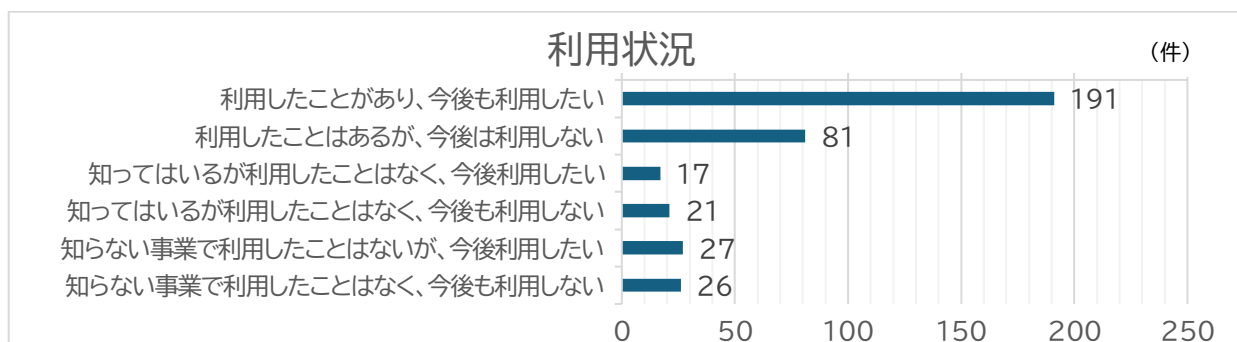
「利用していない人」が全体の約 69%を占めていますが、「利用している」人約 31%のうち、約 79%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ のびのび相談会



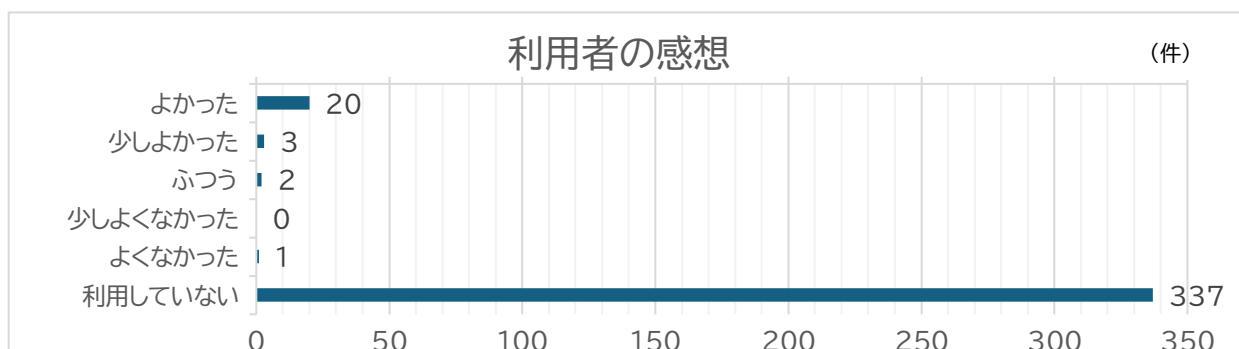
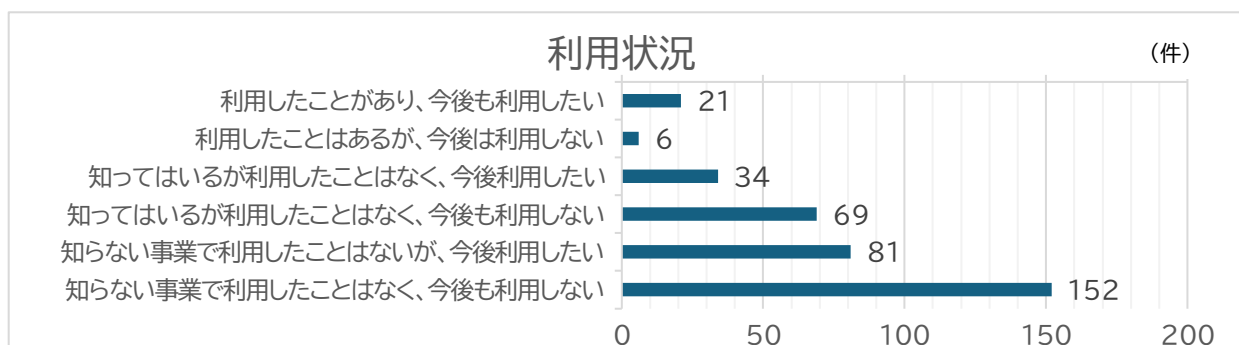
「利用していない人」が全体の約 74%を占めていますが、「利用している」人約 26%のうち、約 71%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ 乳幼児相談・訪問・健診



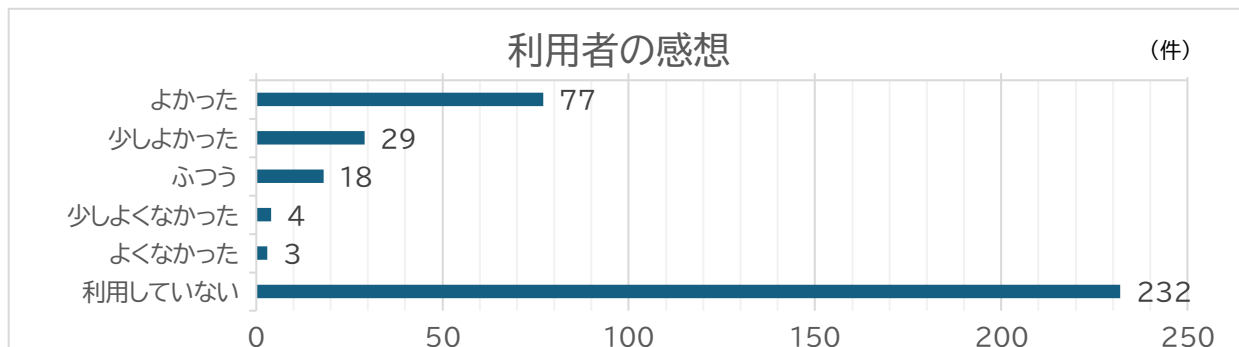
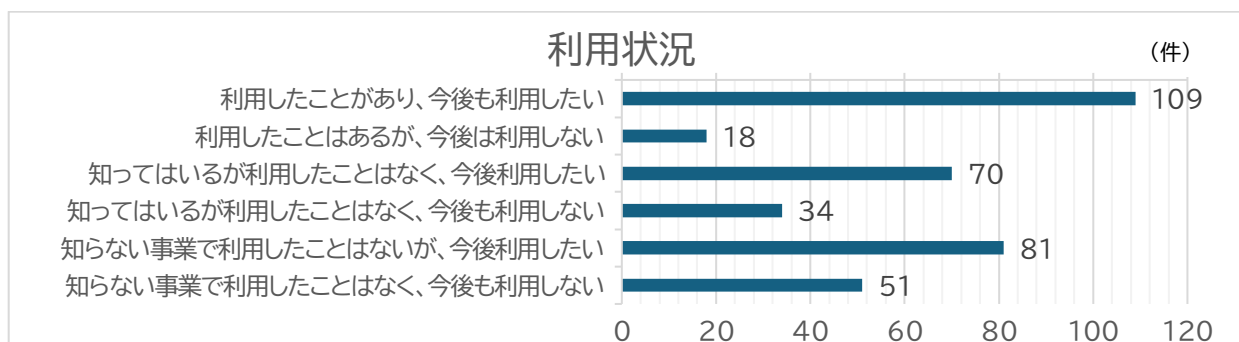
「利用していない人」が全体の約 29%を占めていますが、「利用している」人約 71%のうち、約 68%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ 児童発達支援センターきららか・なのはな相談室



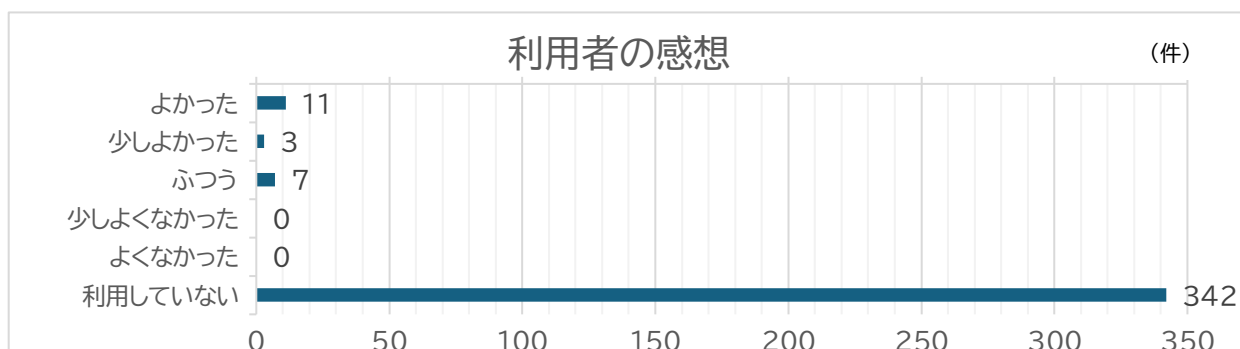
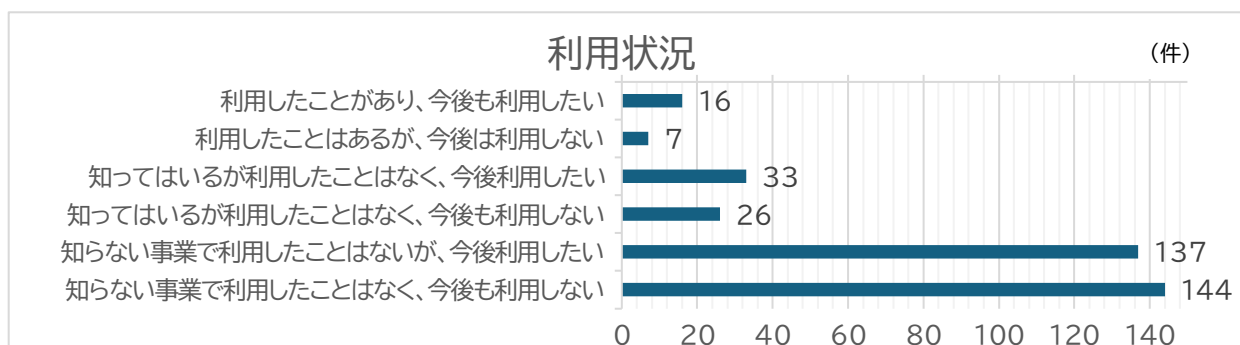
「利用していない人」が全体の約 93%を占めていますが、「利用している」人約 7%のうち、約 88%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ おもちゃ図書館



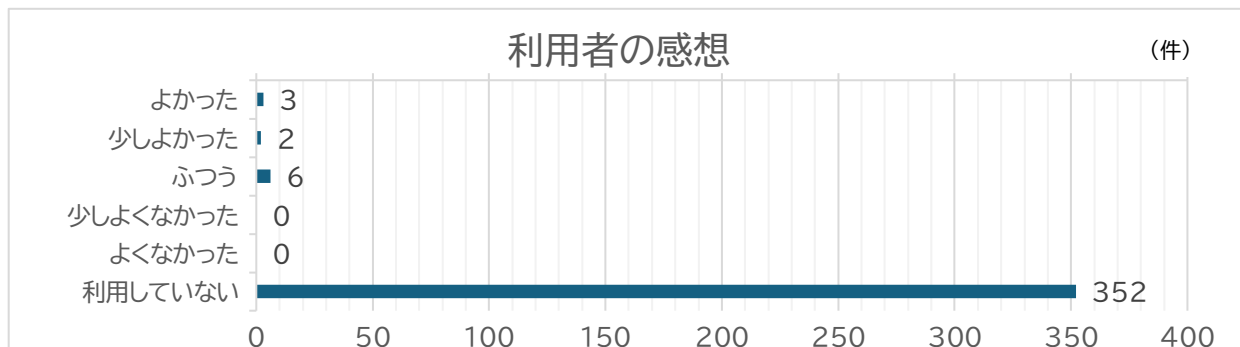
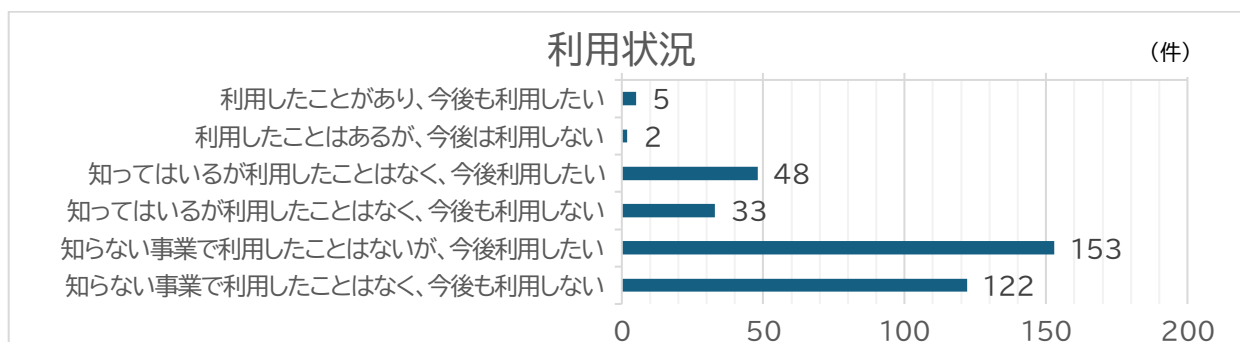
「利用していない人」が全体の約 64%を占めていますが、「利用している」人約 36%のうち、約 81%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ 家庭教育に関する学級・講座



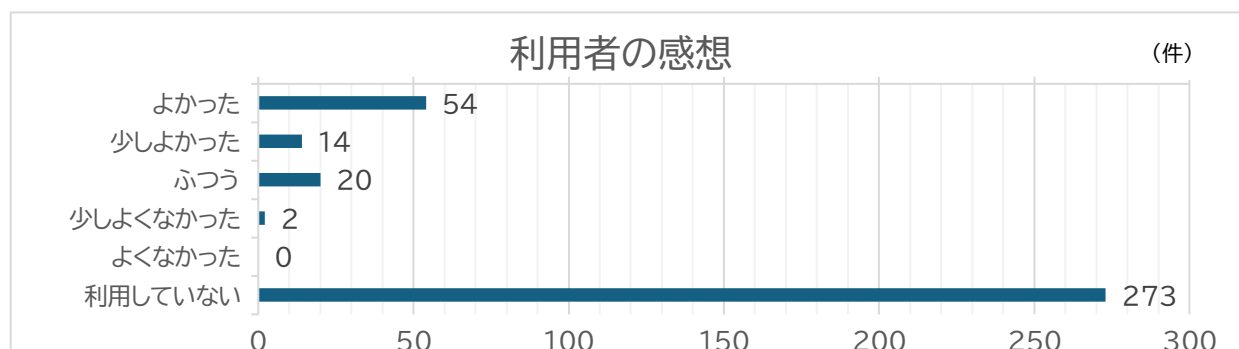
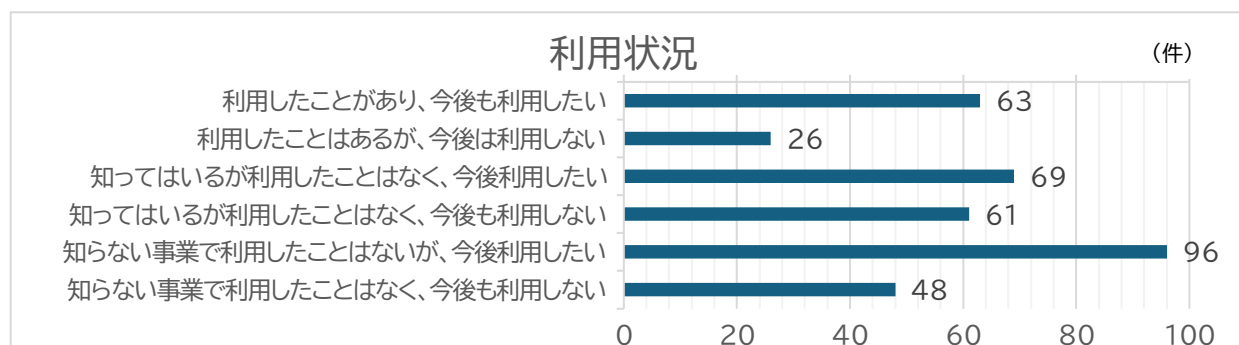
「利用していない人」が全体の約 94%を占めていますが、「利用している」人約 6%のうち、約 67%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ 教育相談センター・教育相談室



「利用していない人」が全体の約 97%を占めていますが、「利用している」人約 3%のうち、約 45%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

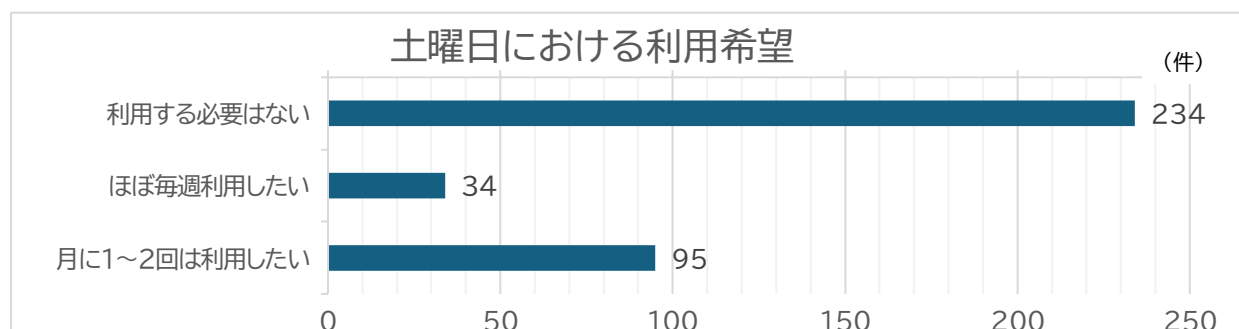
◇ 保育所や幼稚園の園庭開放



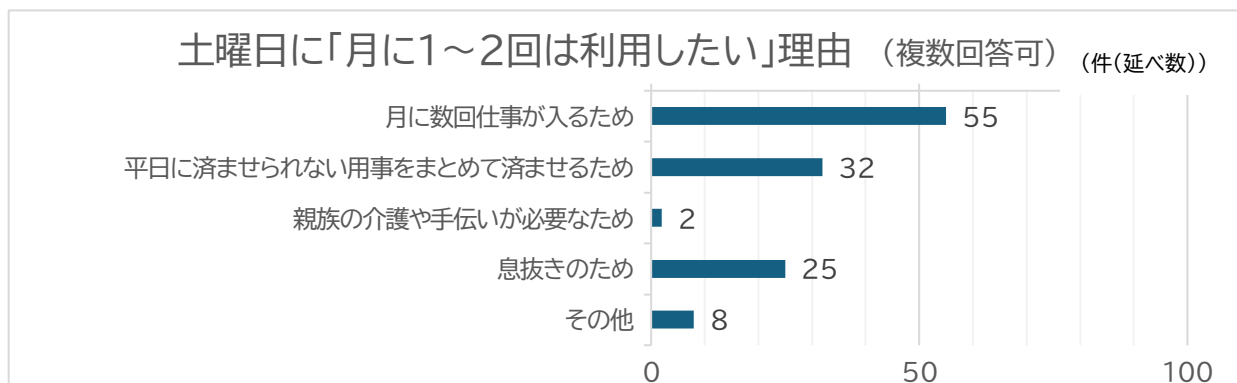
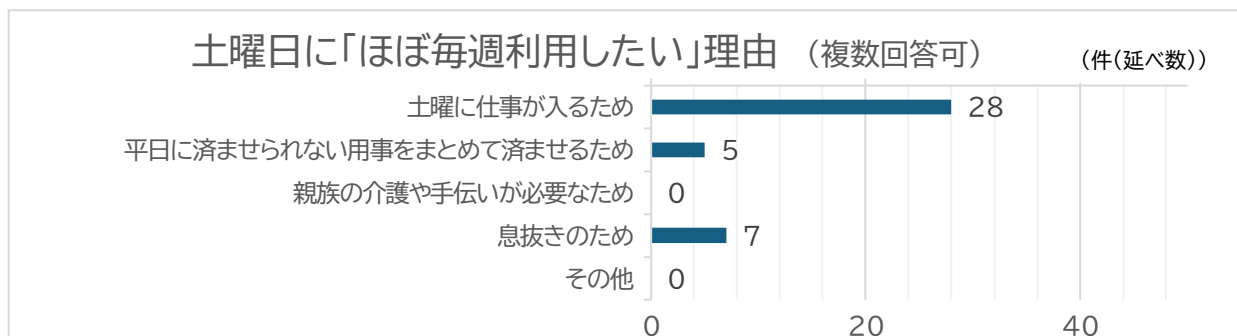
「利用していない人」が全体の約 75%を占めていますが、「利用している」人約 25%のうち、約 76%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

● 土・日・祝日における「定期的な教育・保育の事業」の利用希望

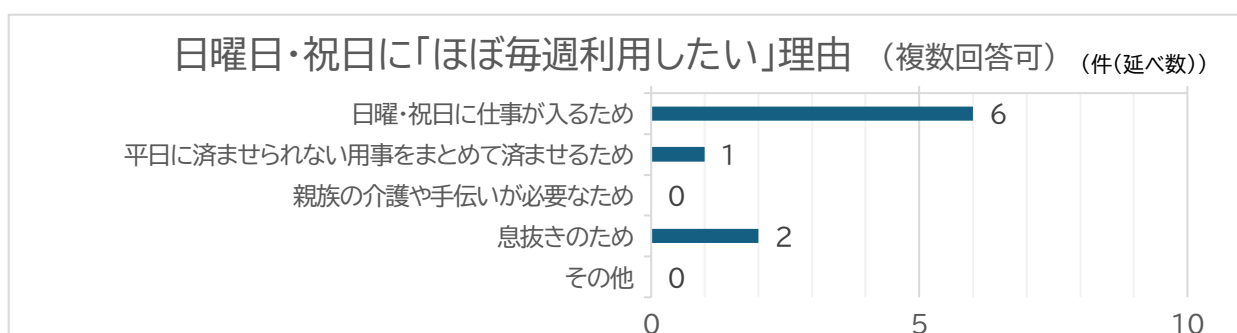
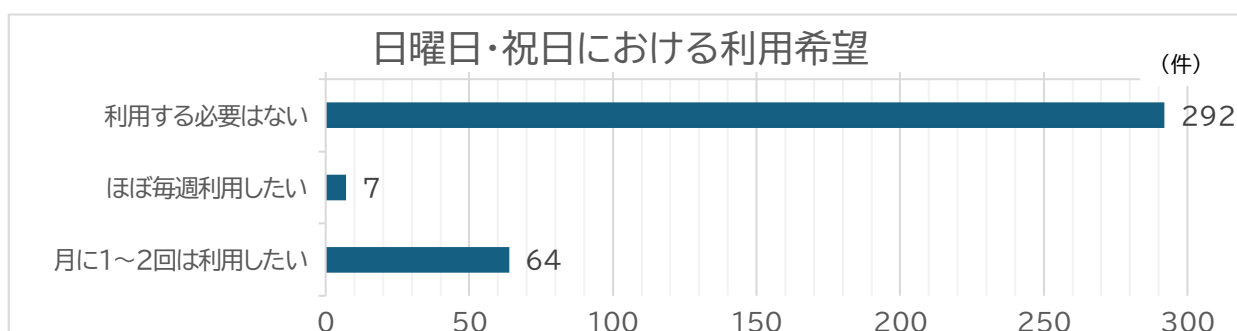
◇ 土曜日における利用希望



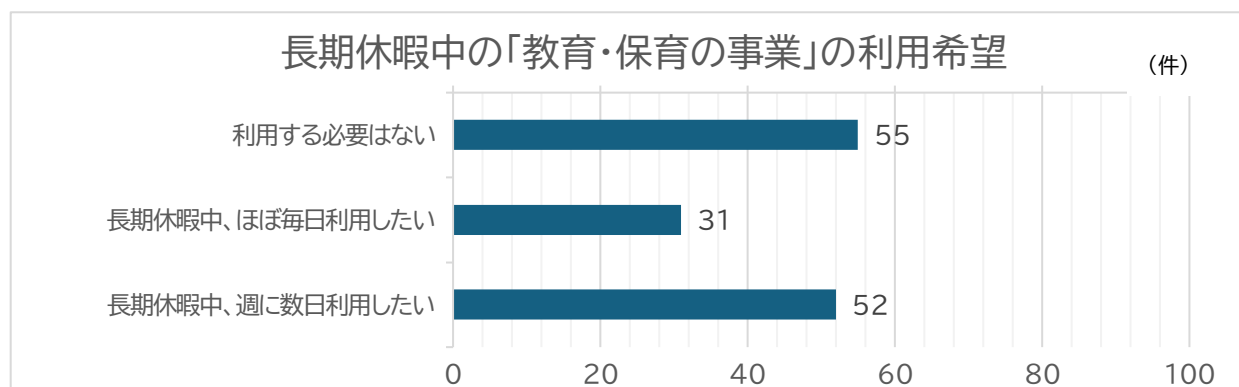
土曜日に「定期的な教育・保育の事業」を「利用する必要はない」人は全体の約 35%おり、このうち約 26%が「ほぼ毎週利用したい」、約 74%が「月に 1～2 回は利用したい」と回答しました。回答理由は、それぞれ以下のとおりです。



◇ 日曜日・祝日における利用希望

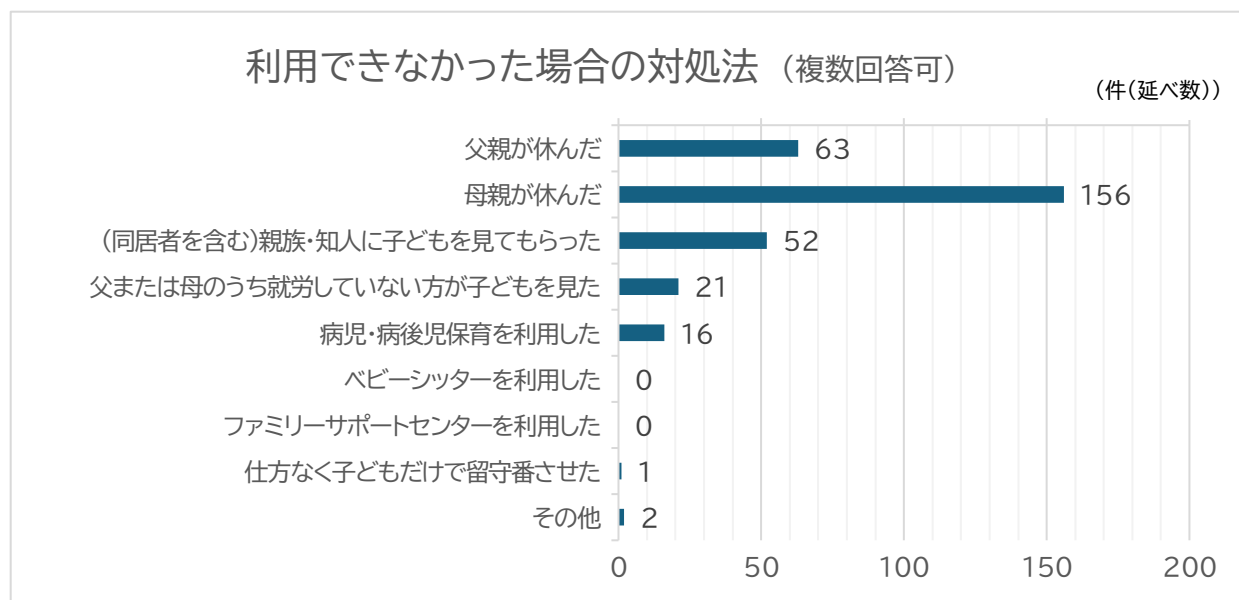
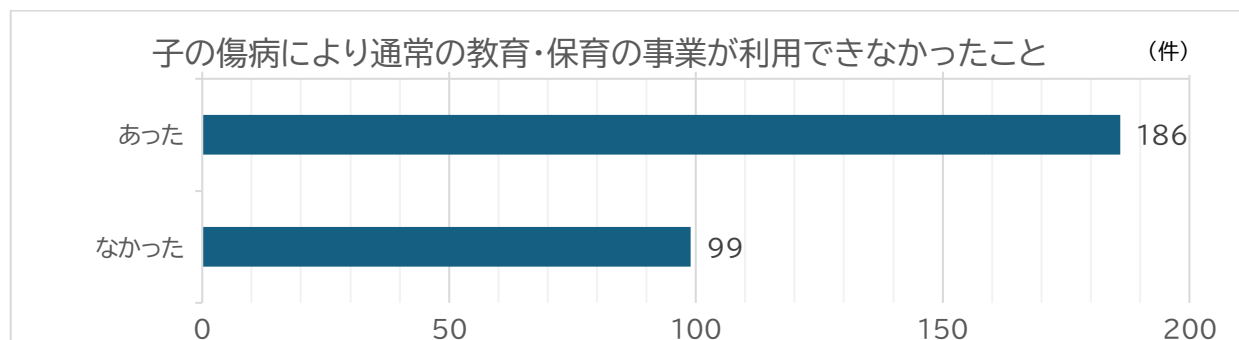


◇ 幼稚園利用者のみ



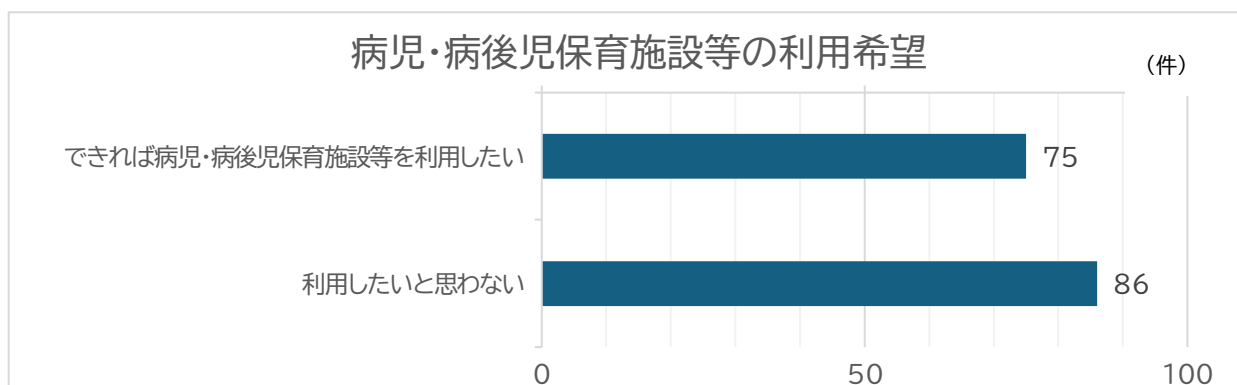
幼稚園利用者全体の約 60%が、長期休暇中の「教育・保育の事業」の利用を希望していることがわかりました。このうち、約 37%は「ほぼ毎日」、約 63%は「週に数日」利用したいとの結果となっています。

● 直近 1 年間における子どもが傷病の際の対応



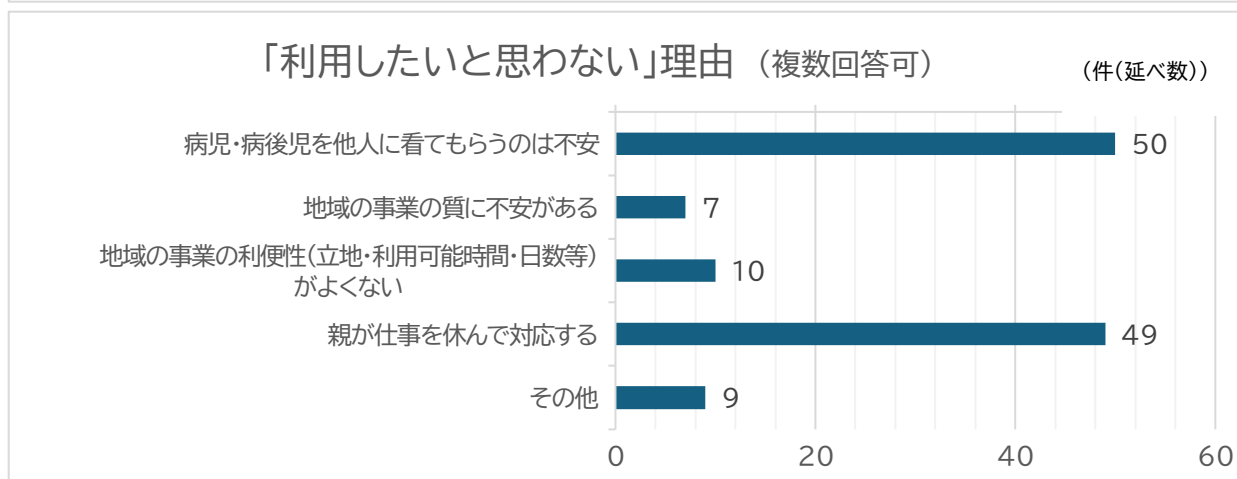
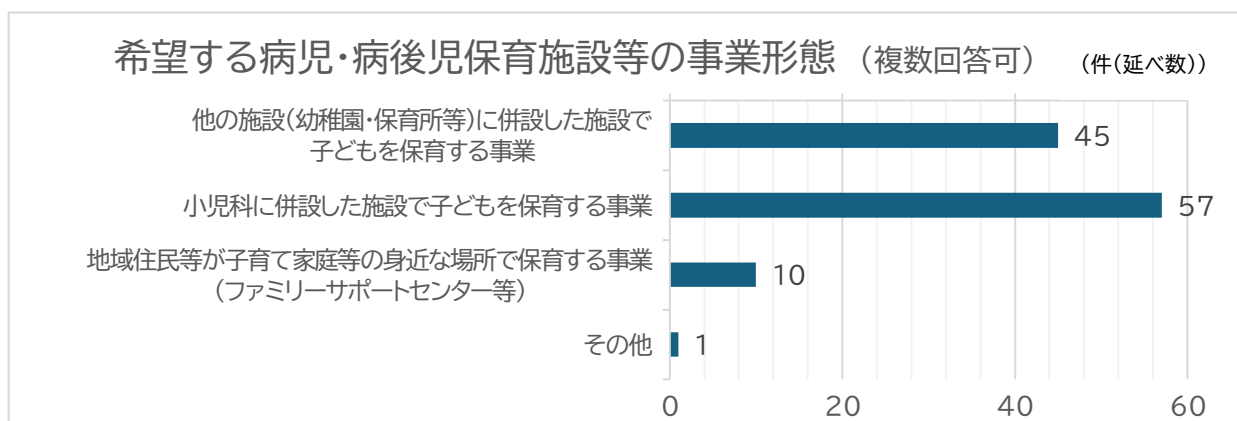
「父親が休んだ」のは全体の約 20%であるのに対し、「母親が休んだ」のは全体の約 50%と、「母親が休んだ」法が 2 倍以上多い結果となりました。

◇ 病気やケガの際における病児・病後児保育施設等の利用

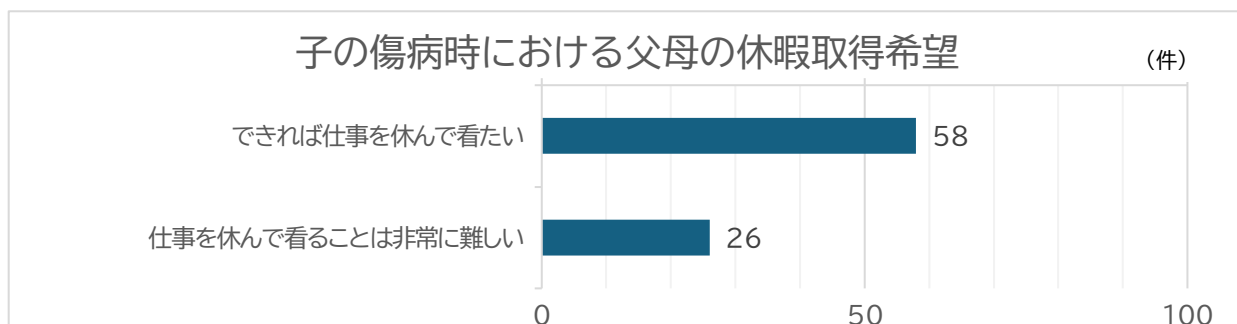


全体の約 47%が「利用したい」、約 53%が「利用したいと思わない」と回答しました。

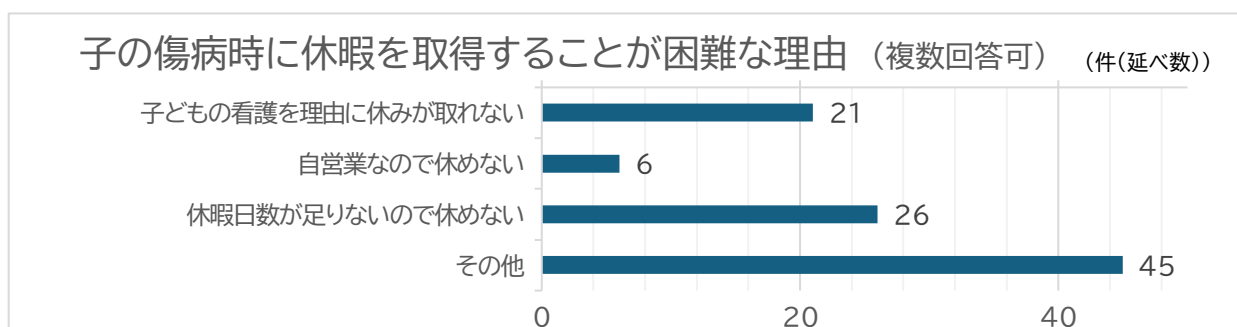
病児・病後児保育施設等の利用を希望する場合における希望事業形態と、利用したいと思わない理由は以下のとおりです。



◇ 子の傷病時に父母が休んで子を見ることに対して

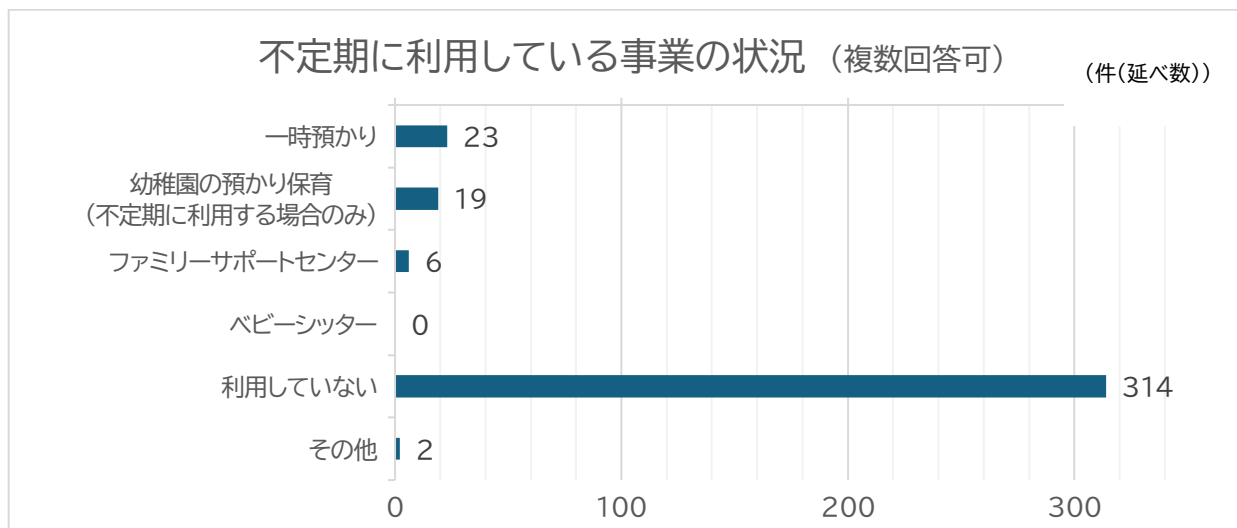


子の傷病時に「できれば仕事を休んで看たい」とする父母は、全体の約 69%という結果となりました。全体の約 31%を占める「仕事を休んで看することは非常に難しい」理由は、以下のとおりです。



「その他」の理由としては、「自分しかできない仕事がある」、「職場の人員不足」、「急な休暇の取得が難しい」、「家族の中で就労していない人がおり、そもそも休暇を取得する必要がない」などの回答がありました。

◇ 私用、親の通院、不定期就労等の目的で、不定期に利用している事業の状況

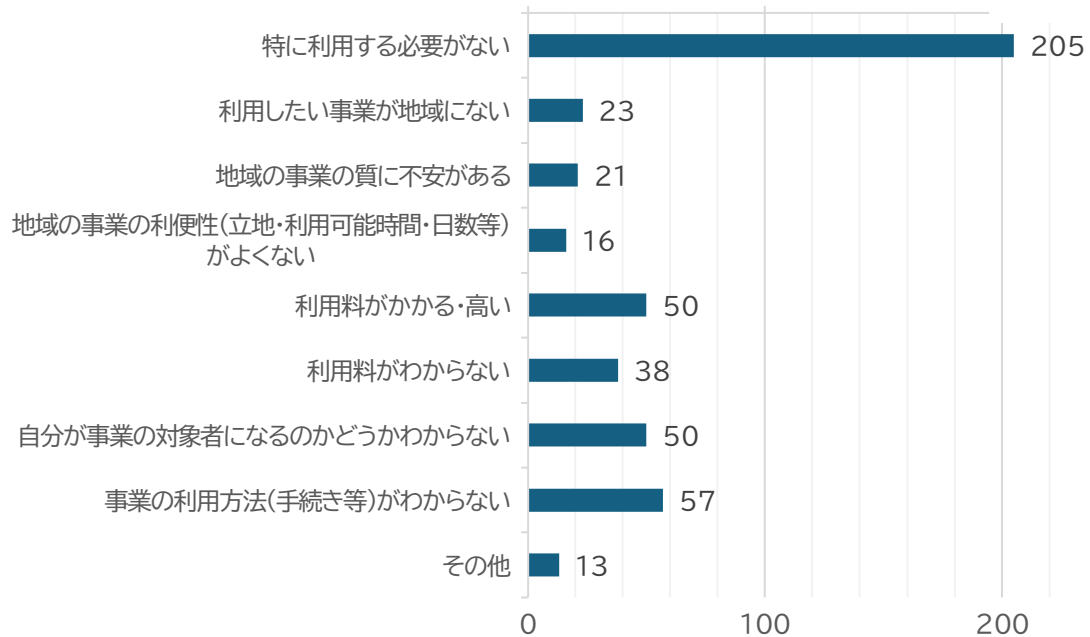


「利用していない」人が全体の約 86%を占めるなど、大多数の人は、事業の不定期利用をしていないことがわかります。「その他」の回答としては、「親族に見てもらう」というものでした。

「事業を利用していない」理由は以下のとおりです。

現在「事業を利用していない」理由（複数回答可）

（件(延べ数)）

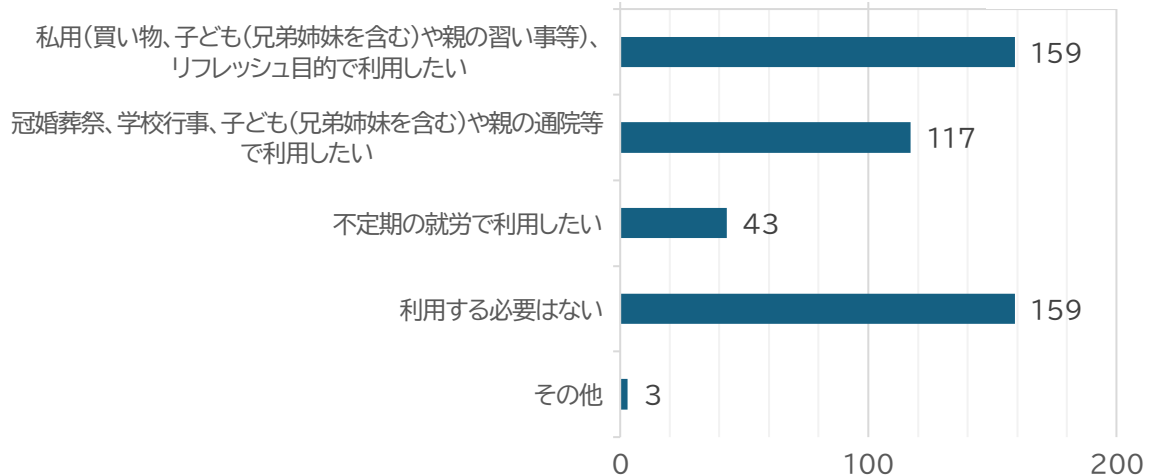


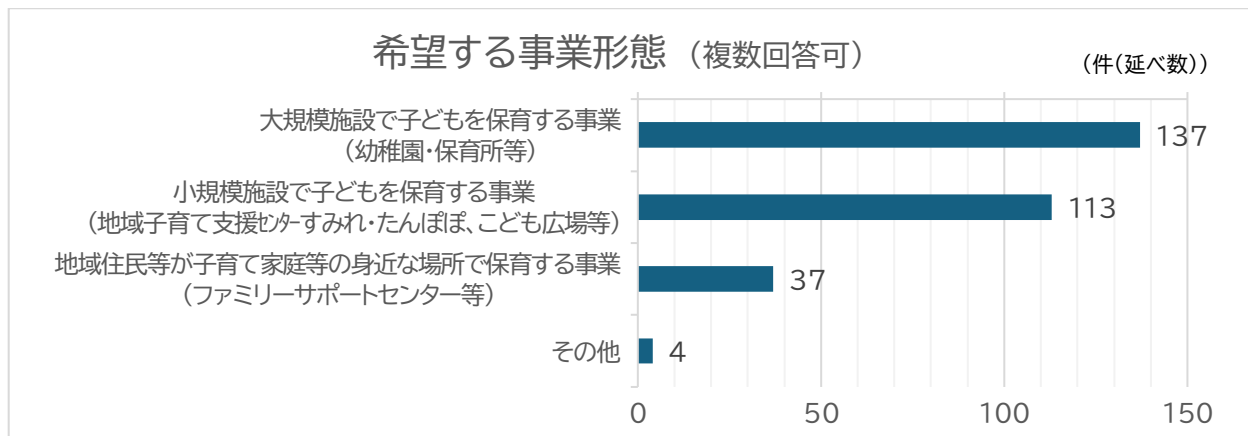
全体の約43%が「特に利用する必要がない」と回答しています。「利用したいのに利用していない」理由としては、「利用方法がわからない」が全体の約12%、次いで、「利用料の問題」・「対象者がわからない」が全体の約11%という結果となりました。より安価で、よりわかりやすい事業が求められていることがわかります。

「その他」の理由としては、「手続きが面倒」、「子どもが嫌がる」などが挙げられました。今後の事業の利用希望、希望する事業形態については、以下のとおりの結果となりました。

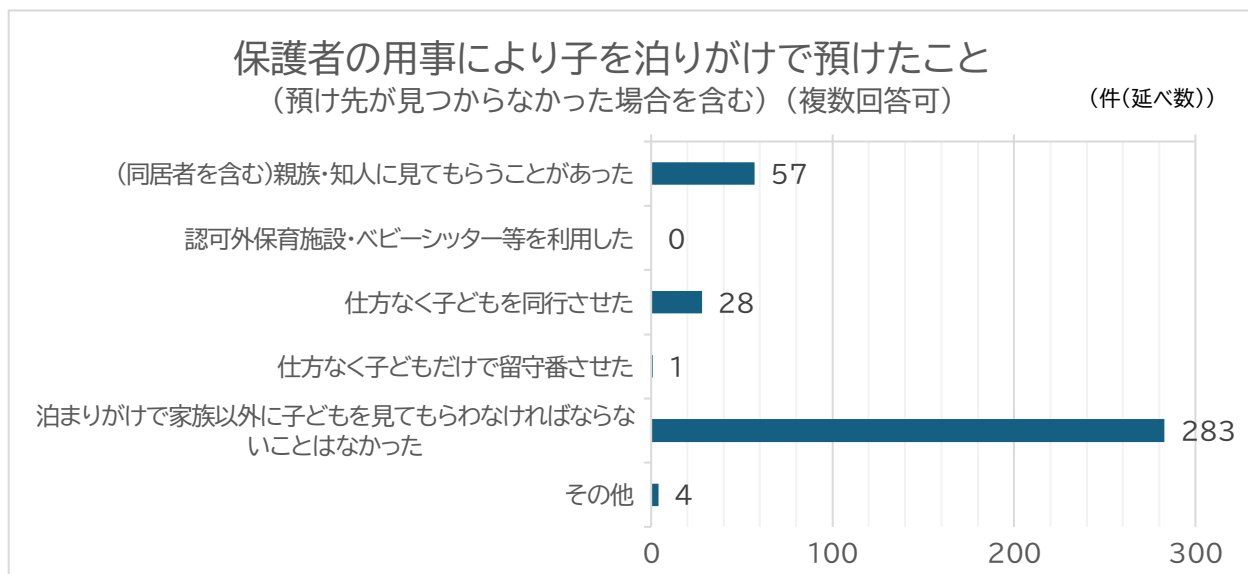
今後の事業の利用希望（複数回答可）

（件(延べ数)）



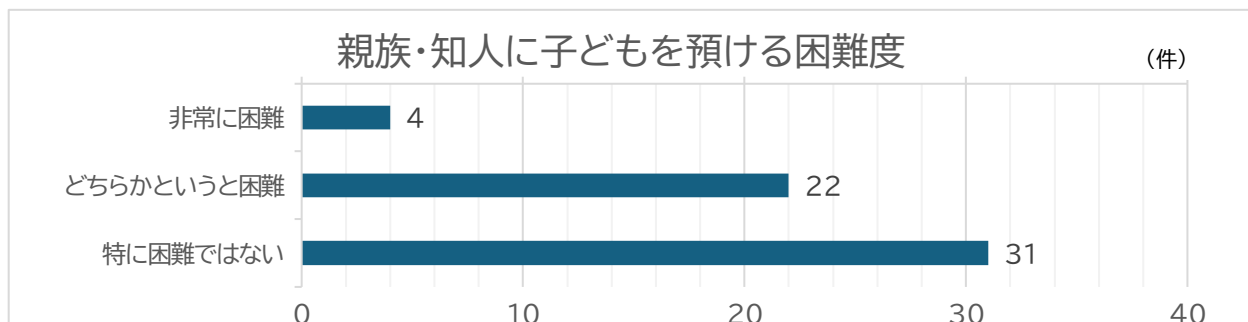


◇ 直近 1 年間における、保護者の用事に起因して子を泊りがけで預けた状況



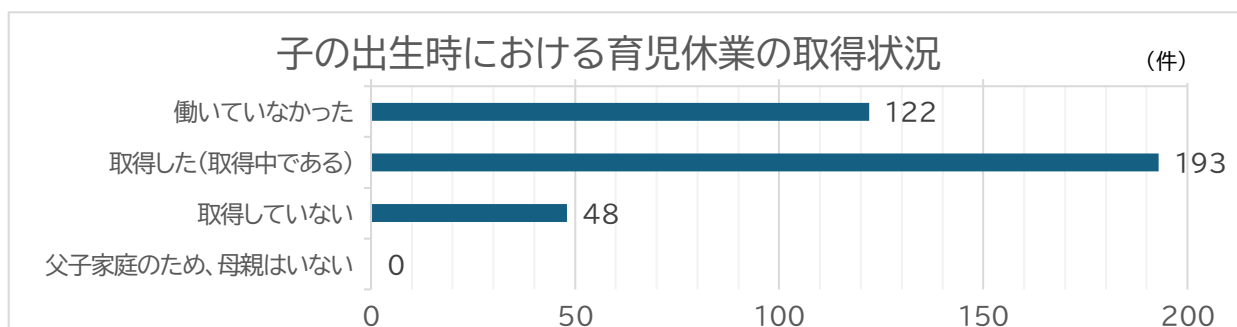
「泊りがけで子を預けなければならないことはなかった」人が全体の約 76%を占めているものの、「（同居者を含む）親族・知人に見てもらうことがあった」人が全体の約 15%、「仕方なく子どもを同行させた」人が全体の約 8%と、子を泊りがけで預けた（預けたかった）人が少なからず存在していることがわかる結果となりました。

また、「（同居者を含む）親族・知人に見てもらうことがあった」人がお子さんを預ける困難度としては、以下のとおりの結果となりました。



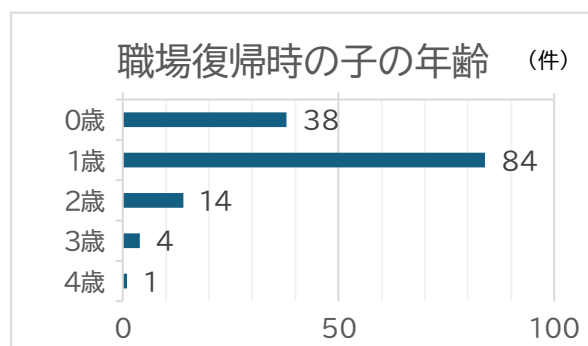
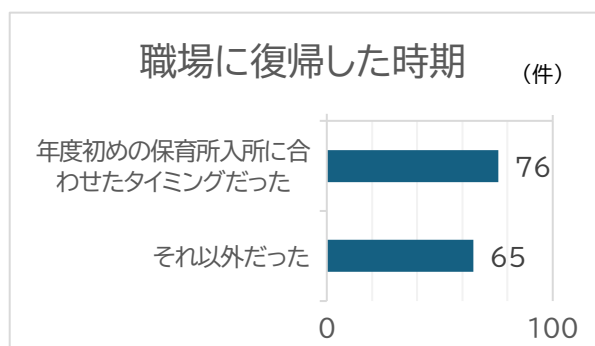
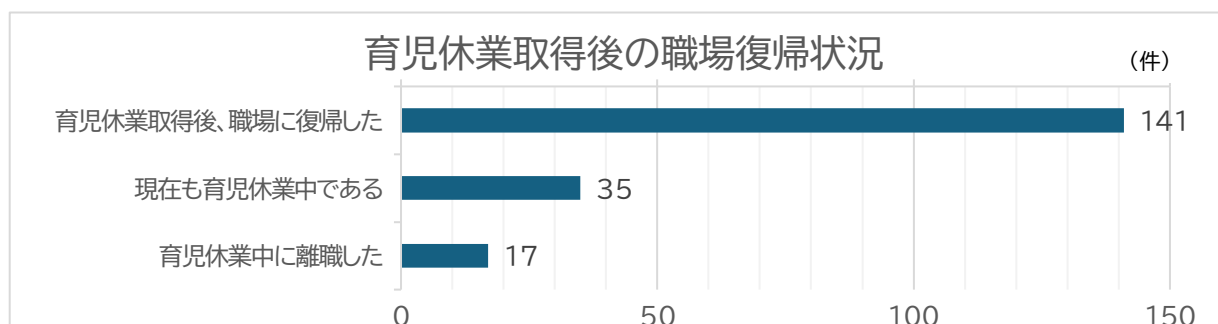
● 育児休業や短時間勤務制度等、職場の両立支援制度の状況

◇ 母親の状況

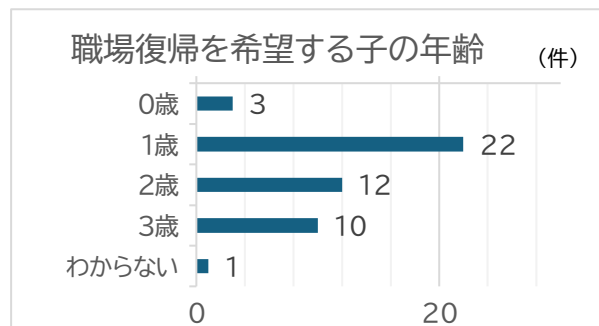
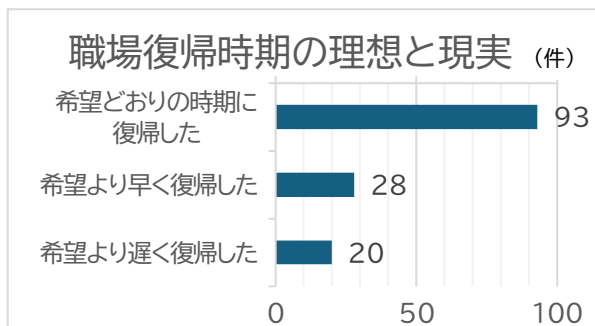


「働いていなかった」人が全体の約 34%、「取得した(取得中である)」人が全体の約 53%という結果となりました。「取得した(取得中である)」人は就労中の人の約 80%を占めています。

◆ 育児休業を取得した人

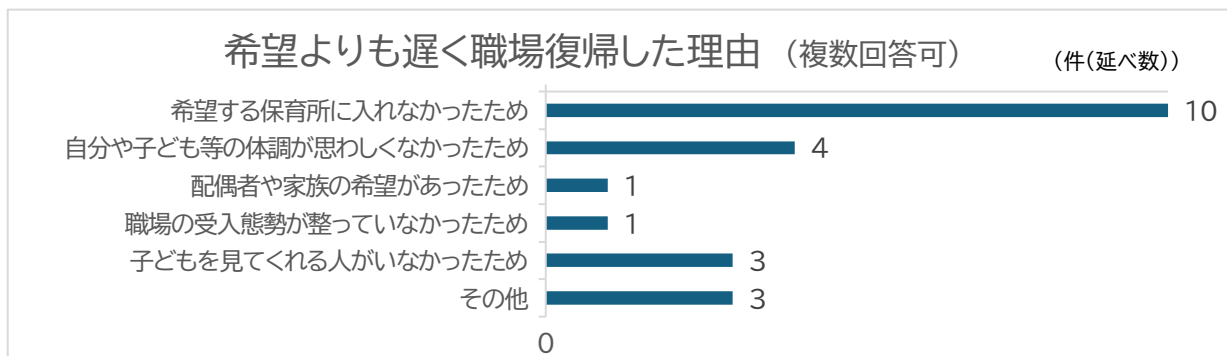
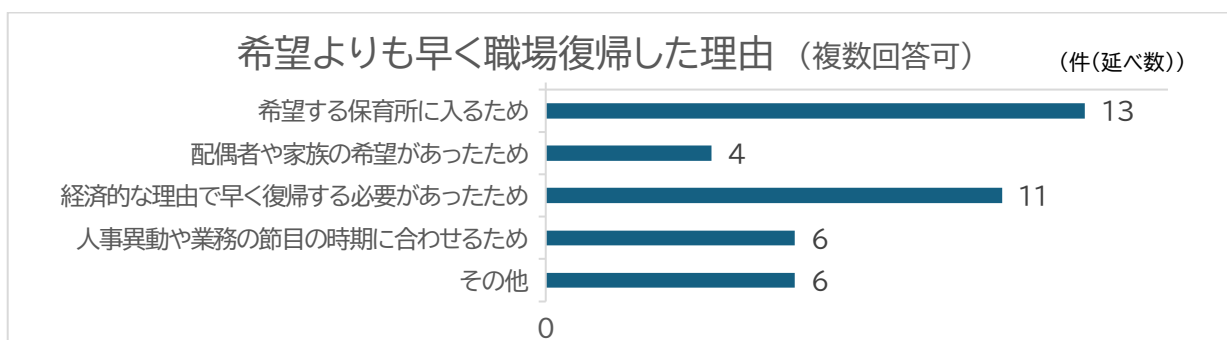


「育児休業取得後、職場に復帰した」人が全体の約 73%おり、このうち職場に復帰した時期は「保育所入所」時が最も多く、全体の約 54%、復帰時の子の年齢は「1歳」時点が最も多く、全体の約 60%を占める結果となりました。

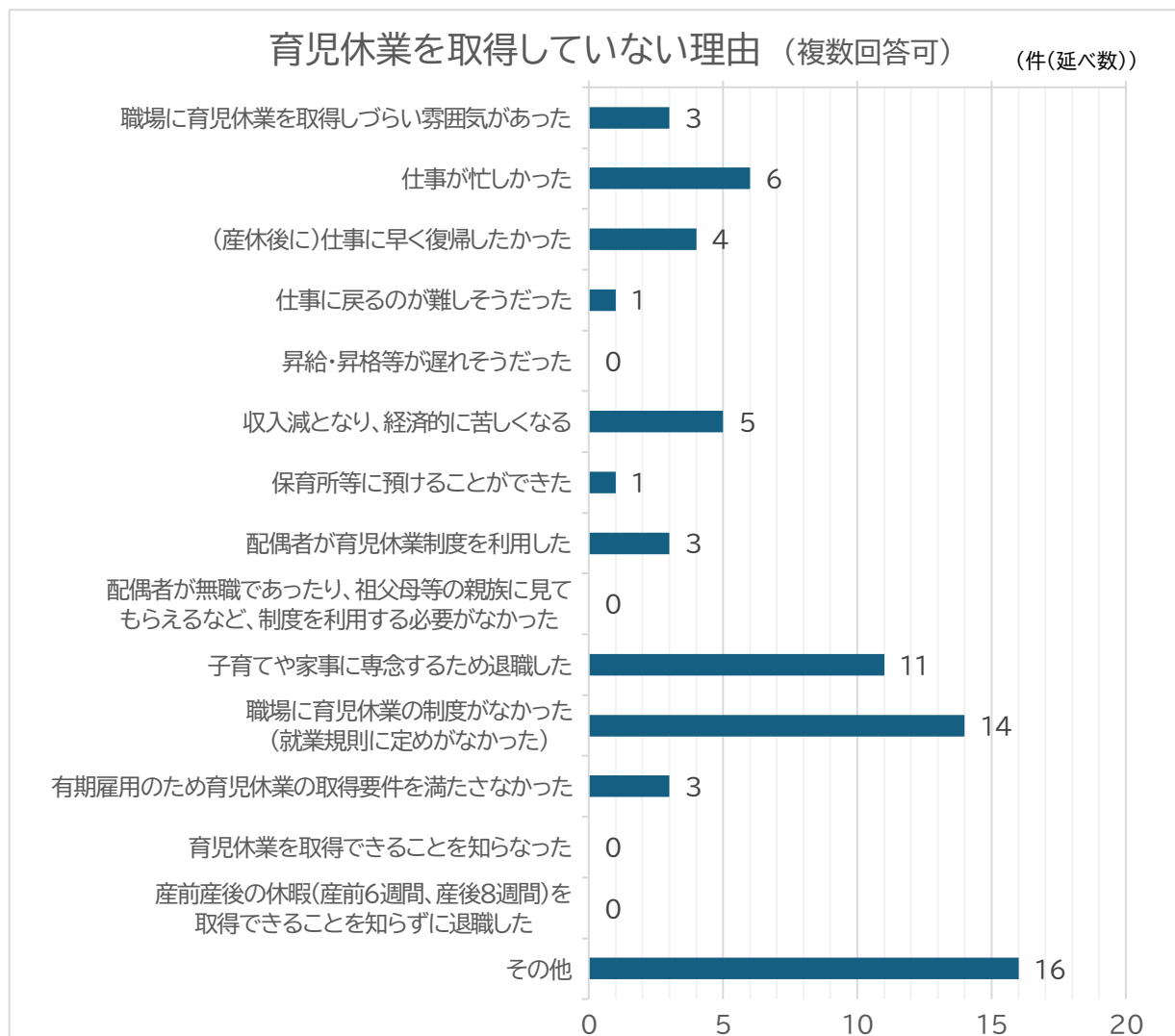


「希望どおりの時期に復帰できなかった」人が全体の約34%おり、このうち、約46%の人が「子が1歳になるまでは育児休業を取得したい(取得したかった)」と希望していました。

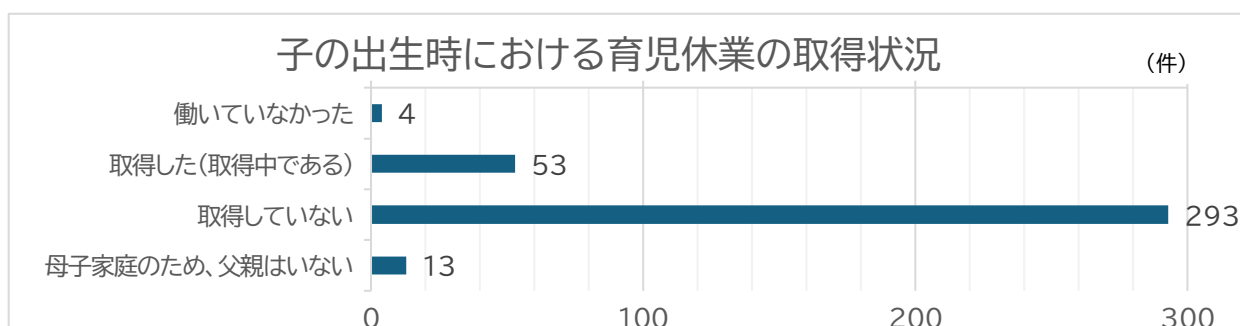
また、「希望どおりの時期に復帰できなかった」人の「希望よりも早く復帰した」理由、「希望よりも遅く復帰した」理由は以下のとおりです。



◆育児休業を取得しなかった人

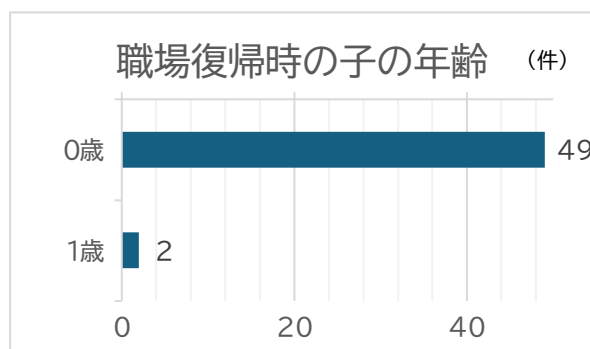
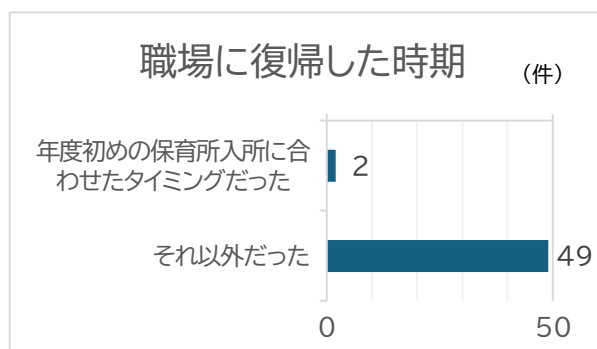
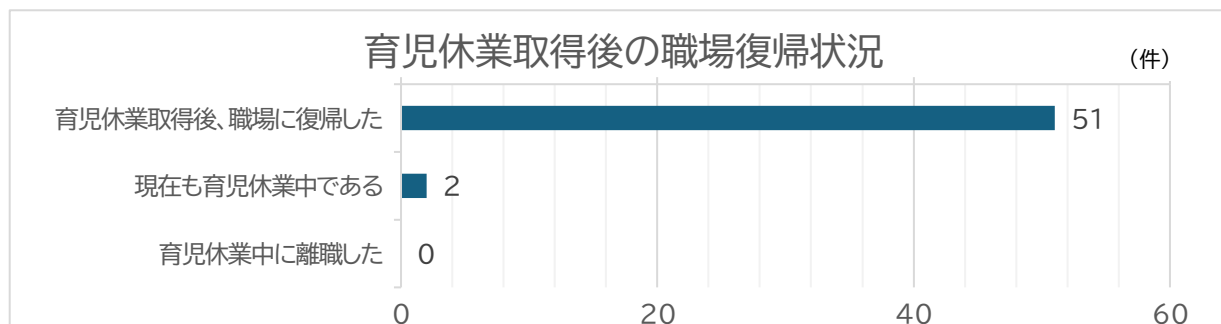


◇ 父親の状況

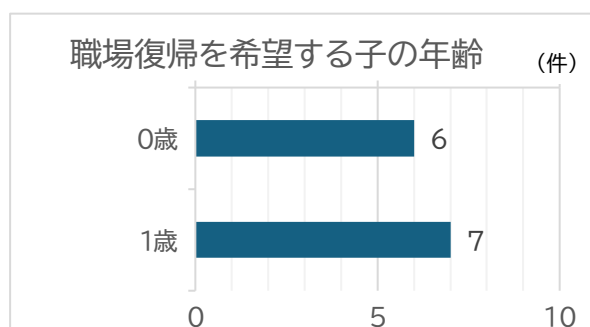
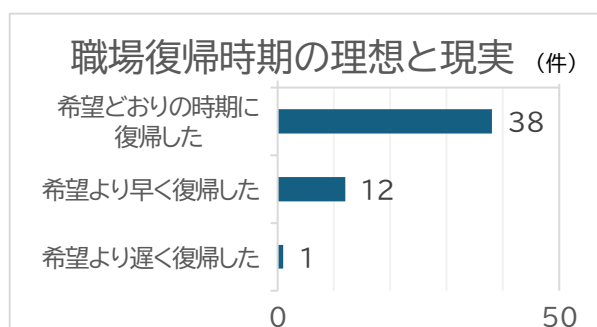


「取得していない」人が全体の約81%であるのに対し、「取得した(取得中である)」人は全体の約15%という結果となりました。母親と比較して、「取得していない」人が大幅に多い結果となりました。

◆育児休業を取得した人

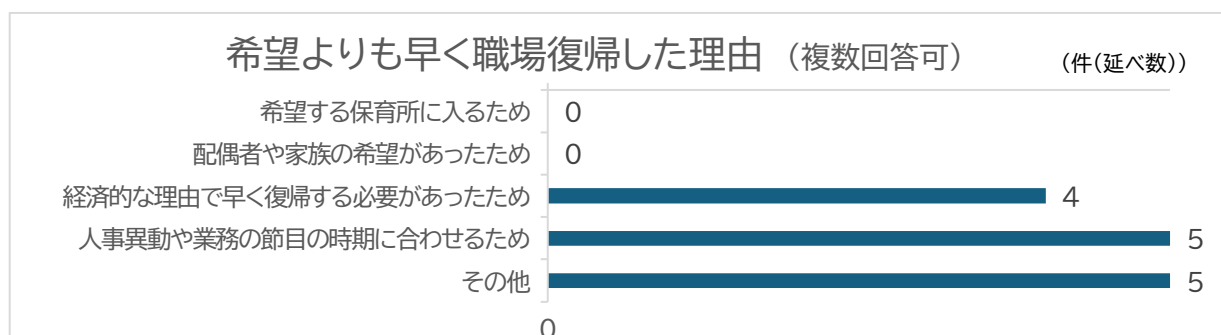


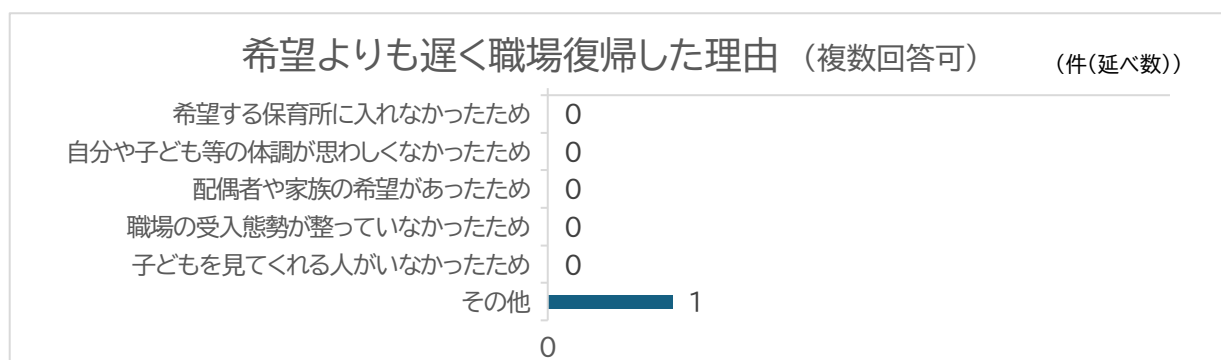
「育児休業取得後、職場に復帰した」人が全体の約 96%おり、このうち職場に復帰した時期は「保育所入所以外」の時が最も多く、全体の約 96%、復帰時の子の年齢は「0 歳」時点が最も多く、全体の約 96%を占める結果となりました。



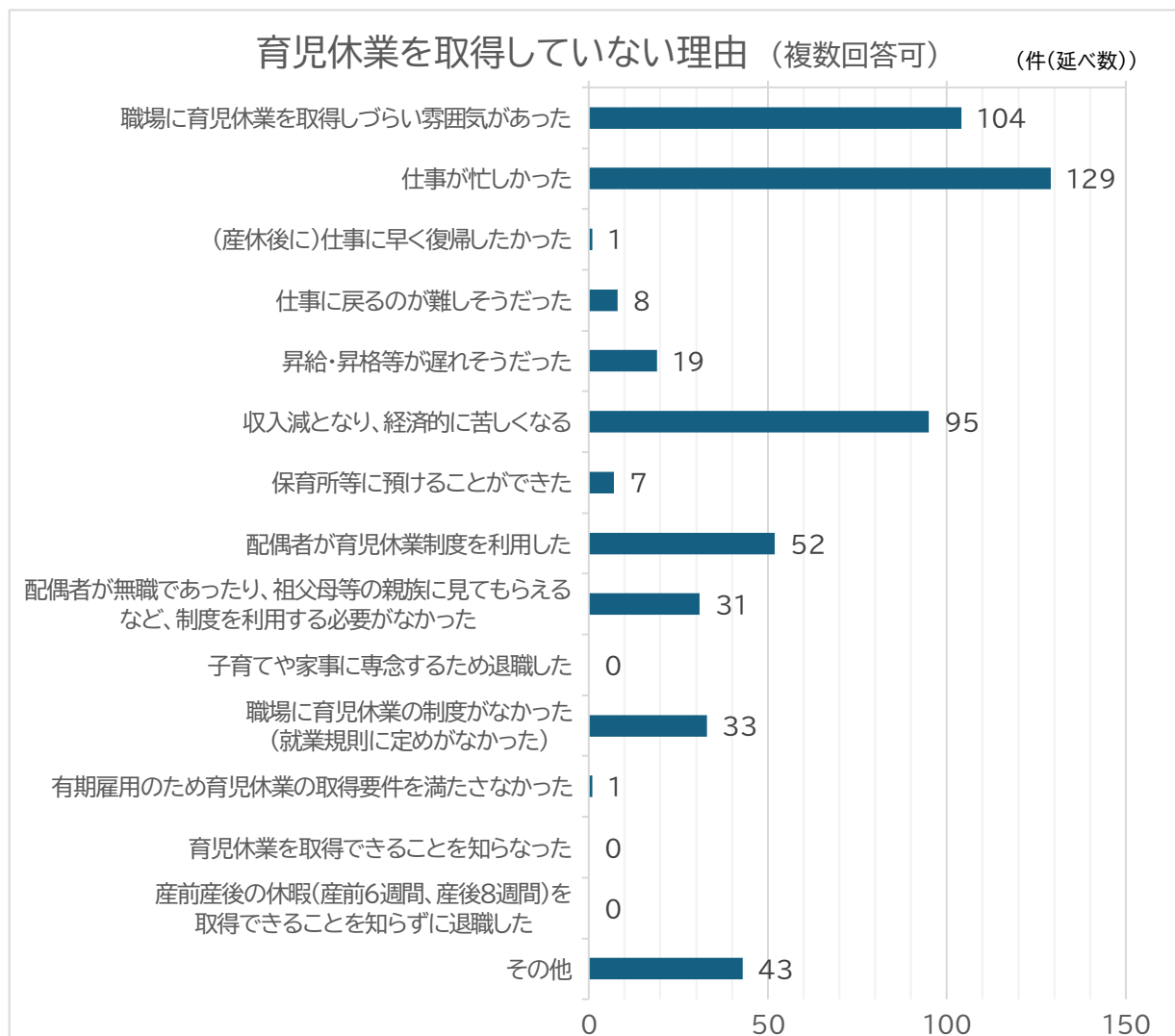
「希望どおりの時期に復帰できなかった」人が全体の約 25%おり、このうち、約 54%の人が「子が 1 歳になるまでは育児休業を取得したい(取得したかった)」と希望していました。

また、「希望どおりの時期に復帰できなかった」人の「希望よりも早く復帰した」理由、「希望よりも遅く復帰した」理由は以下のとおりです。

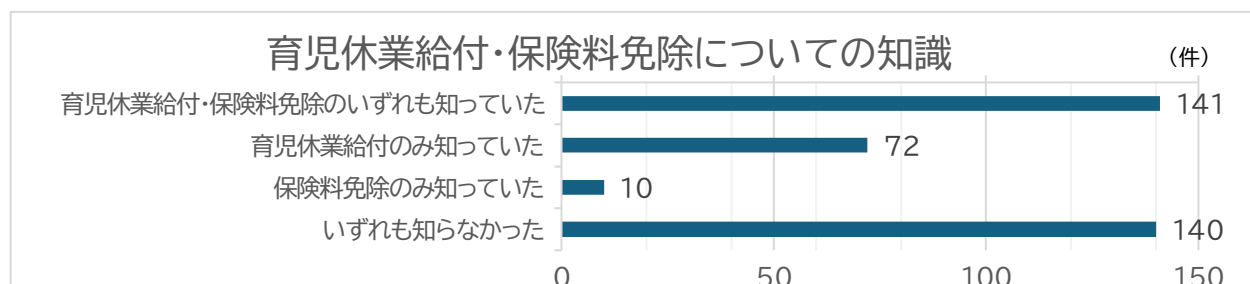




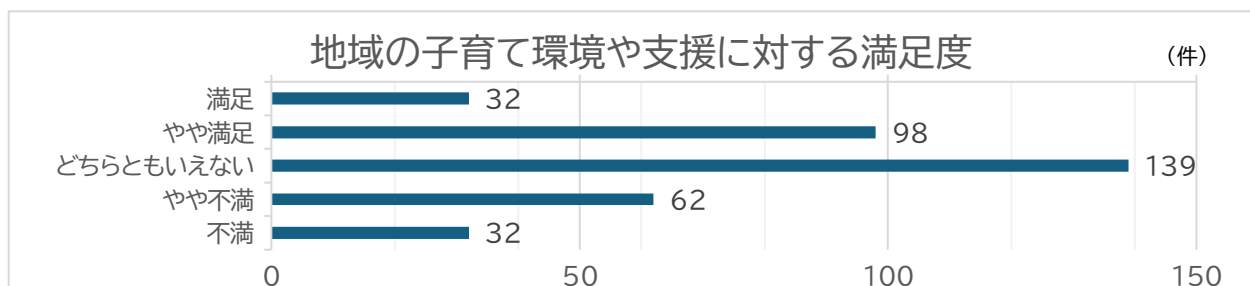
◆育児休業を取得しなかった人



◇ 育児休業給付・保険料免除について(父母共通)

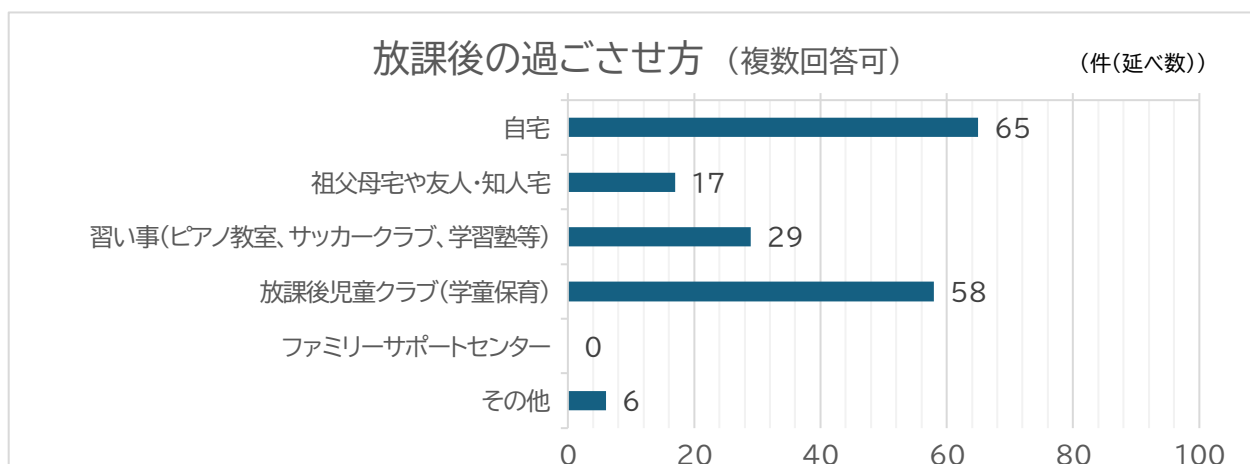


◇ 地域の子育て環境や支援に対する満足度について



● 学年別の放課後の過ごさせ方(希望を含む)

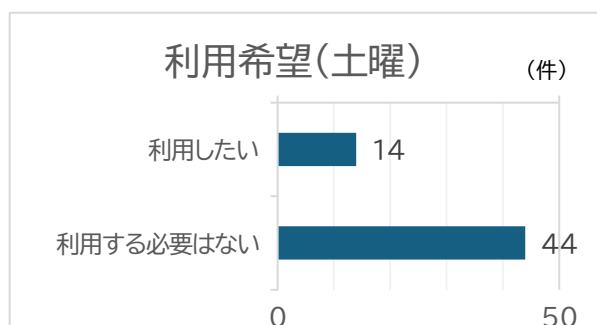
◇ 小学 1～3 年生



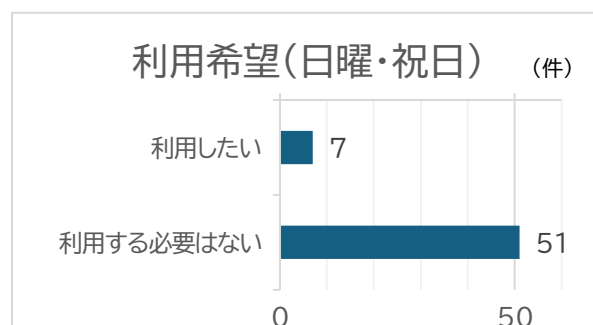
「自宅」や「放課後児童クラブ」など、自分または公的な機関で子を見守りたいという人が合計で全体の約 70%を占めていました。

また、「その他」としては、「考え中」、「迎えに行き一緒に仕事をする」などの回答が見られました。「放課後児童クラブ」と回答した人のうち、土曜や日曜・祝日の利用希望は、以下のとおりです。

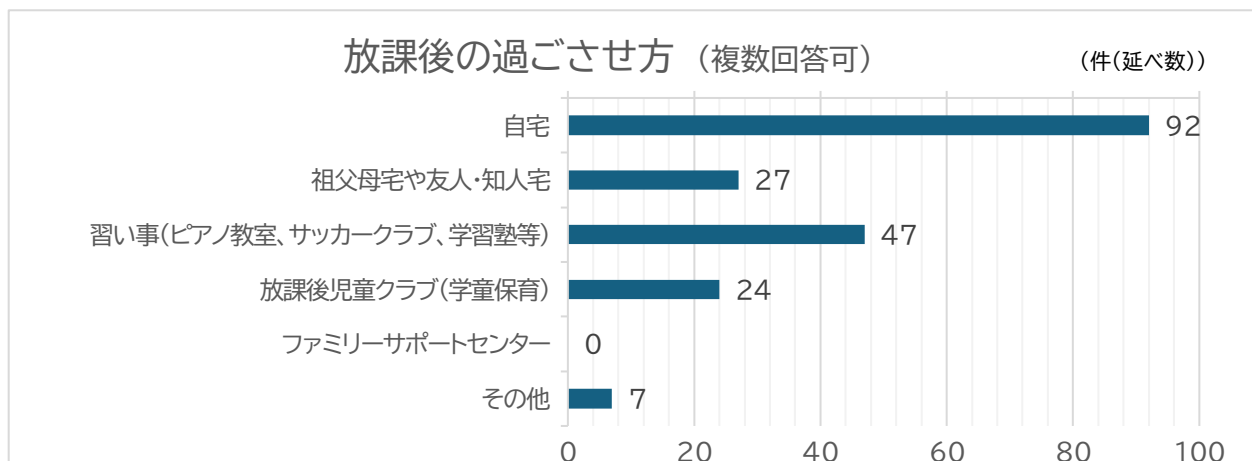
◆土曜日の放課後児童クラブ利用希望



◆日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用希望



◇ 小学 4～6 年生



小学 1～3 年生の結果と同じく、「自宅」や「放課後児童クラブ」など、自分または公的な機関で子を見守りたいという人が合計で全体の約 59%と大多数を占めていました。

小学 1～3 年生の結果と異なるのは、「習い事」の結果です。全体の約 24%という結果となっており、小学 1～3 年生の方は全体の約 17%という結果であったのに比べると、大幅に増加していることがわかります。

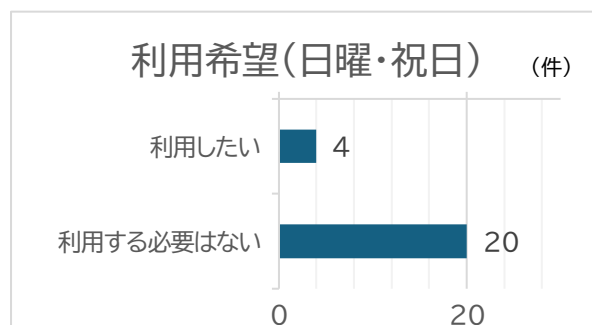
「その他」としては、「外遊び」、「公園」、「校庭」などの回答が見られました。

「放課後児童クラブ」と回答した人のうち、土曜や日曜・祝日の利用希望は、以下のとおりです。

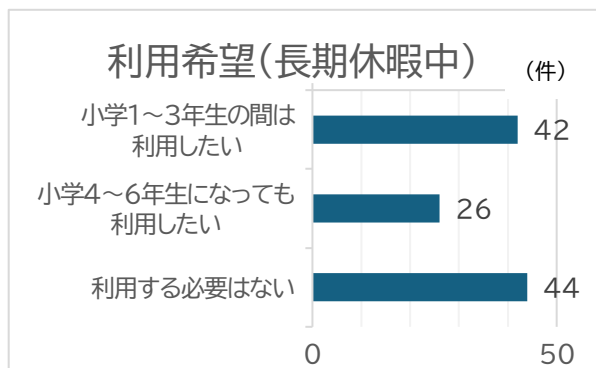
◆土曜日の放課後児童クラブ利用希望



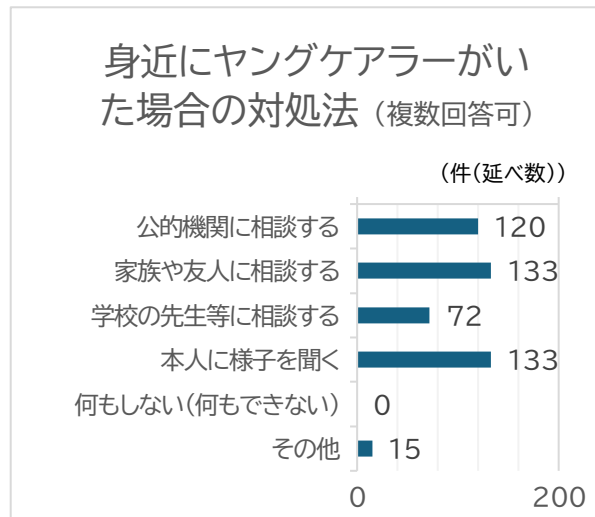
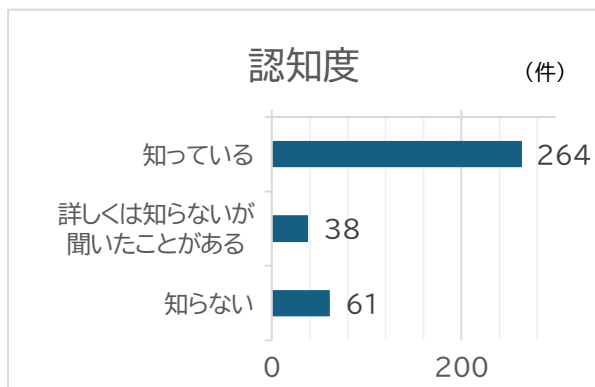
◆日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用希望



◇長期休暇中の放課後児童クラブ利用希望

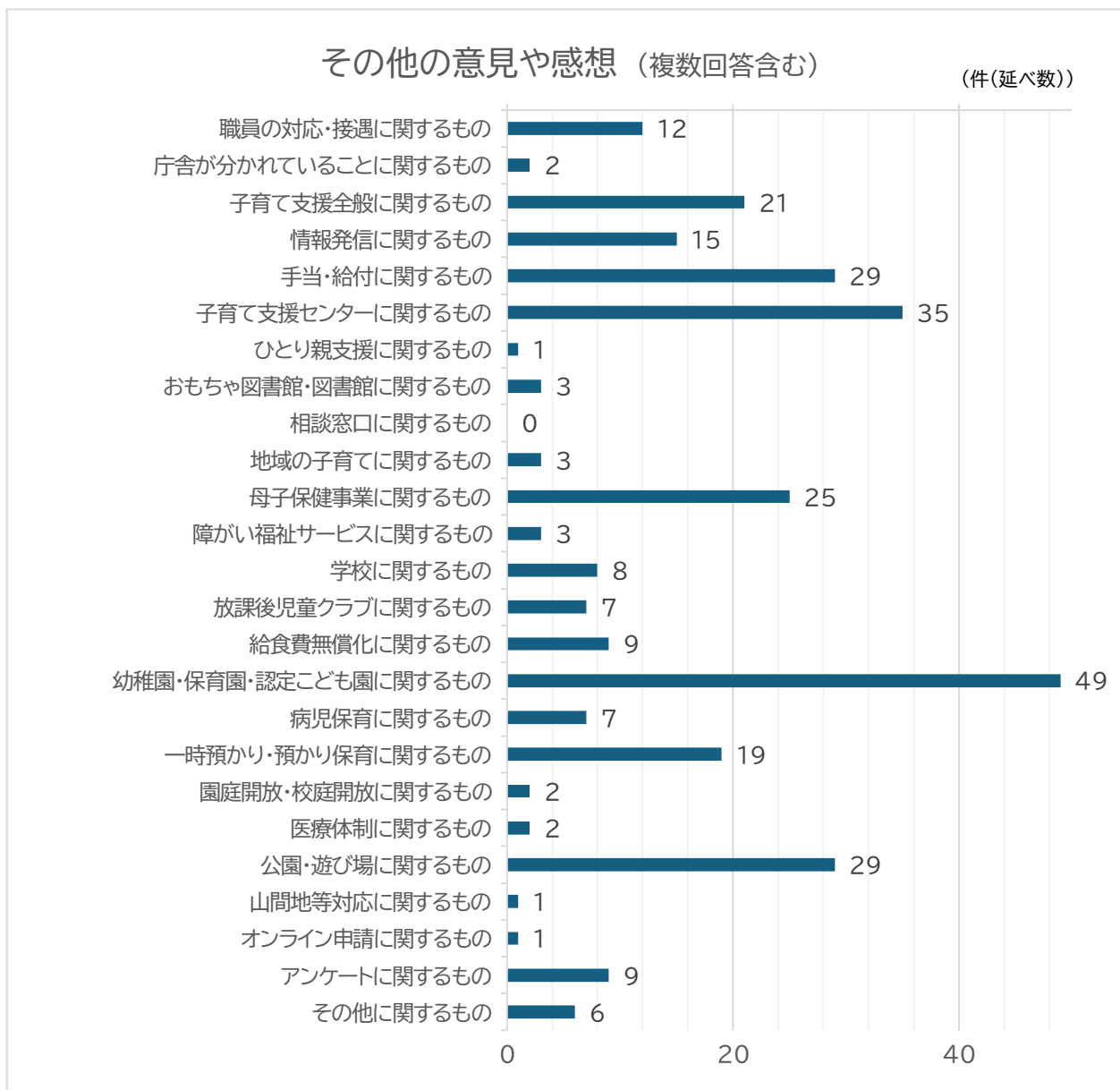


● ヤングケアラーについて



● その他の意見や感想

内容ごとに項目分けのうえ、集計した結果は以下のとおりです。



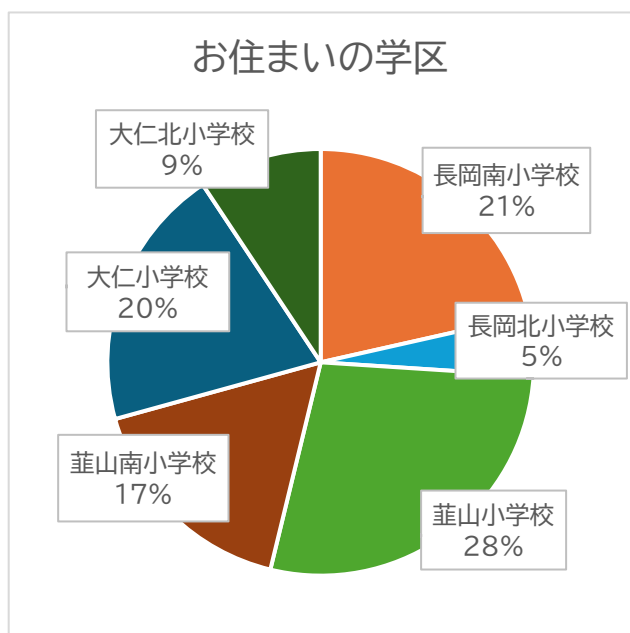
小学生児童の保護者用アンケート 集計結果

○ 回答者数

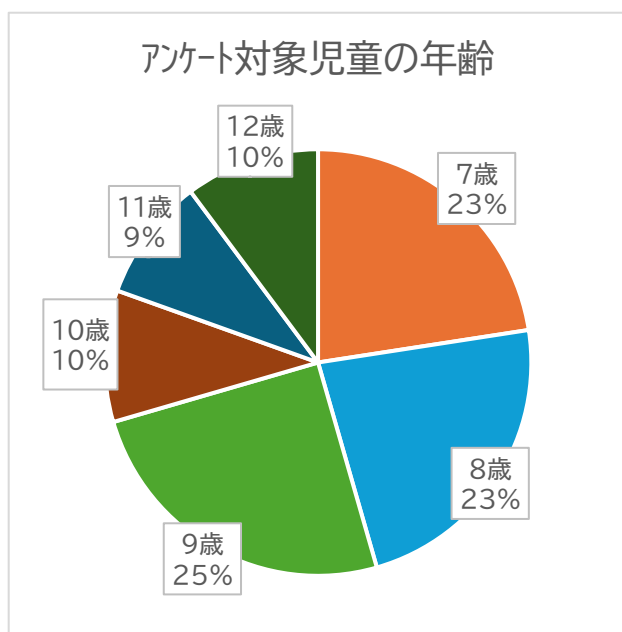
461 名（回答率 38.41%） ※うち 1 名、郵送による回答。

○ 回答内容

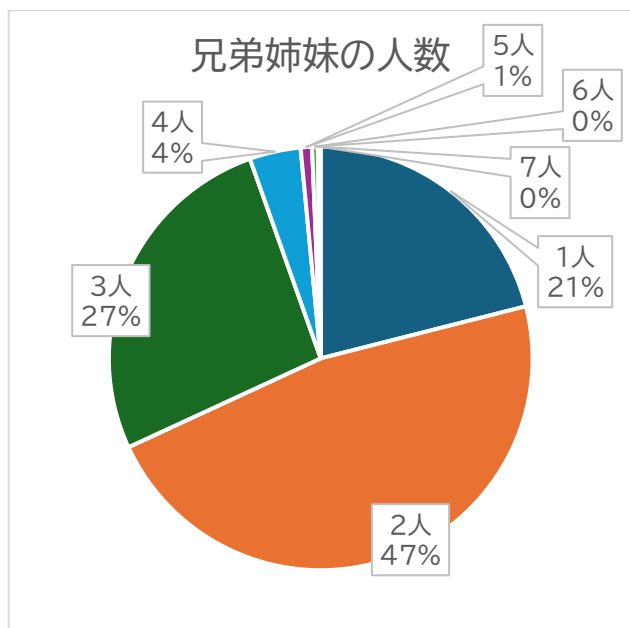
● 回答者の状況



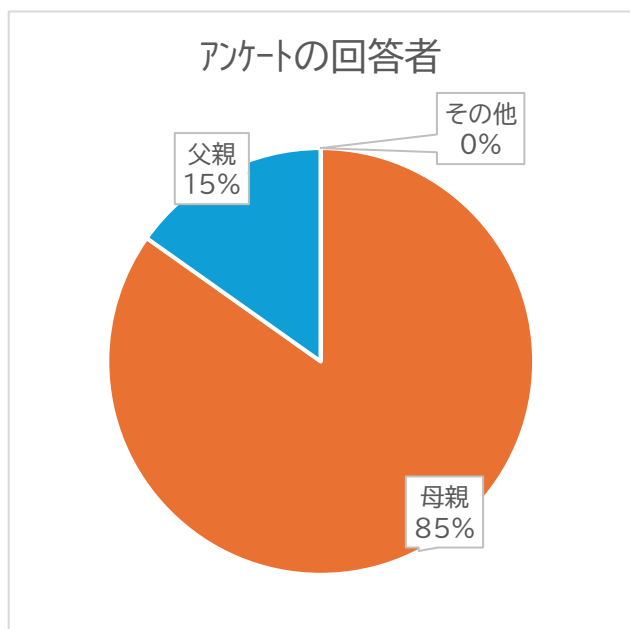
学校名	人数
長岡南小学校	99
長岡北小学校	21
葦山小学校	128
葦山南小学校	78
大仁小学校	92
大仁北小学校	43



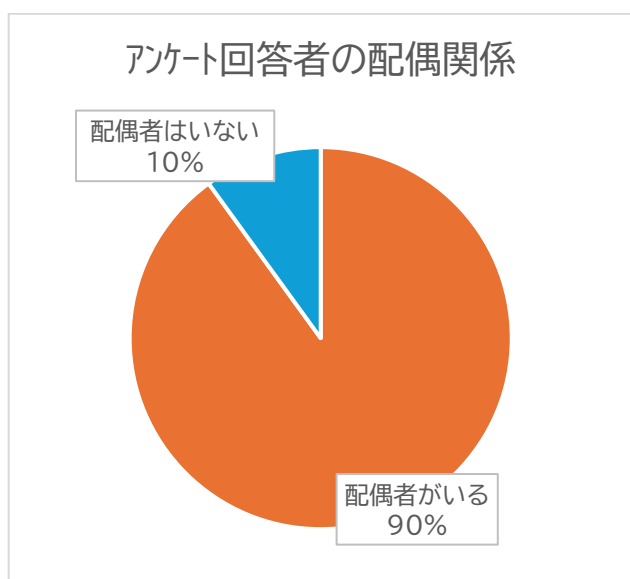
年齢	人数
7 歳	104
8 歳	106
9 歳	115
10 歳	46
11 歳	43
12 歳	47



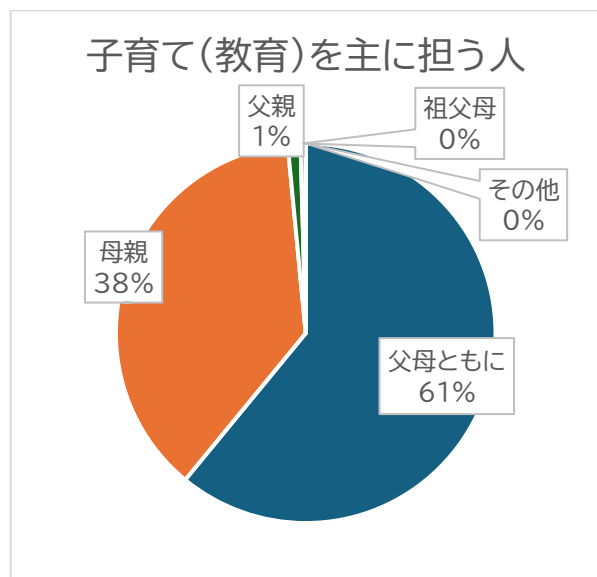
年齢	人数
1人	97
2人	217
3人	122
4人	18
5人	4
6人	2
7人	1



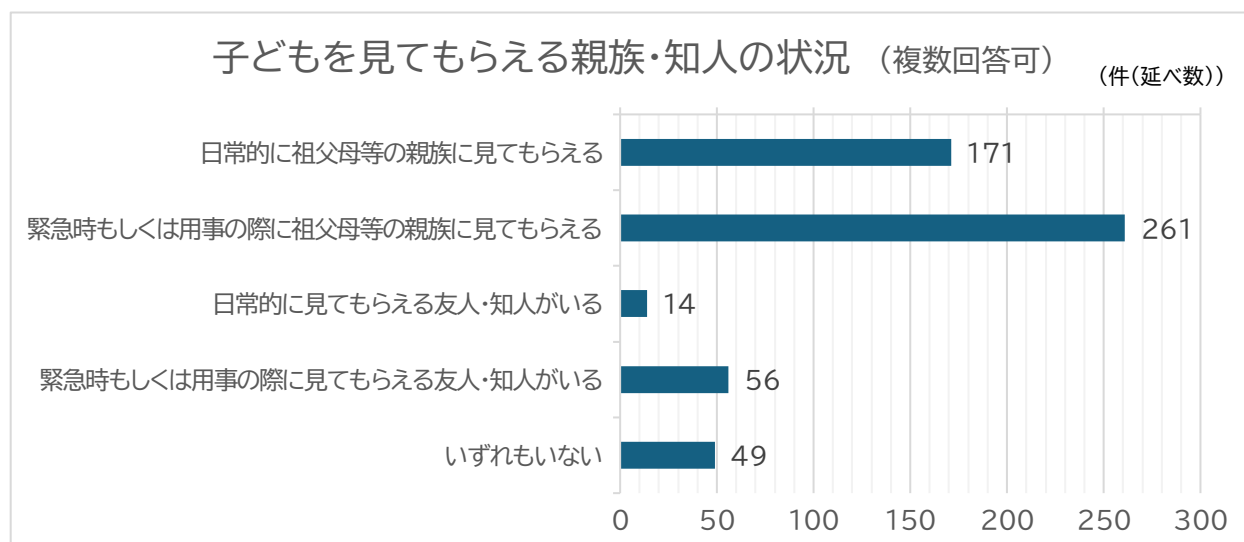
回答者	人数
母親	391
父親	70
その他	0



配偶者の有無	人数
配偶者がいる	415
配偶者はいない	46



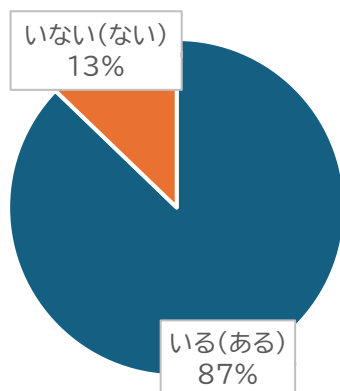
子育ての担い手	人数
父母ともに	281
母親	173
父親	5
祖父母	2
その他	0



最も多かったのは、「緊急時もしくは用事の際に祖父母等の親族に見てもらえる」家庭で、全体の約47%を占めています。次いで多かったのは、「日常的に祖父母等の親族に見てもらえる」家庭で、全体の約31%を占めています。合計すると、全体の約78%の人が何かしらの形で「親族に子どもを見てもらえる」状況にあることがわかります。

一方、「いずれもない」家庭も全体の約9%を占める結果となっています。

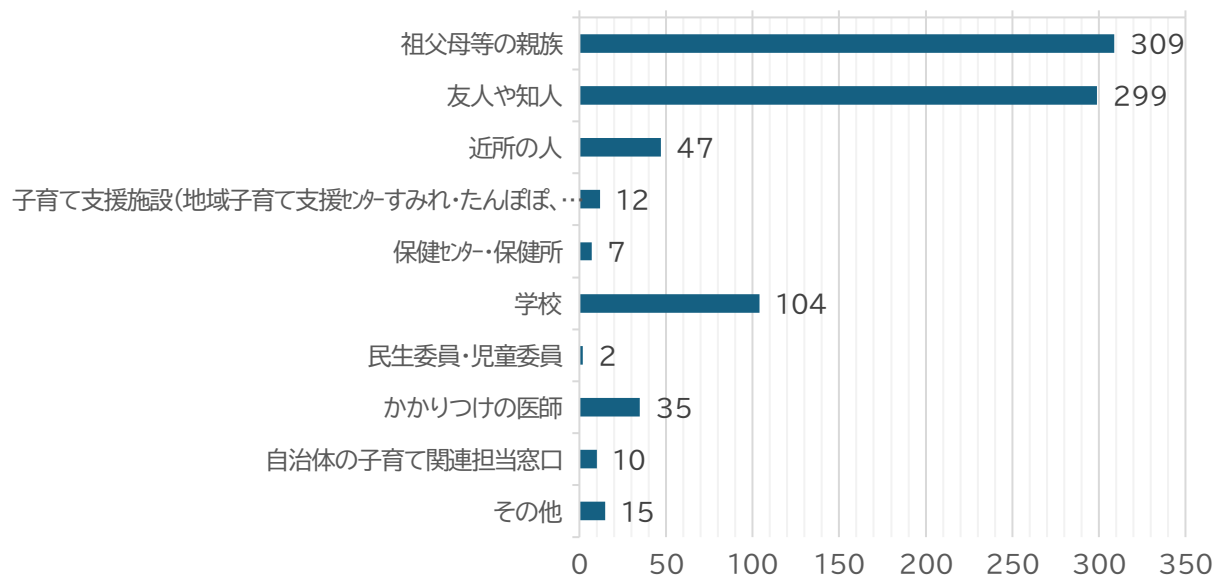
子育て(教育)について 相談できる人(場所)の有無



相談相手の有無	人数
いる(ある)	402
いない(ない)	59

子育て(教育)の相談先 (複数回答可)

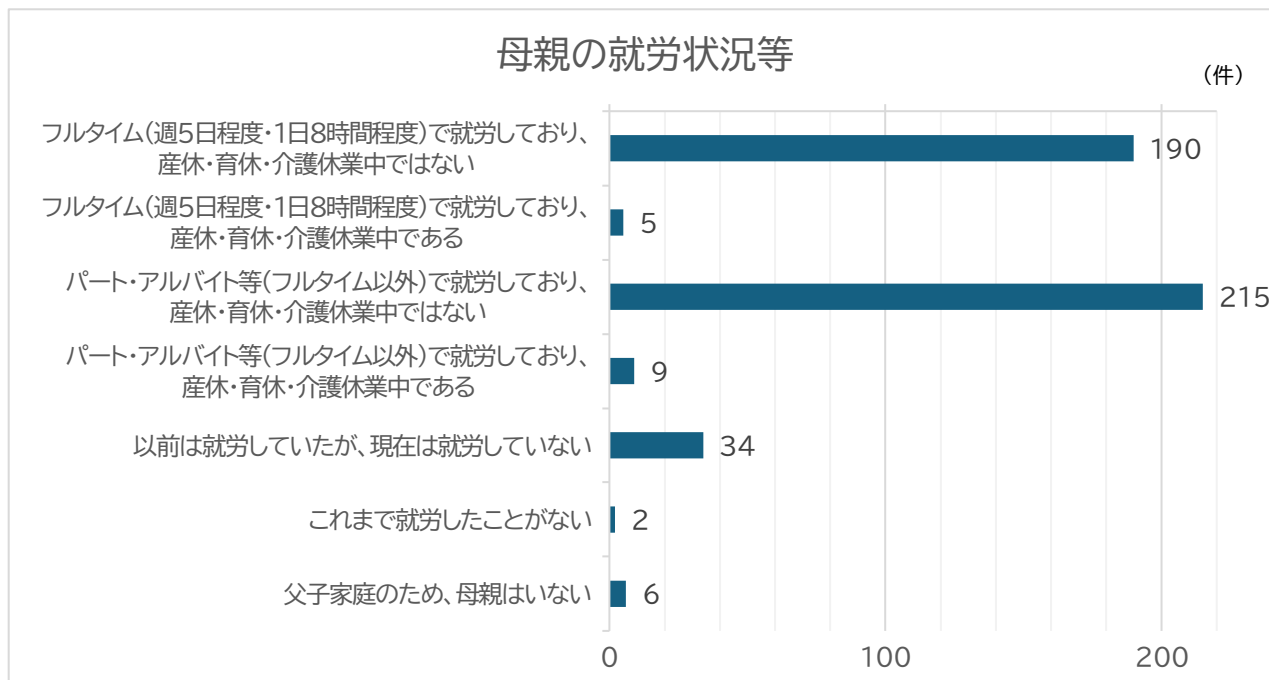
(件(延べ数))



相談先としては、「祖父母等の親族」が最も多く、約 37%、次いで、「友人や知人」が約 36%との結果となりました。未就学児の保護者と同様に、より身近な存在に相談するケースが多いようです。

また、「その他」としては、「職場の同僚等」、「放課後デイサービス」などの回答が見られました。

● 就労状況等



フルタイム就労をしている人が全体の約42%、パート・アルバイト等就労をしている人が全体の約49%をそれぞれ占めており、就労している人は全体の約91%に及ぶ結果となっています。

就労している人の週当たりの就労日数・就労時間数は以下のとおりです。

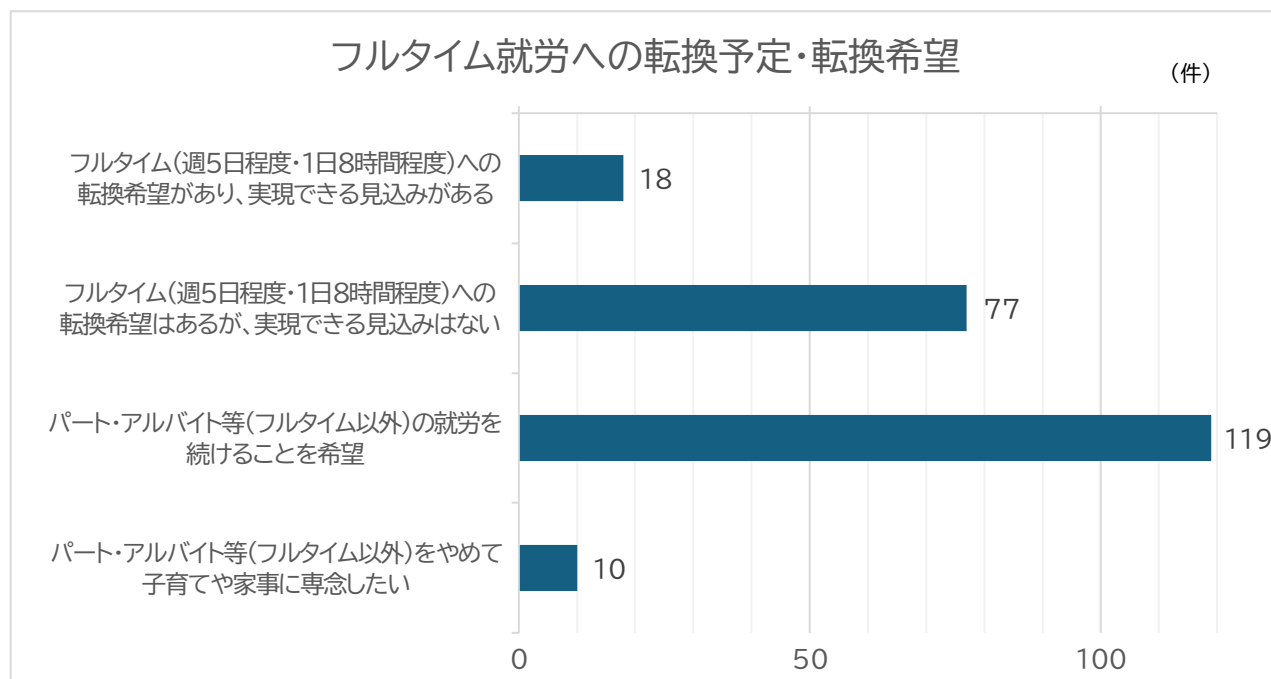
◆ 週当たりの就労日数

日数	人数
1	4
2	4
3	27
4	64
5	259
6	53
7	8

◆ 1日当たりの就労時間数

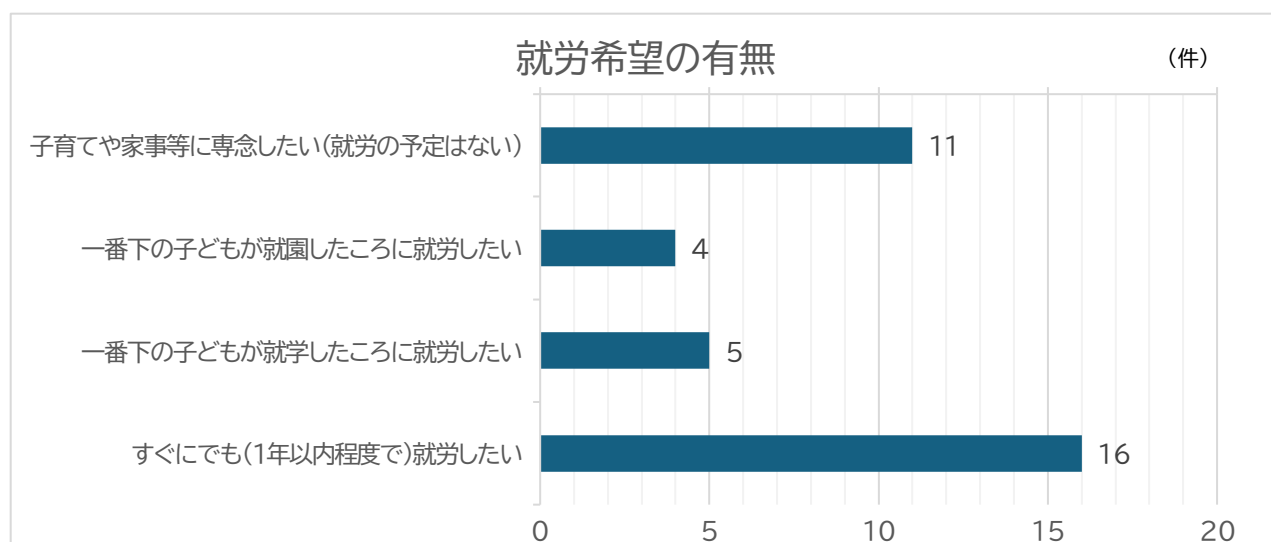
時間数	人数
1	0
2	3
3	14
4	52
5	67
6	57
7	55
8	131
9以上	40

◇ パートタイム・アルバイト等の就労をしている人



パート・アルバイト等に就労している人のうち、最も多かったのは「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」している人で、全体の約 53%を占めています。また、「フルタイムへの転換希望がある」人は全体の約 42%となっていますが、このうち約 81%が「フルタイムへの転換を実現できる見込みはない」としており、転換に際して、何かしらの問題を抱えていることがうかがえます。

◇ 現在就労していない人

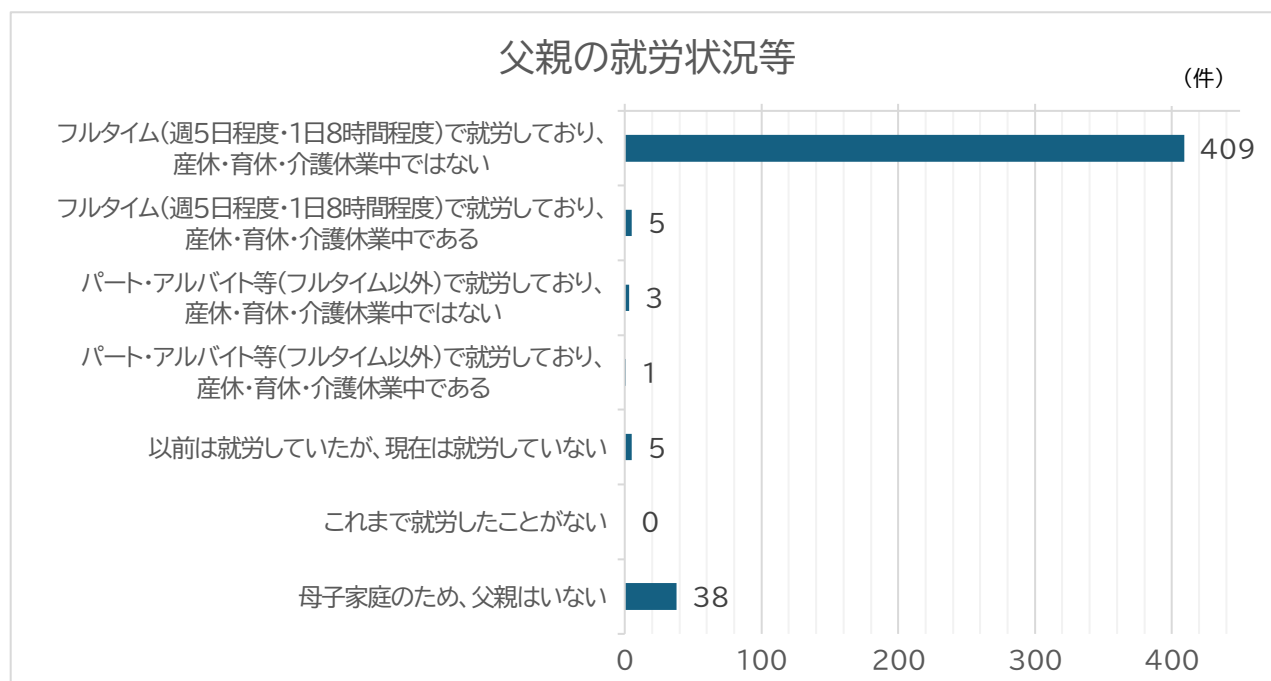


現在就労していない人のうち、全体の約 69%が「就労したい」と希望しています。就労したい時期としては「すぐにでも(1年以内程度)」が最も多く、「就労したい」人のうち、64%を占める結果となっています。

また、「就労したい」人が希望する就労形態は、右記のとおりです。

◆ 希望する就労形態

就労形態	人数
フルタイム	2
パート・アルバイト等	23



フルタイム就労をしている人が全体の約90%を占めており、ほとんどの家庭で父親がフルタイム就労をしていることがわかります。母親と比べて、パート・アルバイト等就労をしている人はほとんどいないという結果となっています。

就労している人の週当たりの就労日数・就労時間数は以下のとおりです。

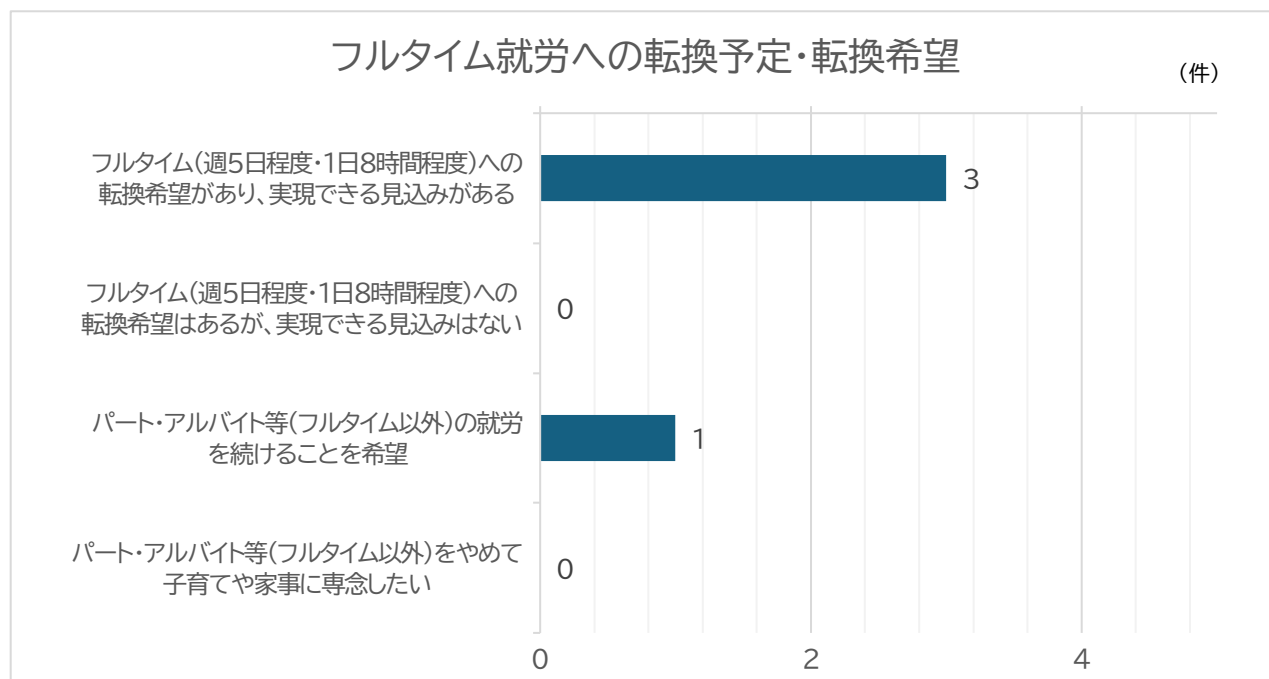
◆ 週当たりの就労日数

日数	人数
1	0
2	0
3	2
4	3
5	268
6	130
7	15

◆ 1日当たりの就労時間数

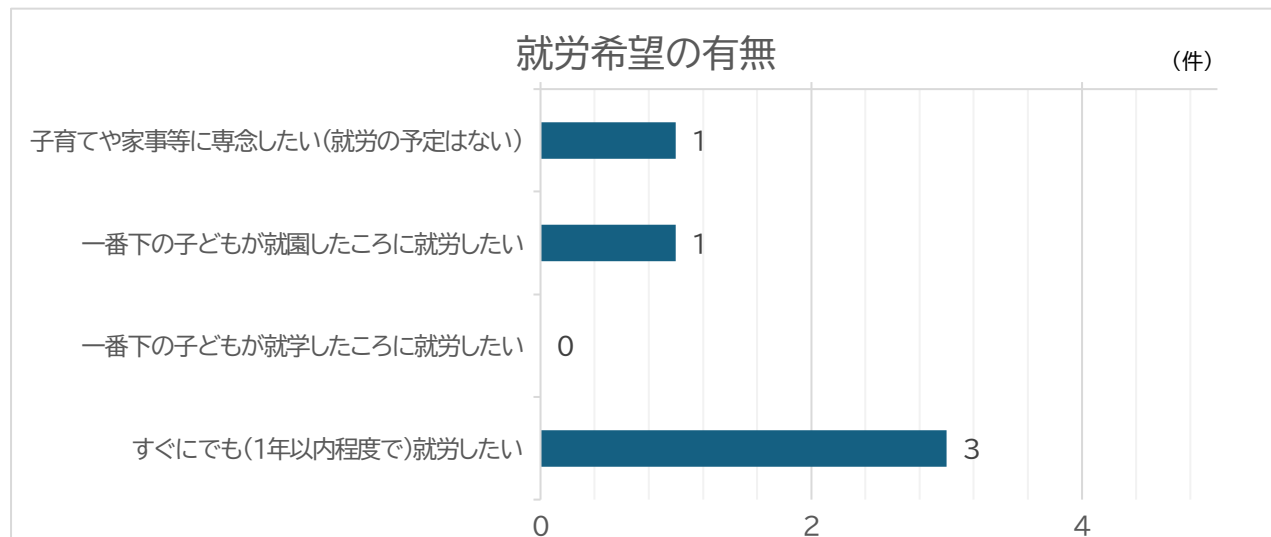
時間数	人数
1	0
2	0
3	0
4	1
5	8
6	7
7	8
8	161
9以上	233

◇ パートタイム・アルバイト等の就労をしている人



パート・アルバイト等に就労している人のうち、75%の人が「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と回答しており、全体的に就労に対する意欲が高いことがうかがえます。

◇ 現在就労していない人

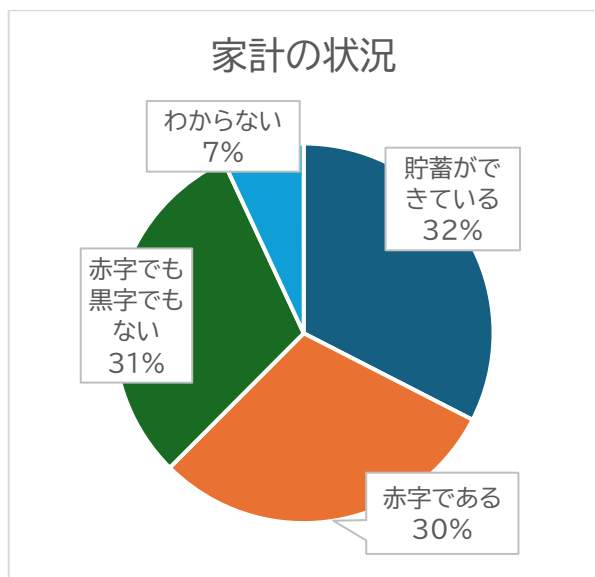


現在就労していない人のうち、80%が「就労したい」としています。このうち、75%の人が「すぐにでも(1年以内程度で)就労したい」と回答しています。

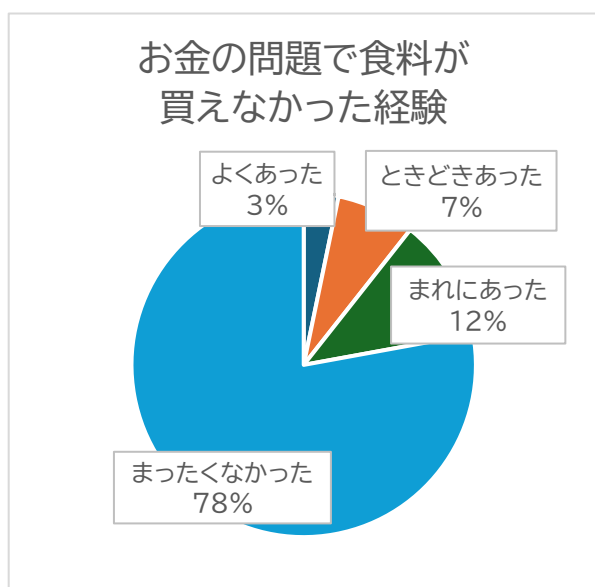
◆ 希望する就労形態

就労形態	人数
フルタイム	3
パート・アルバイト等	1

● 過去 1 年間における家計の状況



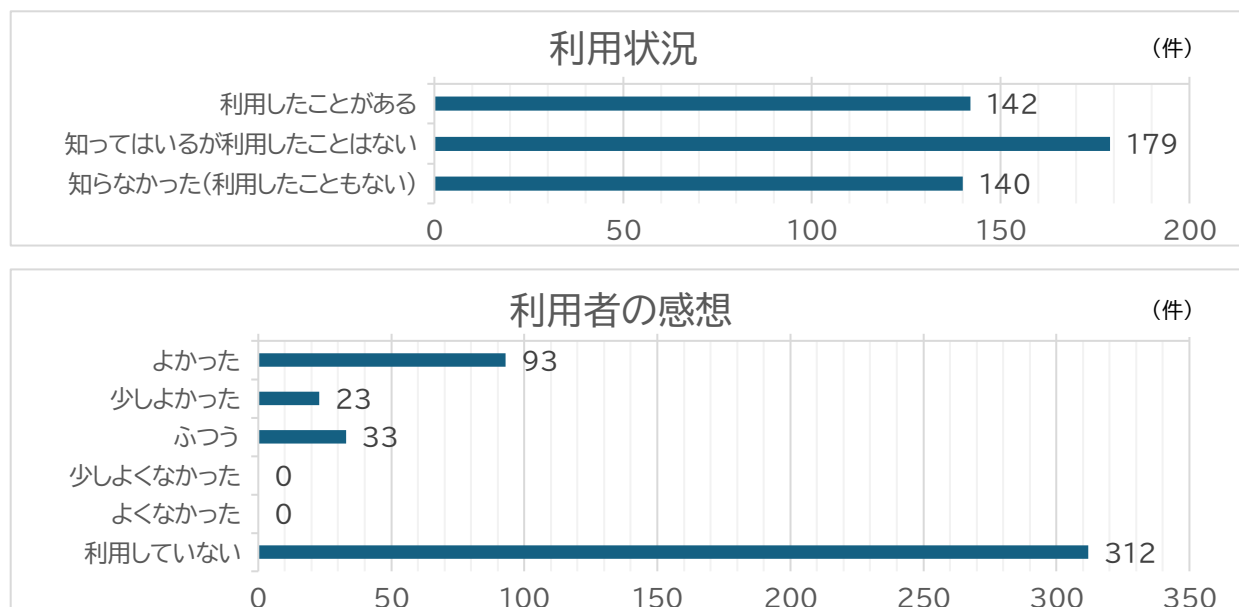
家計の状況	人数
貯蓄ができている	150
赤字である	138
赤字でも黒字でもない	141
わからない	32



食料が買えなかった経験	人数
よくあった	15
ときどきあった	34
まれにあった	53
まったくなかった	359

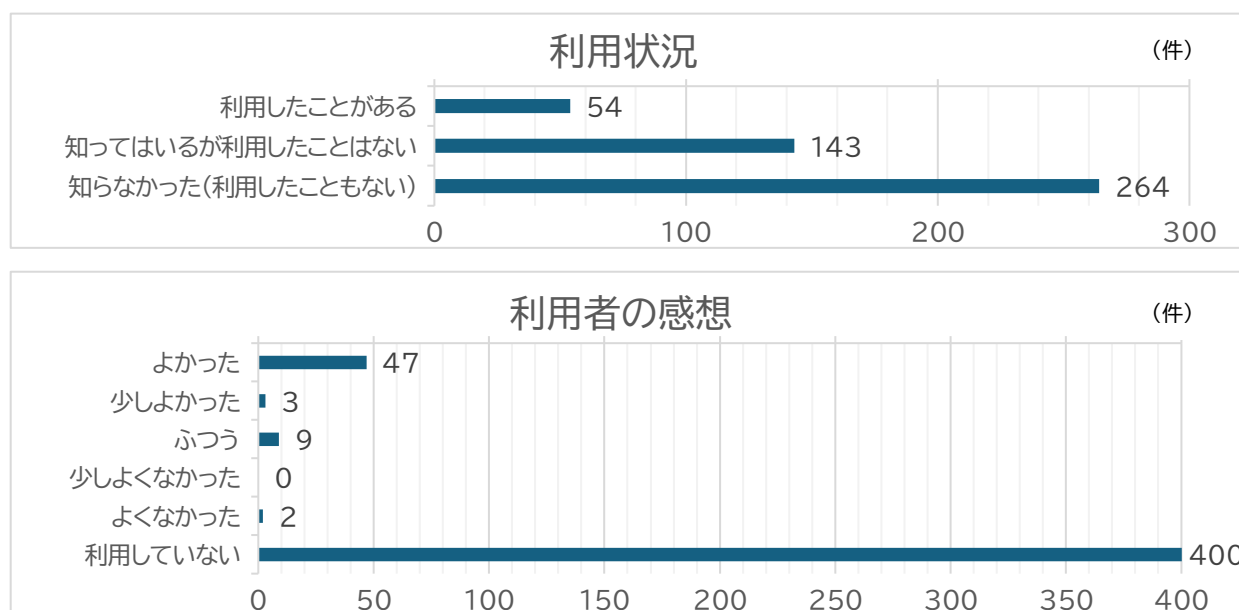
● 事業ごとの利用状況

◇ パパママ学級



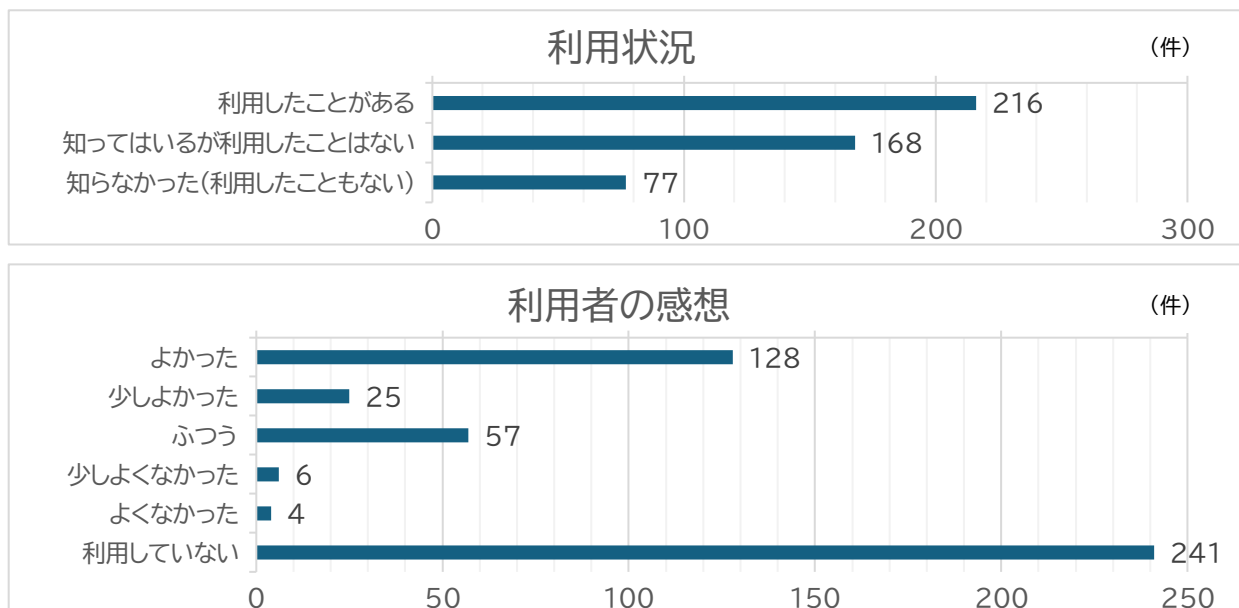
「利用していない人」が全体の約 68%を占めていますが、「利用している」人約 32%のうち、約 78%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ やんちゃっ子クラブ



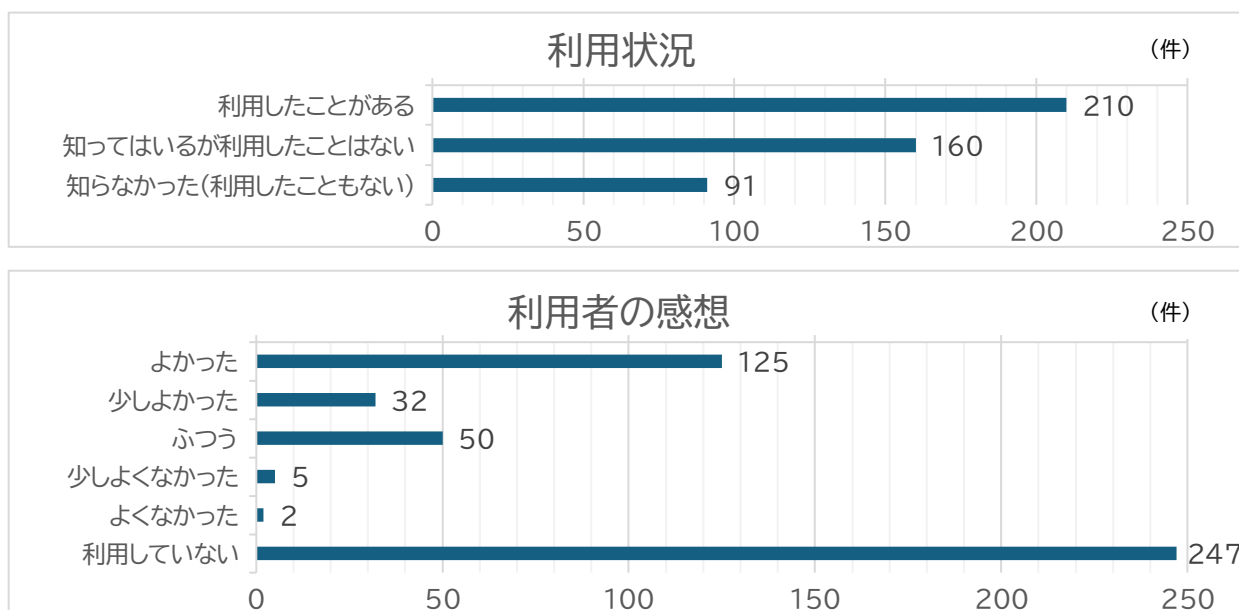
「利用していない人」が全体の約 87%を占めていますが、「利用している」人約 13%のうち、約 82%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ 地域子育て支援センターたんぽぽ



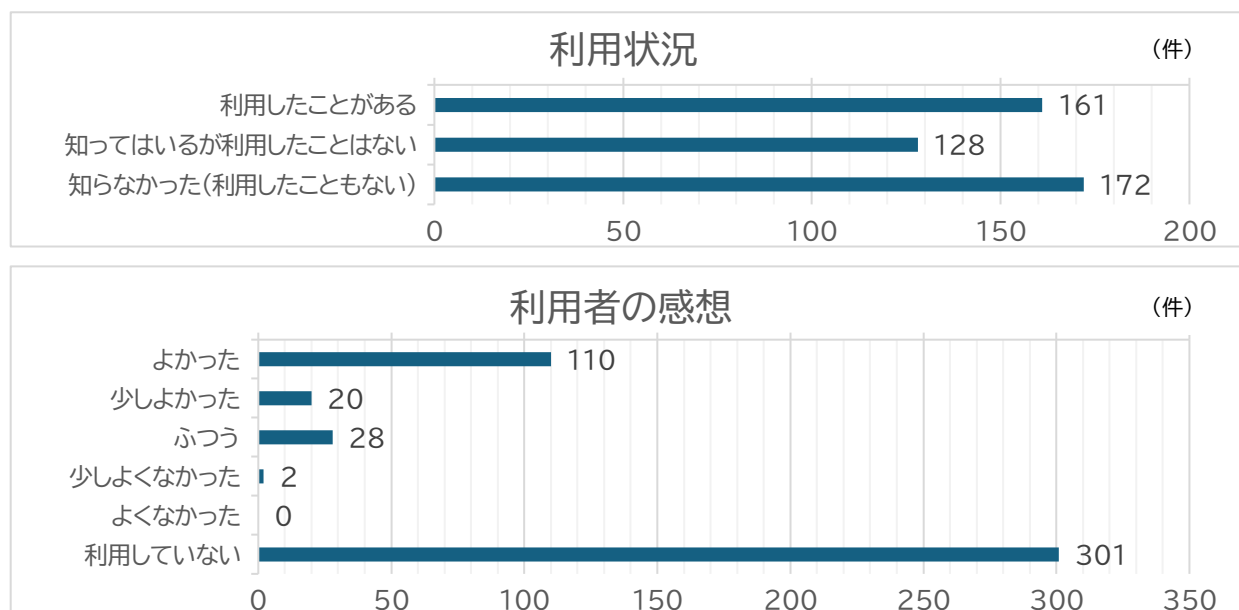
「利用していない人」が全体の約 52%を占めていますが、「利用している」人約 48%のうち、約 70%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ 地域子育て支援センターすみれ



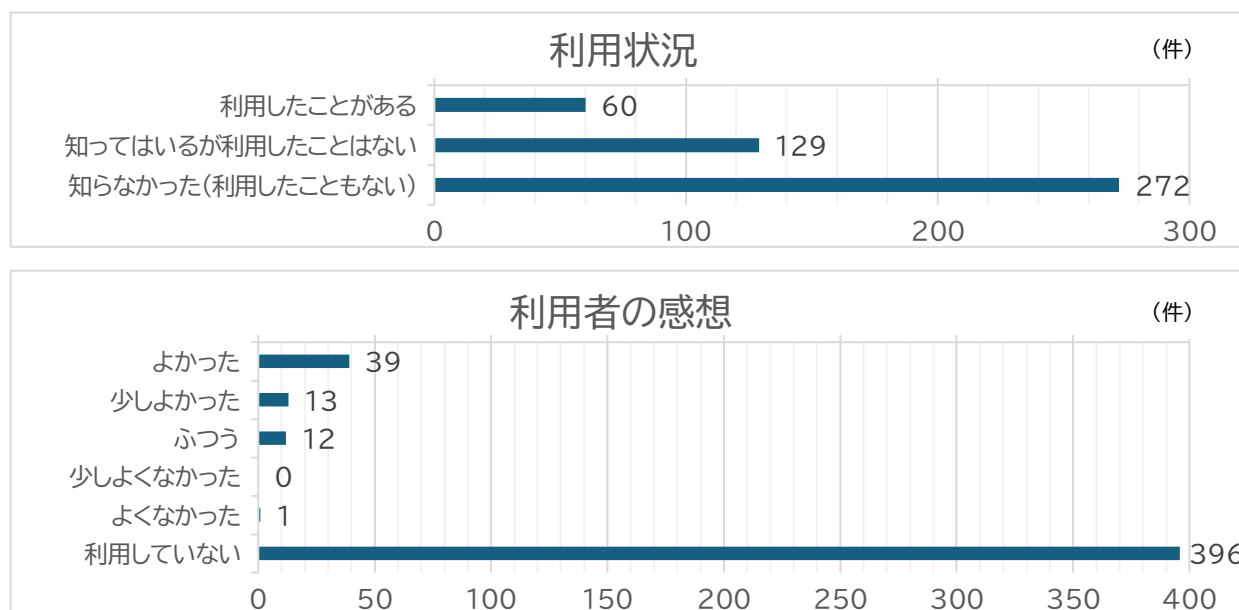
「利用していない人」が全体の約 54%を占めていますが、「利用している」人約 46%のうち、約 73%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ こども広場



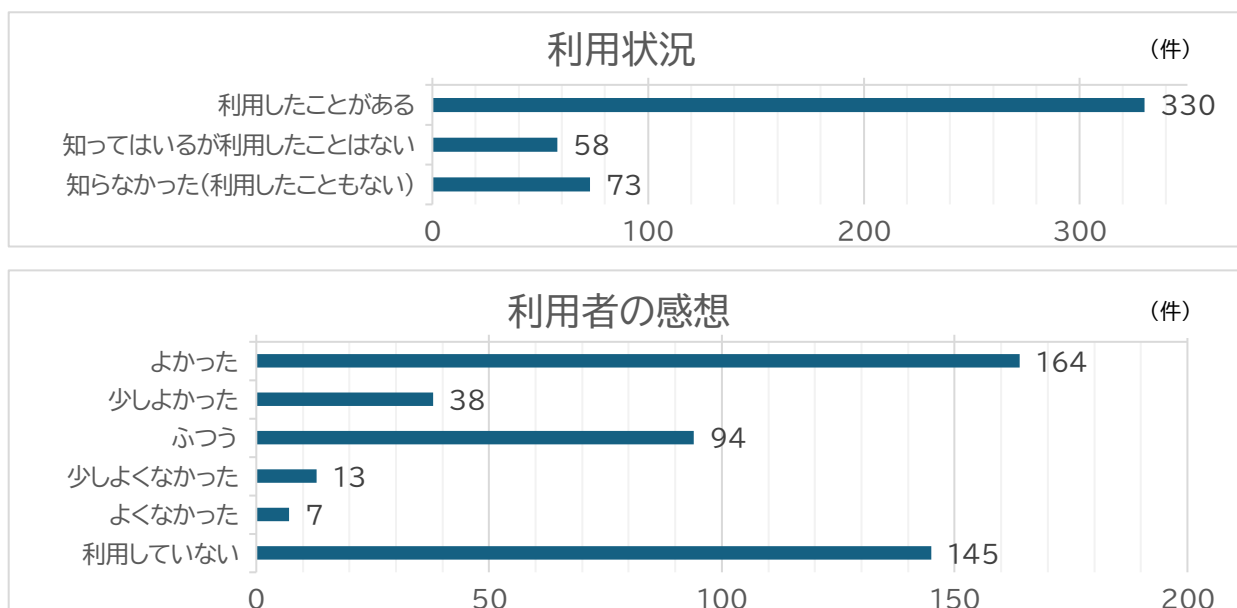
「利用していない人」が全体の約 65%を占めていますが、「利用している」人約 35%のうち、約 81%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ のびのび相談会



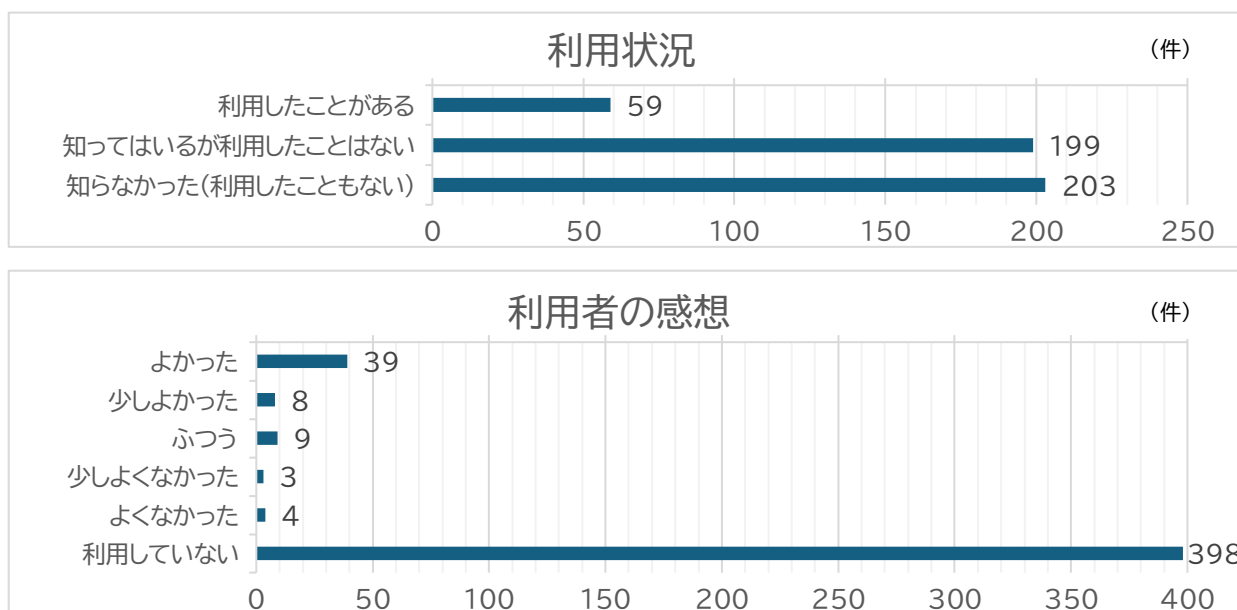
「利用していない人」が全体の約 86%を占めていますが、「利用している」人約 14%のうち、80%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ 乳幼児相談・訪問・健診



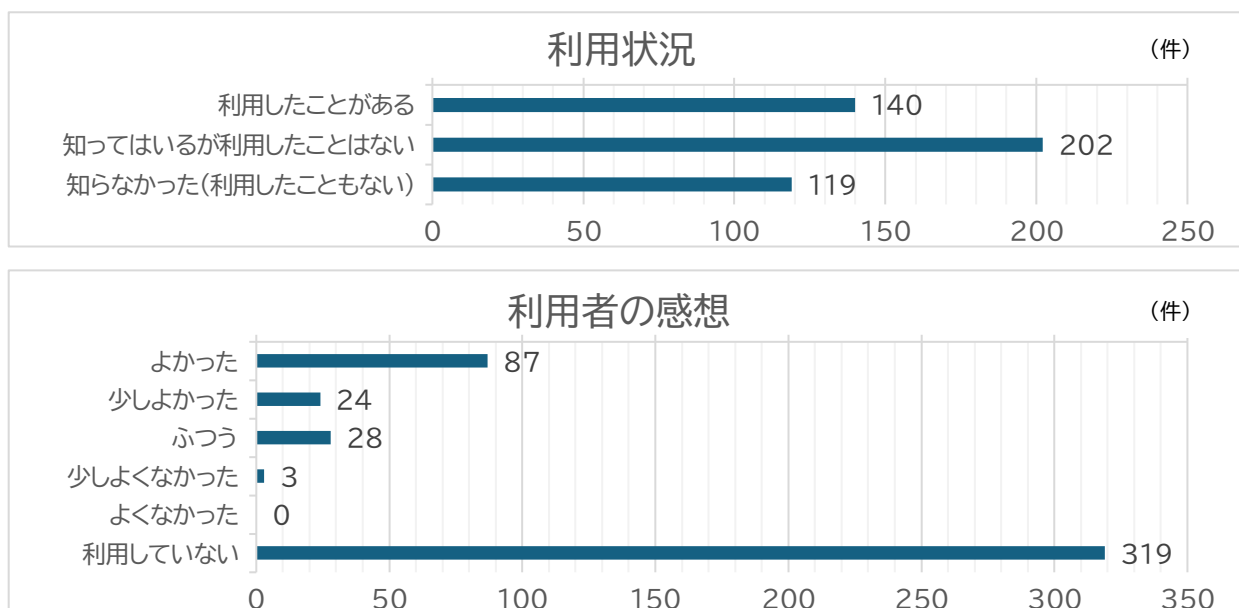
「利用していない人」が全体の約 31%を占めていますが、「利用している」人約 69%のうち、約 64%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ 児童発達支援センターきららか・なのはな相談室



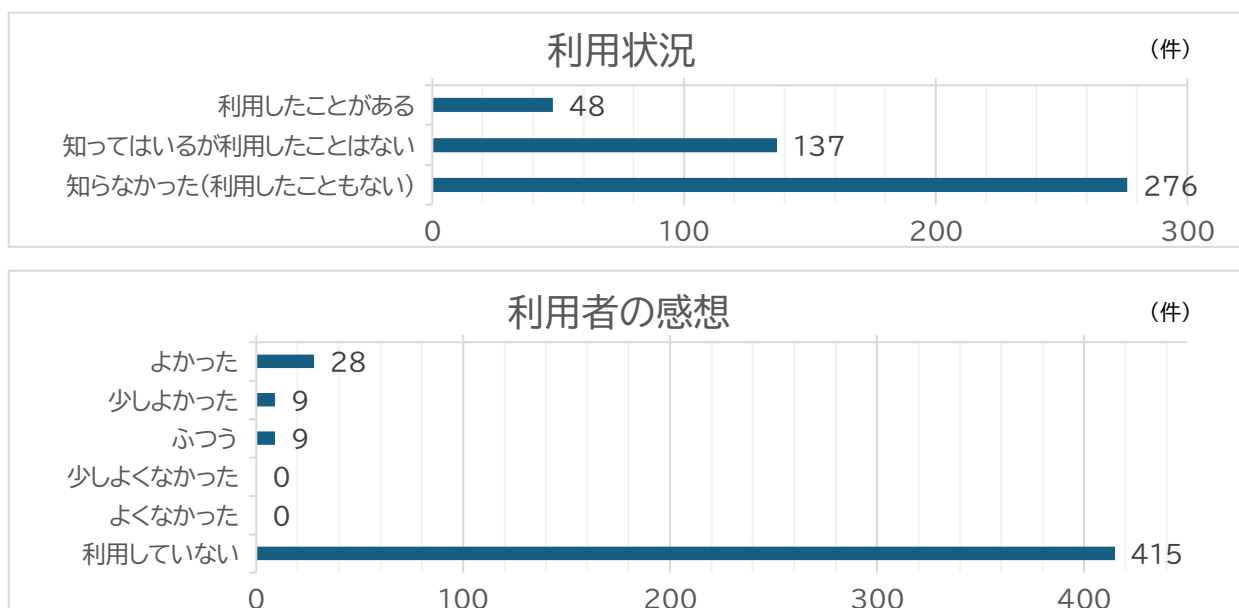
「利用していない人」が全体の約 86%を占めていますが、「利用している」人約 14%のうち、約 75%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ おもちゃ図書館



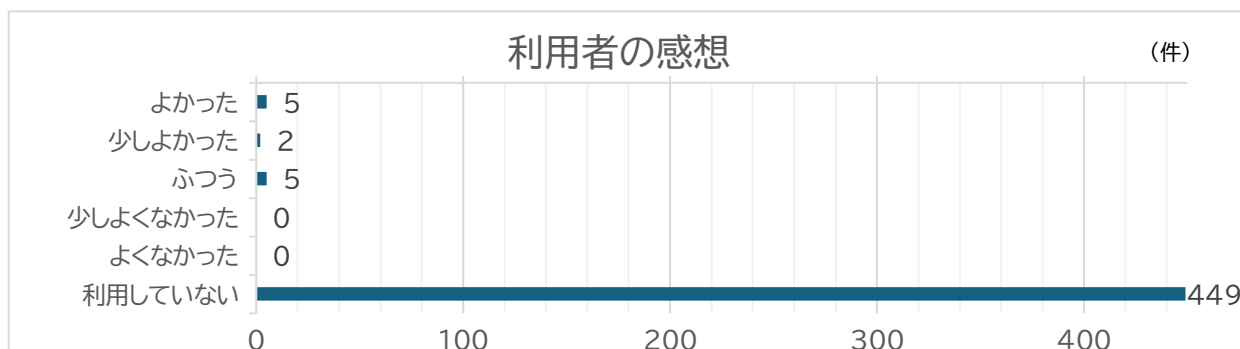
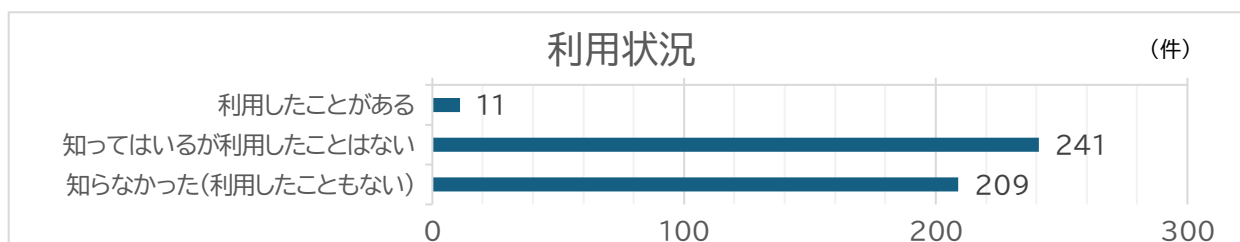
「利用していない人」が全体の約 69%を占めていますが、「利用している」人約 31%のうち、約 78%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ 家庭教育に関する学級・講座



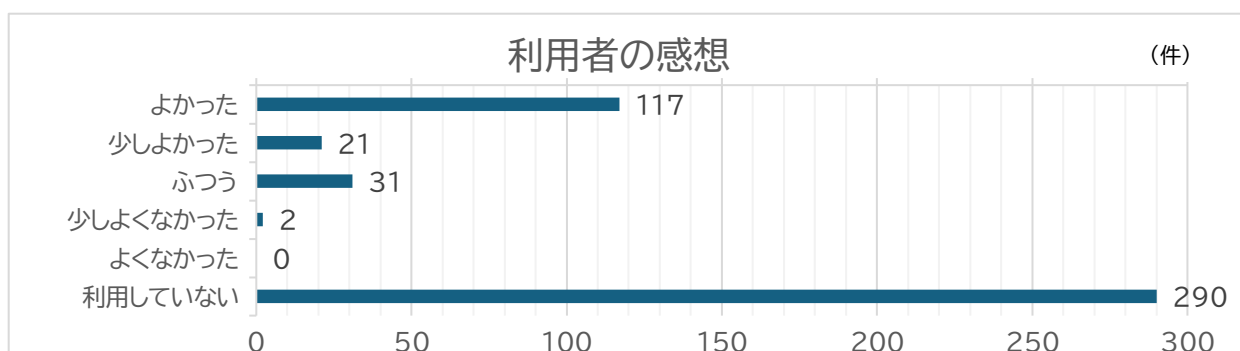
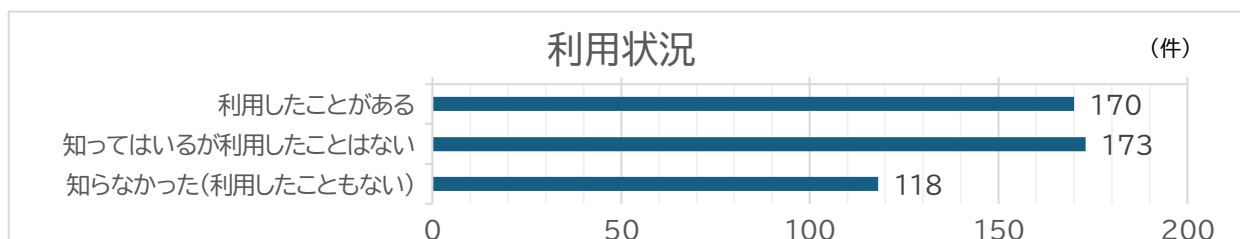
「利用していない人」が全体の約 90%を占めていますが、「利用している」人約 10%のうち、約 80%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

◇ 教育相談センター・教育相談室



「利用していない人」が全体の約 97%を占めていますが、「利用している」人約 3%のうち、約 58%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

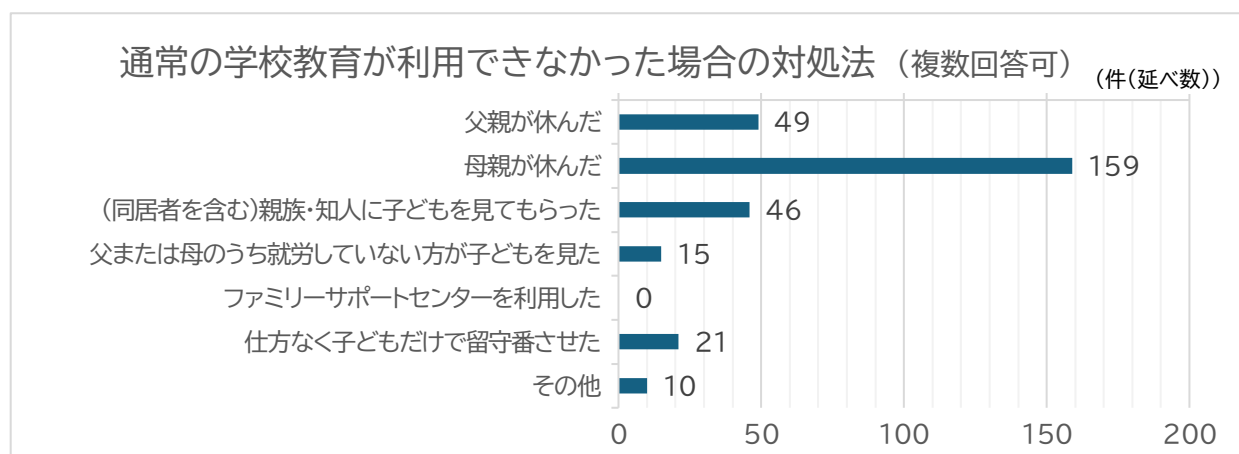
◇ 保育所や幼稚園の園庭開放



「利用していない人」が全体の約 63%を占めていますが、「利用している」人約 37%のうち、約 81%の人が「よかった」「少しよかった」と評価しています。

● 直近 1 年間における子どもが傷病の際の対応





「父親が休んだ」のは全体の約 16%であるのに対し、「母親が休んだ」のは全体の 53%と、3 倍以上多い結果となった。

◇ 子の傷病時に父母が休んで子を見ることに対して



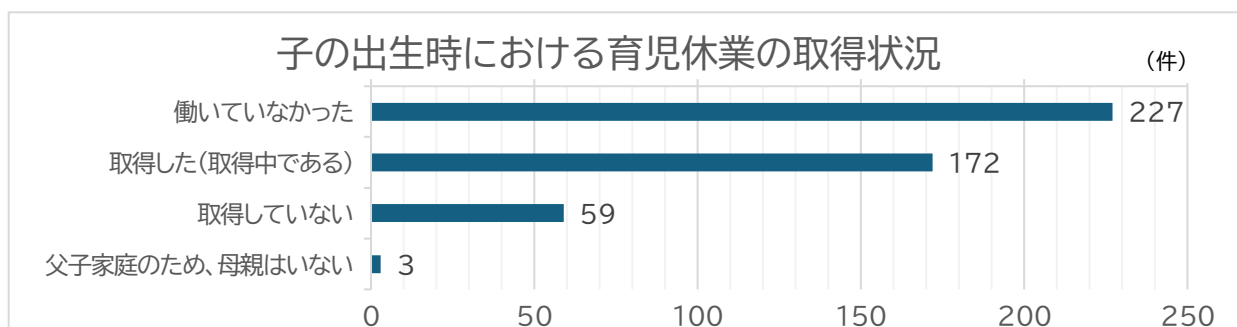
子の傷病時に「できれば仕事を休んで看たい」とする父母は、全体の約 85%という結果となりました。全体の約 15%を占める「仕事を休んで看することは非常に難しい」理由は、以下のとおりです。



「その他」の理由としては、「給料が減ってしまう」、「職場の人員不足」、「仕事の都合」、「家族の中で就労していない人がおり、そもそも休暇を取得する必要がない」などの回答がありました。

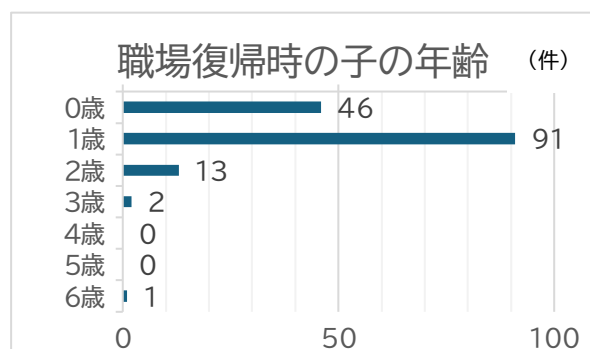
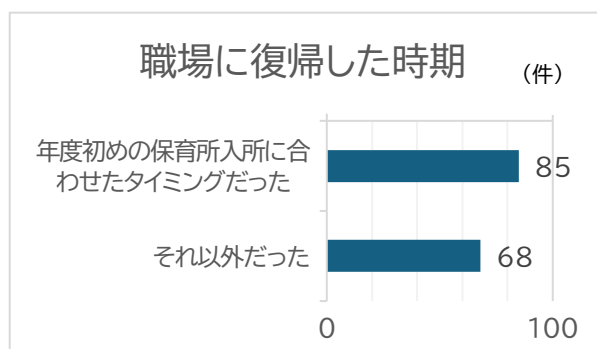
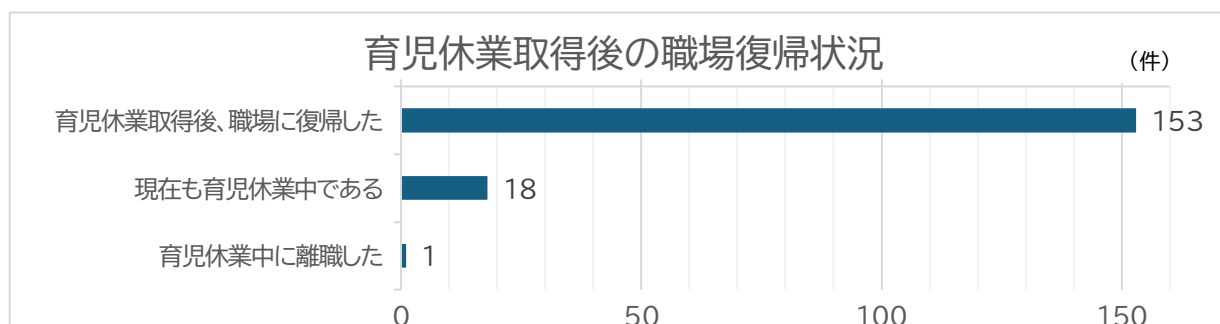
● 育児休業や短時間勤務制度等、職場の両立支援制度の状況

◇ 母親の状況

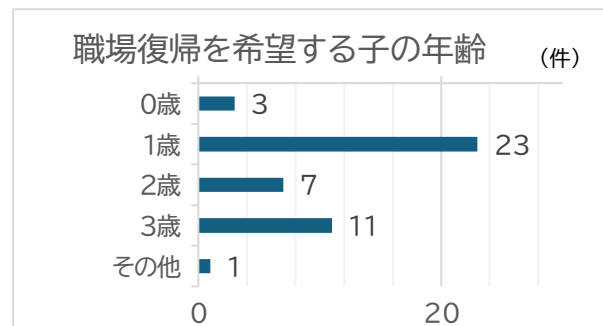
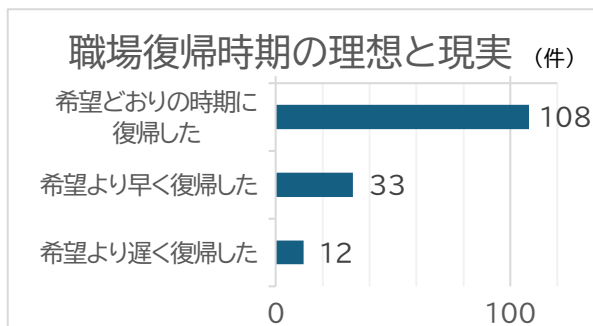


「働いていなかった」人が全体の約 49%、「取得した(取得中である)」人が全体の約 37%という結果となりました。「取得した(取得中である)」人は就労中の人の約 74%を占めています。

◆ 育児休業を取得した人

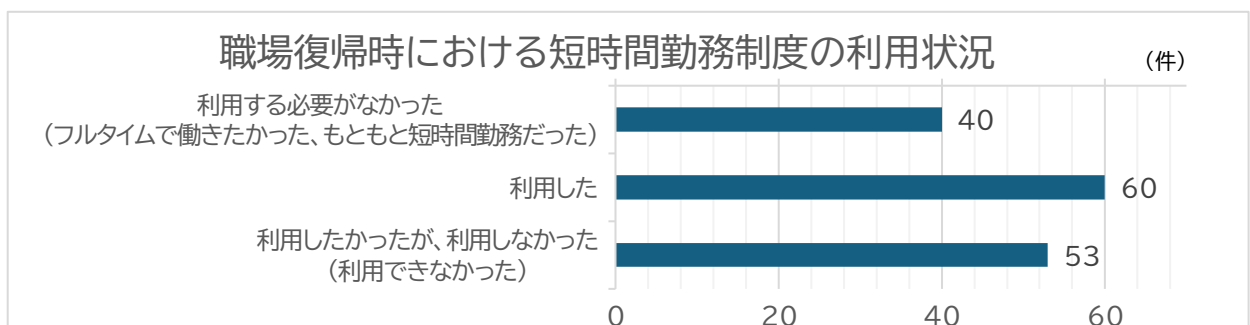
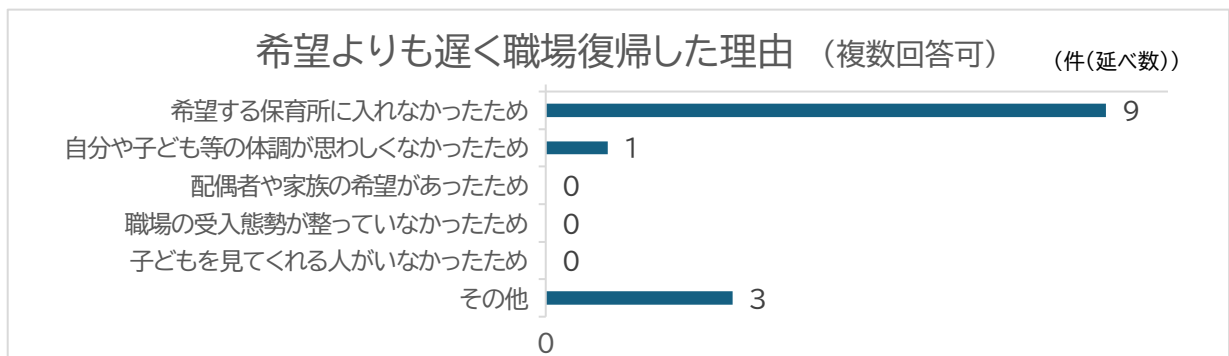
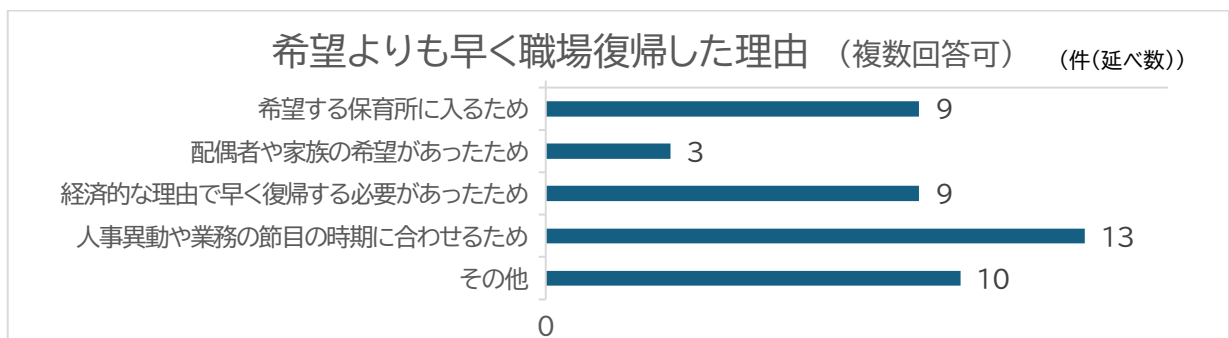


「育児休業取得後、職場に復帰した」人が全体の約 89%おり、このうち職場に復帰した時期は「保育所入所」時が最も多く、全体の約 56%、復帰時の子の年齢は「1歳」時点が最も多く、全体の約 59%を占める結果となりました。

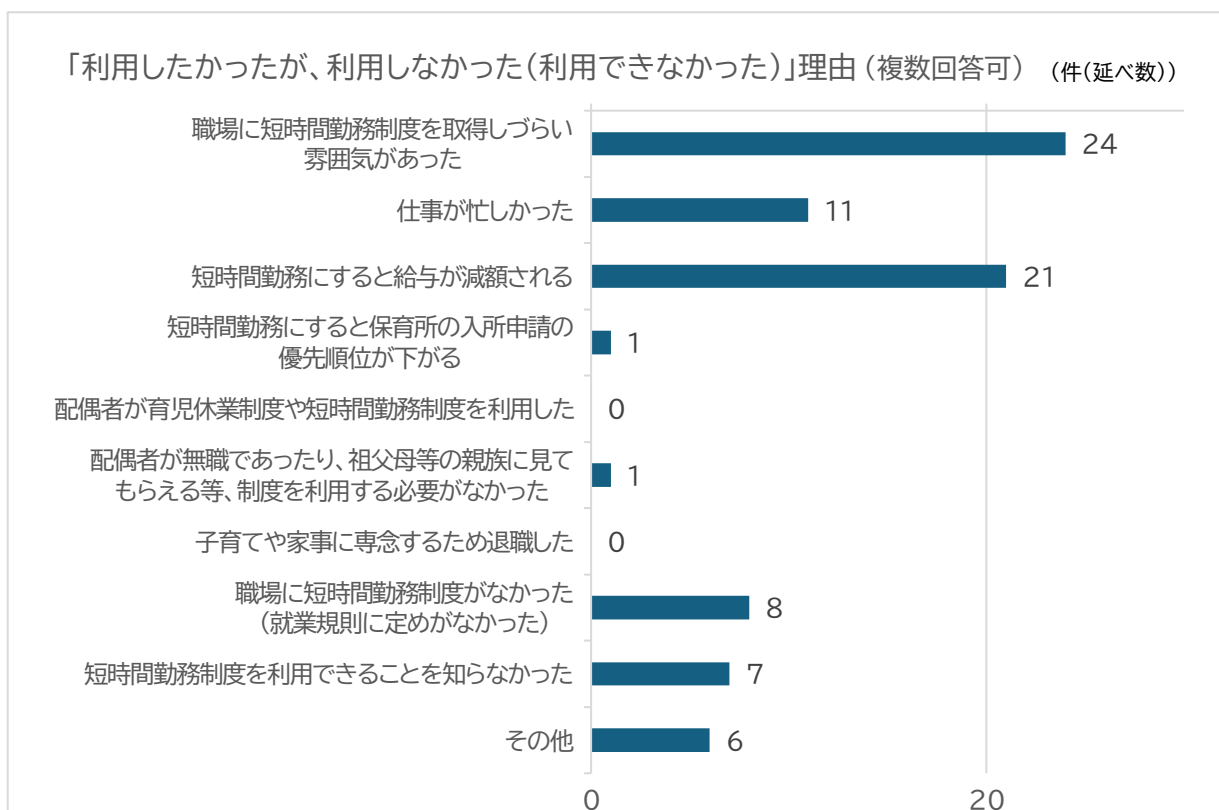


「希望どおりの時期に復帰できなかった」人が全体の約 29%おり、このうち、約 51%の人が「子が 1 歳になるまでは育児休業を取得したい(取得したかった)」と希望していました。

また、「希望どおりの時期に復帰できなかった」人の「希望よりも早く復帰した」理由、「希望よりも遅く復帰した」理由は以下のとおりです。



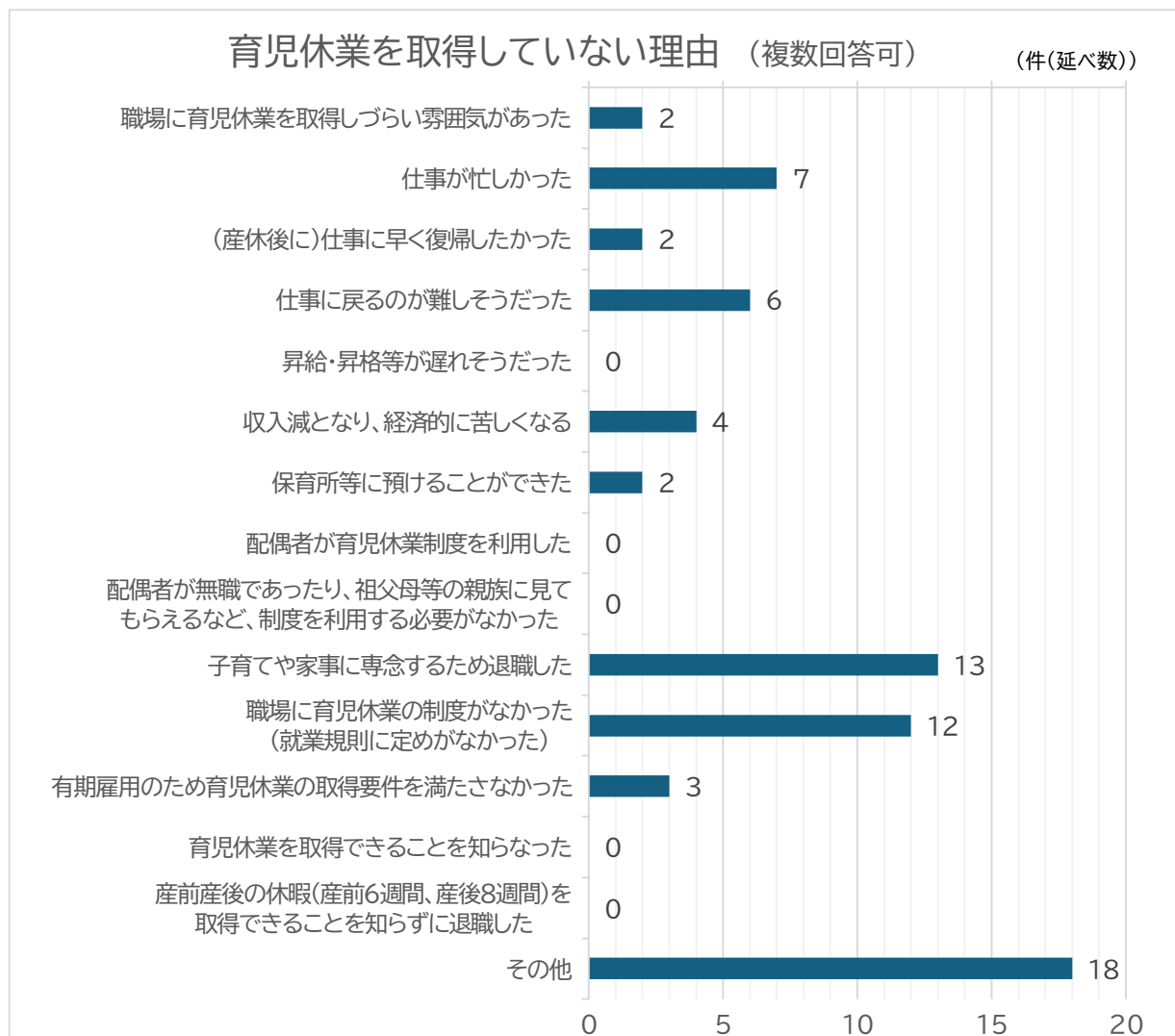
「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」人が全体の約 35%を占める結果となりました。「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」理由は以下のとおりです。



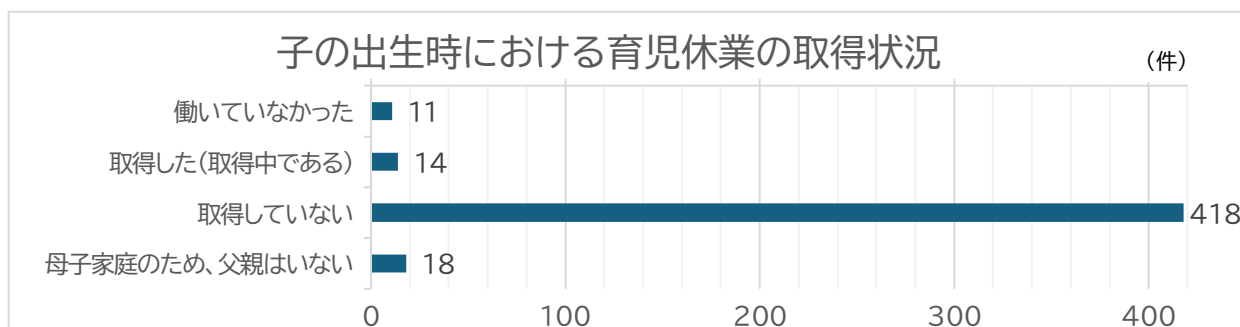
「職場に取得しづらい雰囲気があった」人が最も多く、全体の約 30%を占めていました。また、「職場に短時間勤務制度がなかった」人も全体の約 10%存在している結果となりました。

「その他」としては、「パートタイム勤務への転換を迫られた」「短時間勤務制度はあったが、自分の代わりの人が見つからなかった」「他の人に自分の抜けた分の負担が行くことがわかっていた」などの理由が見られました。

◆育児休業を取得しなかった人

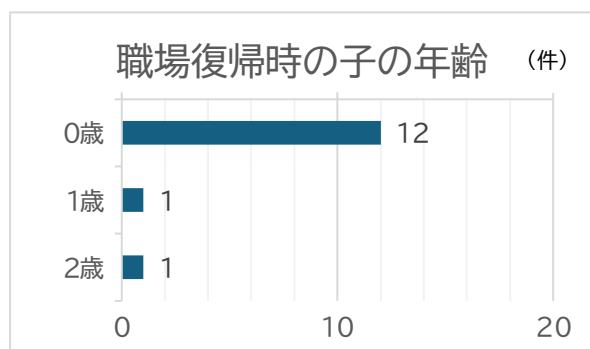
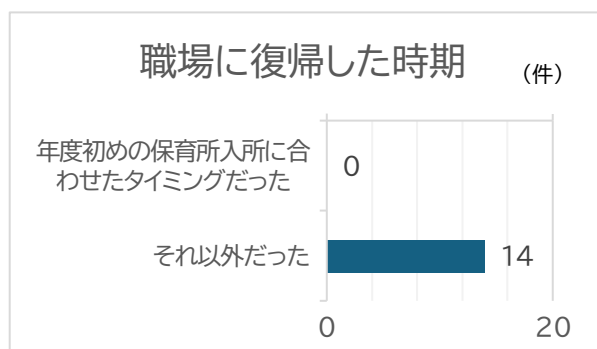
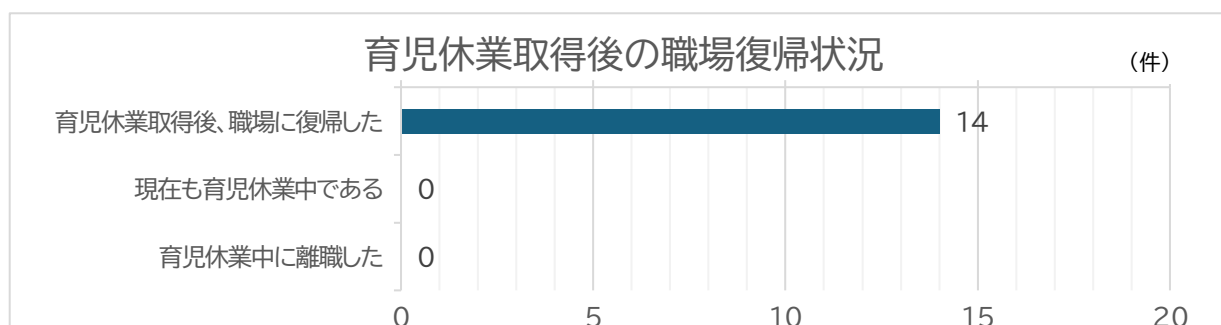


◇ 父親の状況

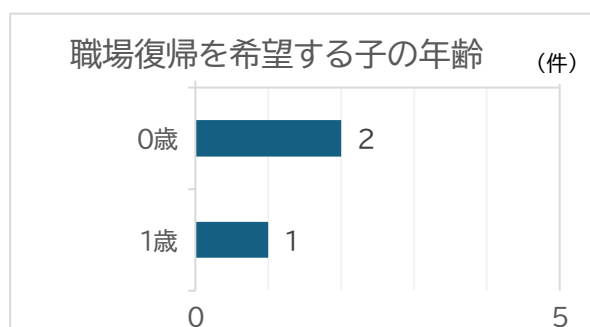
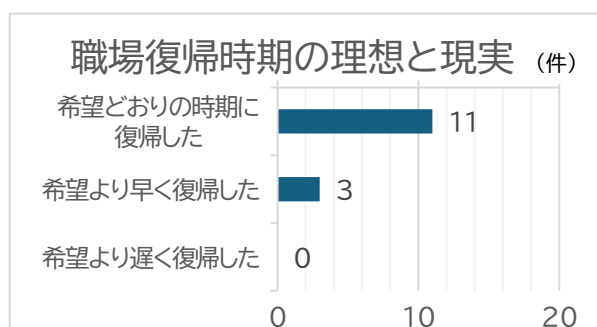


「取得していない」人が全体の約 91%であるのに対し、「取得した(取得中である)」人は全体の約 3%という結果となりました。母親と比較すると、大幅に取得率が低いことがわかります。

◆育児休業を取得した人

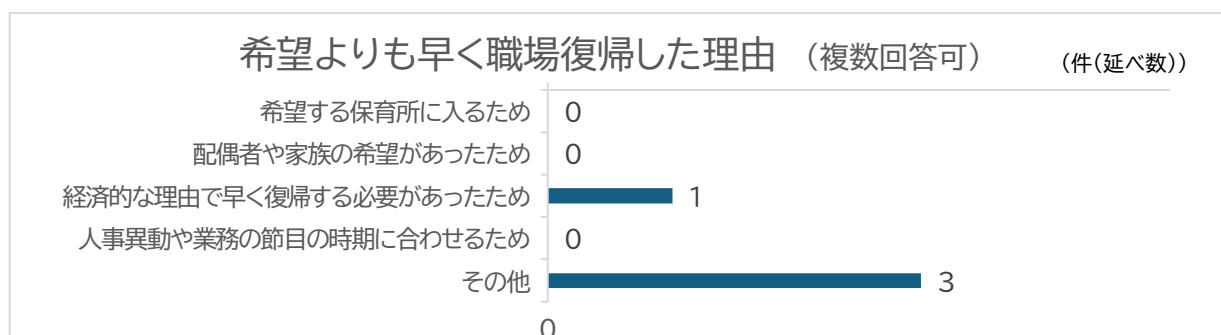


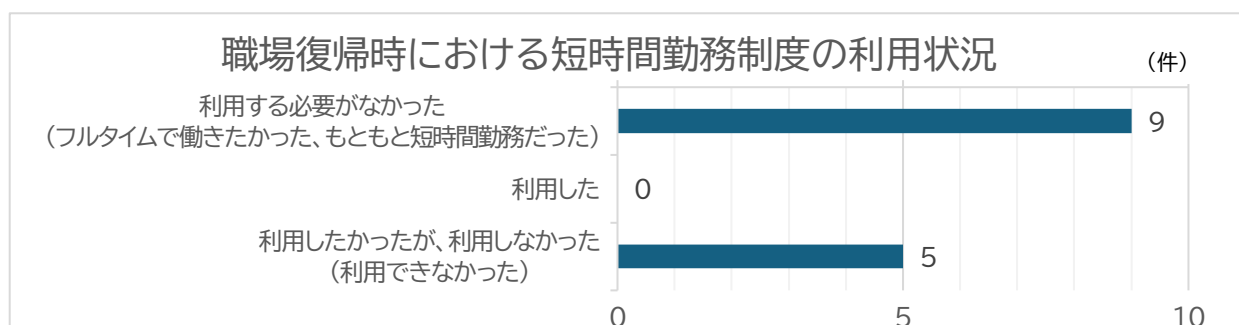
全員が「育児休業取得後、職場に復帰」しており、職場に復帰した時期は全員が「保育所入所以外」という結果となりました。復帰時の子の年齢は「0歳」時点が最も多く、全体の約86%を占める結果となりました。



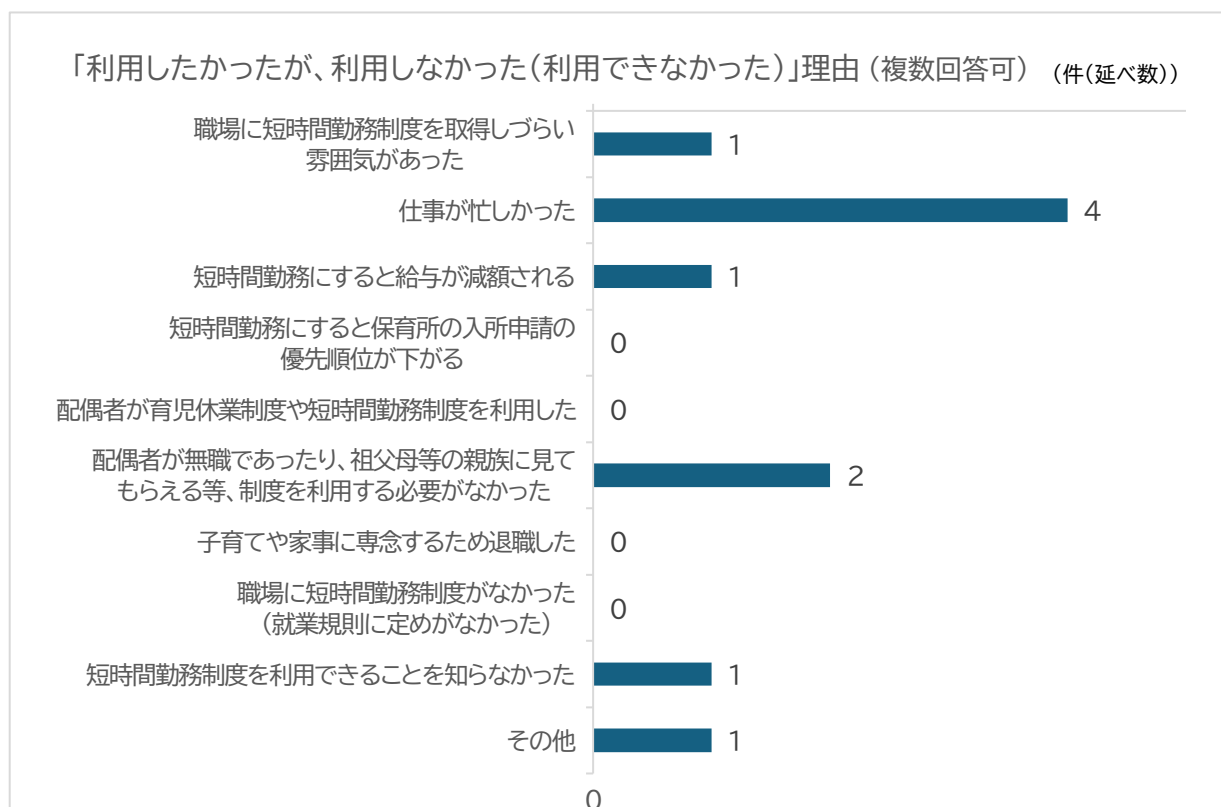
「希望どおりの時期に復帰できなかった」人が全体の約21%おり、このうち、約33%の人が「子が1歳になるまでは育児休業を取得したい(取得しなかった)」と希望していました。

また、「希望どおりの時期に復帰できなかった」人の「希望よりも早く復帰した」理由は以下のとおりです。





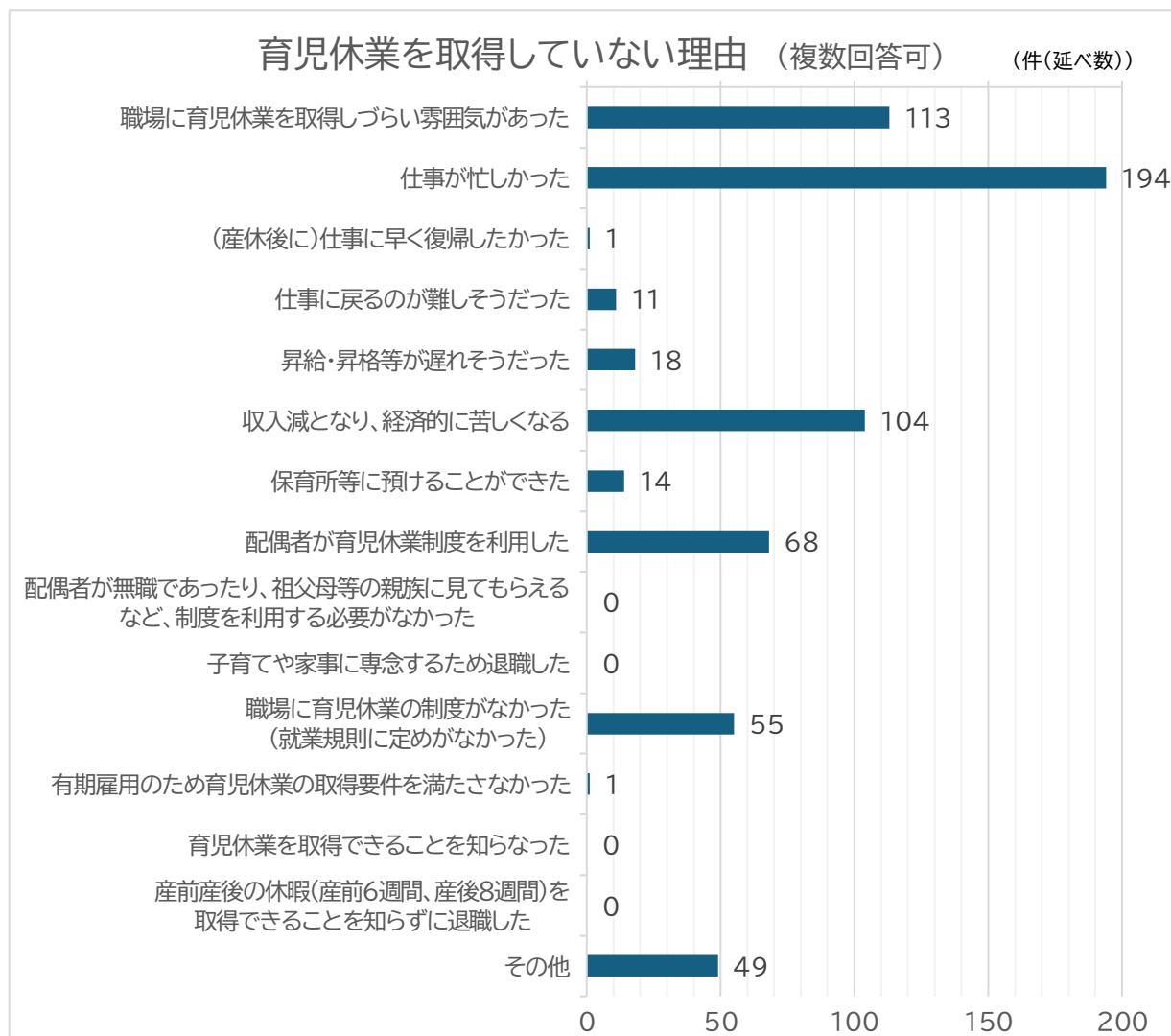
「利用した」人は誰もおらず、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」人が全体の約 36%を占める結果となりました。「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」理由は以下のとおりです。



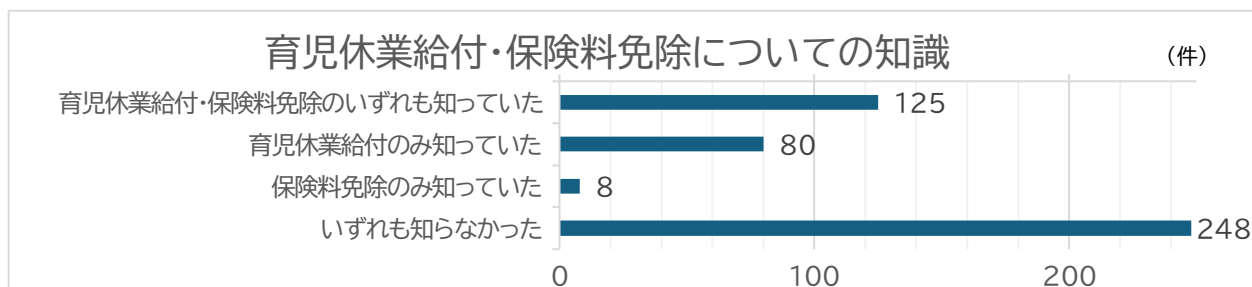
「仕事が忙しかった」人が最も多く、全体の 40%を占めていました。

「その他」の理由としては、「そもそも利用する必要がなかった」というものでした。

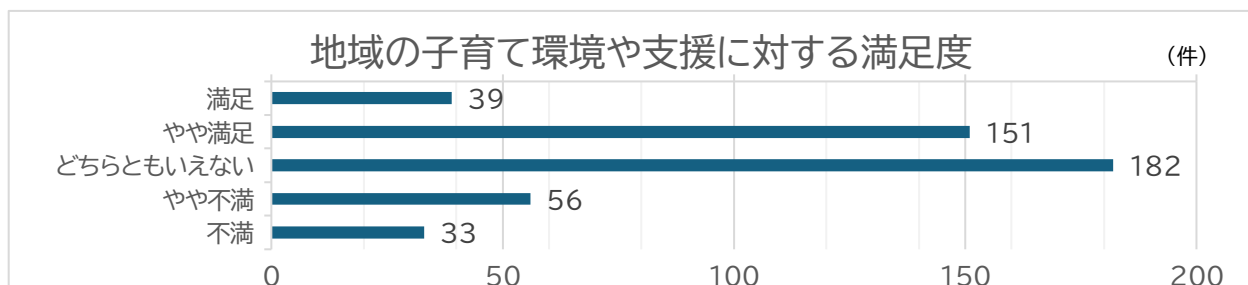
◆育児休業を取得しなかった人



◇ 育児休業給付・保険料免除について（父母共通）

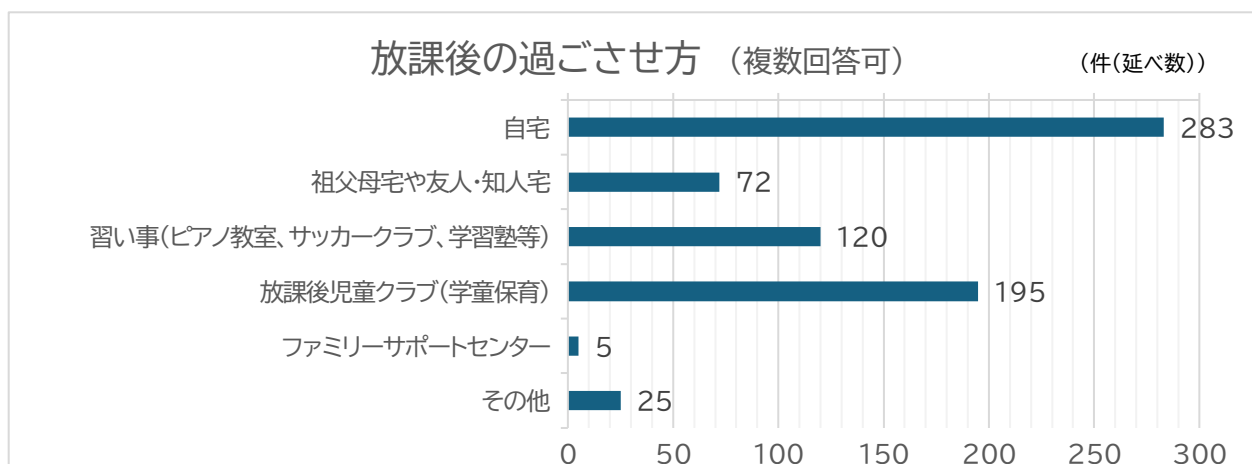


◇ 地域の子育て環境や支援に対する満足度について



● 学年別の放課後の過ごし方

◇ 小学1～3年生

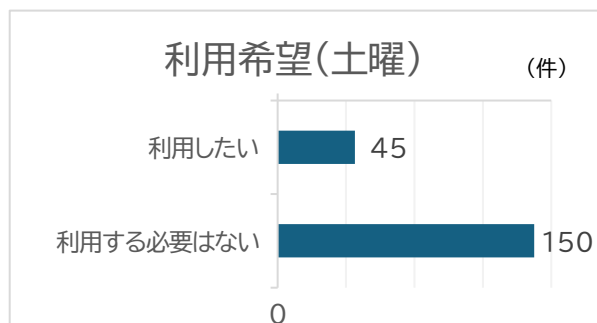


「自宅」や「放課後児童クラブ」など、自ら、または公的な機関で子を見守りたいという人が全体の約68%を占めていました。

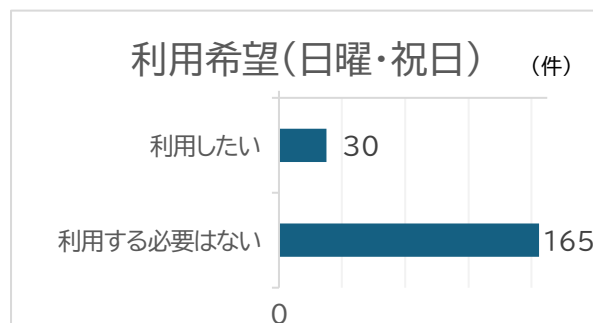
また、「その他」としては、「外遊び」、「公園」、「校庭」などの回答が見られました。

「放課後児童クラブ」と回答した人のうち、土曜や日曜・祝日の利用希望は、以下のとおりです。

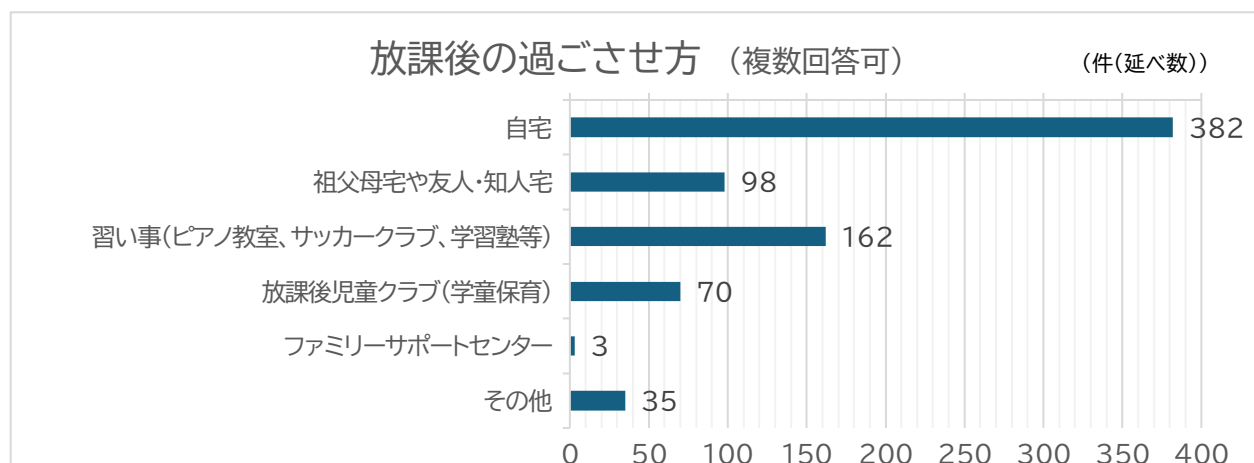
◆土曜日の放課後児童クラブ利用希望



◆日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用希望



◇ 小学 4～6 年生



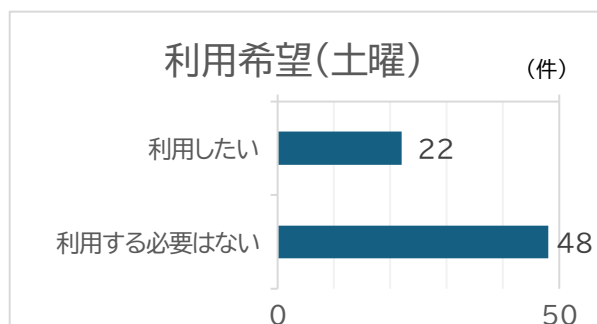
小学 1～3 年生の結果と同じく、「自宅」や「放課後児童クラブ」など、自ら、または公的な機関で子を見守りたいという人が最も多く、全体の約 60%を占めていました。

小学 1～3 年生の結果と異なるのは、「習い事」及び「放課後児童クラブ」の結果です。「習い事」については全体の約 22%となっており、小学 1～3 年生の方は全体の約 17%であったのに比べると増加し、「放課後児童クラブ」については全体の約 9%となっており、小学 1～3 年生の方は全体の約 28%であったのに比べると減少していることがわかります。

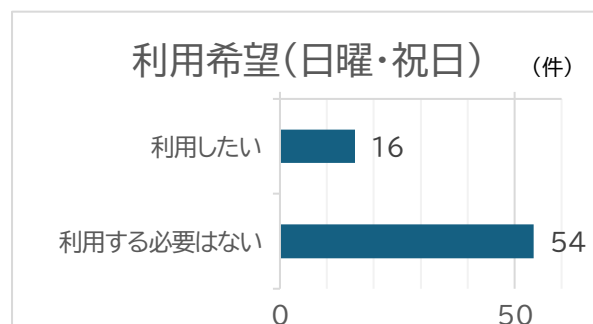
「その他」としては、「外遊び」、「公園」、「校庭」などの回答が見られました。

「放課後児童クラブ」と回答した人のうち、土曜や日曜・祝日の利用希望は、以下のとおりです。

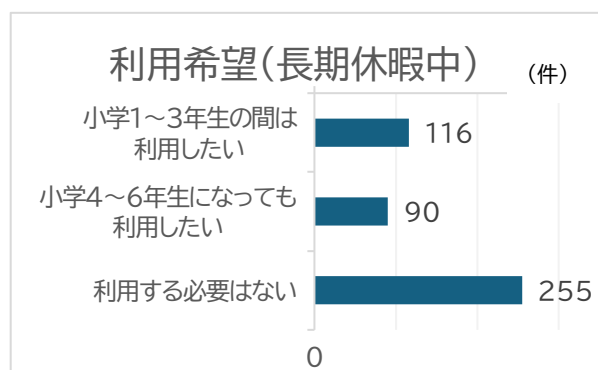
◆土曜日の放課後児童クラブ利用希望



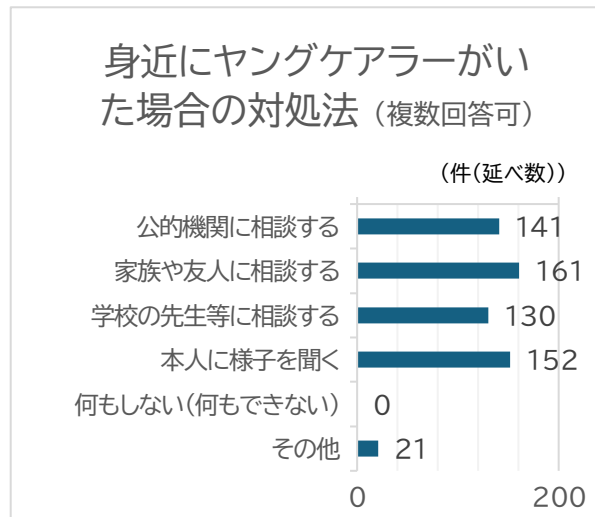
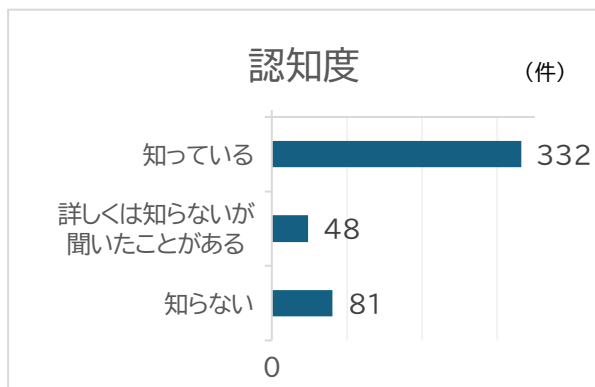
◆日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用希望



◇長期休暇中の放課後児童クラブ利用希望



● ヤングケアラーについて



● その他の意見や感想

内容ごとに項目分けのうえ、集計した結果は以下のとおりです。

